

シメ産出地ヲ倍々豊富ナラシメツ、有ルニアリ  
 尙ホ東京市各製造家ニ於テ製出スル總計ハ一箇年凡ソ四百萬箇トス其内出品人ニ於テ製  
 出高ハ其四分ノ一ノ多數ヲ製出ス

大阪府大阪市南區難波櫻川田中芳次郎出品懷爐灰解說書抄錄

製造地 大阪府大阪市南區難波櫻川四丁目千三百九十二番地日本風平家建六棟總坪數六  
 十坪

原料 廣島縣山縣郡及同縣雙見郡產出麻木空消炭綿實灰(俗ニヒキカラ)灰斗

製造用品 壓倒機及ヒローラル(千六百目ノ割)乾燥釜

製造方法 前記原料麻木炭ヲ最小粉末トナシヒキカラ灰汁撒布混合シ豫テ製出セシ圓柱  
 形ニ作り後其口ヲ括束シ之レヲ切斷シ自家商標用法功能ヲ印刷シタル表包ニ封入ス

沿革 明治十五年十二月該業ヲ創始ス爾來漸次世上ノ歡迎ヲ受ケ漸々販路ヲ擴張スルニ  
 至レリ而シテ世ニ所謂奸商ナルモノ往々眼前ノ小利ニ眩惑シ粗製濫造ヲ供給シテ折角擴  
 張セシ販路ヲ縮少セシムルコト鮮カラサルハ蓋シ遺憾ナリトス然リト雖トモ自家製品ノ  
 ミハ漸次各地ニ試用セラレ人皆其精品タルコトヲ知悉シタル結果之レカ爲メニ大ナル痛  
 痒ヲ感セス日ヲ追フテ隆盛ニ赴キ益々其製造販賣價格ヲ増加スル繁榮ニ向ヘリ  
 製造品ノ數量、價格及其販路

年次	數量	單價	金額	内地販路		外國販路	
				地名	數量	地名	數量
三十三年	四五〇、〇〇〇	〇、〇一四	六、三〇〇、〇〇〇	關東	一六〇〇、〇〇〇	支那	九九〇〇、〇〇〇
三十四年	四八〇、〇〇〇	〇、〇一四	六、七二〇、〇〇〇	關西	一六〇〇、〇〇〇	支那	九六〇〇、〇〇〇
三十五年	五〇〇、〇〇〇	〇、〇一四	七、〇〇〇、〇〇〇	關東	一七〇〇、〇〇〇	支那	一〇〇〇、〇〇〇

(備考) 袋トハ懷爐灰十箇袋入リノコトナリ

效用 主用トシテ該品小袋ノ一端ニ點火シ懷爐中ニ收メ其外部ヲ手巾類ニ包ミ之ヲ懷中  
 ス該品ハ自體ニ適度ノ温熱ヲ與ヘ自然壯健ナラシム

褒賞 明治二十七年銅牌北米市俄古府閣龍萬國大博覽會同二十一年銅牌大阪府西成郡物  
 産品評會同二十七年一等褒賞富山縣富山市博覽會同三十年一等褒賞大阪市南區製産物品  
 評會同三十四年銅牌佛國巴里萬國博覽會

審査請求主眼 單ニ原料ヲ精選セルノミナラス最モ微細篩ヲ用フルヲ以テ製品佳良消火  
 ノ憂毫モナシ

高知縣幡多郡東上山村新谷政吉出品松烟解說書抄錄

製造地 幡多郡東上山村及ヒ山中村高岡郡窪川村ノ各字ニ製造所ヲ建設シ一箇所ノ建坪  
 數ハ六十坪ニシテ萱葺トス

原料 枯松又ハ根松ノ肥タルモノヲ各製造所ノ附近ノ山ヨリ採集ス

製造用品 斧大小二挺、秤二十五貫一挺、同三貫五百匁計リ一挺、十能二挺  
製造方法 建坪一家六十坪ノ内部へ約六尺乃至八尺面ノ障子ヲ區分シタル室ヲ十六乃至  
二十室ヲ設ケ其中央へ爐ヲ土ヲ以テ高サ一尺三寸ニ縦一尺二寸其前面ニ七寸四面ノ焚キ  
口ヲ設ケ上ニハ八分ニ六寸ノ烟穴ヲ開ケ如斯爐ヲ各室内へ設ケ然シテ障子ノ前面ニハ六  
寸四面ノ焚口ヲ開ケ肥松ヲ長サ五六寸方一寸位ニ切割シタル者ヲ烙リニ掛ケ能ク干燥シ  
テ一回ニ三本ツ、火ヲ燃シ付ケ十能ヲ以テ室内ニ設ケ有ル爐ノ中へ障子ノ外ヨリ差入レ  
焚ク事同一ニシテ一時間ニ約五六回焚キ廻ルニ焚夫ハ十四五歳ノ小供一人ト松割一人ト  
都合二人ヲ一箇所ノ製造家ニ使役ス然シテ二日ニ一回掃キ取ル事同一ニシテ松ノ燃量百  
五十貫焚キ製造品ノ出來高每一回掃キニ三貫目入一俵トス  
沿革 明治三十三年本籍和歌山縣ヨリ當地ニ移住シテ最初ハ二箇所ニ建設シ斯業ノ改良  
進歩ヲ計リ爾來漸次増加シ現今ハ十一箇所ニ建設所有シ盛ニ製造ニ從事シ尙追々改良進  
歩ノ希望ナリ

製造品ノ價格數量及其販路 一家ニ對スル一箇年ニ百五十俵十一家ニ對シ一箇年合計千  
六百五十俵ヲ產出ス一俵ニ付價格金四圓ト平均シテ一箇年賣上金高六千六百圓内外トス  
販路ハ大阪市内及ヒ奈良市内ノ製墨店及ヒ袋烟店等トス  
效用 製墨及ヒ塗物色著ニ用フルヲ最多トス  
褒賞 從來未タ一度モ何等ノ會へモ出品シタルコトナシ

大阪府大阪市西區新町通古山忠七出品繭解說書抄録

製造地 一號、二號製造地兵庫縣但馬國朝來郡生野町ノ内生野村共有山三號製造地沖繩縣  
琉球八重山島

原料 產地ハ同所繭ノ木ト稱ス一種ノ樹木皮ニシテ產地ノ深山ニ有ルモノ程良質ノモノ  
多シ一號品ハ岩ニ生シ、二號品ハ岩又土ニ生ス、三號品ハ土ニ生セリ大概岩石ニ生セルモノ  
良質ナル故岩繭ト稱セリ雜木ヨリ採取スルハ雜繭ト云ヒ又鳥ヲ獲ル故鳥繭ト稱フ

製造用品 鉋、鎌、水車、杵、臼、ドウコ風呂、手桶、洗函、器具ノ數量ハ製造雇人、採伐人ノ多寡ニ應シ  
増減スレハ其數ヲ記セス

製造方法 繭ノ木ヲ鎌ニテ剝キ其荒皮ヲ鉋ニテ削リ清水ニテ洗ヒ凡ソ六貫目程ヲ結束シ  
池ヲ設ケ之レニ漬置キ二週間毎ニ惡水ヲ流除シ良水ニ換ルコト凡ソ六十日乃至百箇日經  
過ノ後チ其皮ヲ水車ニテ碎くだキ然ル後流川ノ水ニテ極清潔ニ洗ヒ荒屑ト繭ヲ分岐シ荒屑ハ  
捨テ繭ハ風呂ニテ湯ヲ沸カシ其中ニテ洗ヒ騒クトキハ其温氣ニテ溶解シ木屑、土砂等ハ皆  
湯ノ底ニ沈ミ繭ノミハ浮ヒカス氣ノ去リタルヲ手早ク冷水ニ移セハ冷ルト共ニ繭ハ堅ク  
ナリテ其レヨリ棒頭ニ掛ケ引絞リ水氣ヲ除去シテ成功ス

製造方法ハ人工多年ノ經驗ニ依ルト依ラサルトニアリテ折角良質ノ樹ヲ見出ストモ粕氣  
ノ多キモノヲ製造スル如キハ其時期ヲ失シ又色質不良ナルハ池ノ中ニアル内注意ノ足ラ  
サルトニ依テ起因セルナレハ不肖忠七多年ノ苦心實地經驗ニ依テ工手ヲ使役セリ一號、二

號ノ製造時期ハ四月頃ヨリ原料ヲ得七月頃ヨリ製造ニ著手シ寒氣ニ至リテ中止ス  
 三號品ハ氣候温暖ナル地ニ産出セル故年中製造ニ從事ス  
 沿革 斯業ハ安政元年兼業トシテ來リシカ其當時ハ販路少ナク産出地ハ大和國吉野郡吉  
 野山ニ有シモ需要日ニ多キヲ加フルニ明治元年高知縣人ト謀リ同縣下ノ深山ニ入り之レ  
 ヲ製出ナシタリシカ年々木盡キ其レヨリ伊豫阿波ノ深山ヲ採伐シ是ヨリ西海道ニ渡リ日  
 向、肥後、豊後ニ跨ル祖母峠ヲ初トシ日向兒湯郡石堂山及銀鏡山御鈴山進テ肥後五家山大隅  
 屋久島琉球八重山島等ヲ採伐製造ナシタリシモ日ニ需要ヲ増シ海外へ輸出スル事多量ト  
 ナリ良質ノ岩竊少ナキト價格ノ昇騰ニ粗悪ノ品ノ輸出セラル、ヲ嘆キ有望ナル貿易品ノ  
 減少スルニ不忍明治三十三年更ニ方向ヲ轉シ現今製造地タル但馬ノ山ニ木ヲ發見シ製造  
 ナセリ

製造品ノ數量、價格及其販路

年次	一號品		二號品		三號品	
	數量	價格	數量	價格	數量	價格
明治三十二年	二千貫目	六千圓	三千貫目	七千五百圓	一萬貫目	貳萬圓
同 三十三年	三千貫目	七千五百圓	五千貫目	壹萬圓	一萬二千貫目	壹萬八千圓
同 三十四年	五千貫目	壹萬圓	一萬貫目	壹萬五千圓	一萬五千貫目	壹萬五千圓

輸出ハ十分七以上

海外販路 英國ロンドン直輸出(一號品ニ限ル)上海及ウラジホへハ小鐘詰獨逸、神戸、横濱ノ手ヲ經ル

内地販路 凡テ鴨獵場、内國一般、畏キ邊リ御用、新濱御獵場ニ御用  
 效用 内地ニテハ鴨ヲ捕獲スルニ専用シ(一、二號品)銃獵ハ彈毒肉内ニ受ケ又銃聲ニテ數羽ノ鴨ハ再ヒ降ラス故ニ鴨ヲ獲スルニハ是非此一等若クハ二等モチヲ用ヒテ大效アリ又小鳥蟲類ヲ捕獲スルニ用ヒ流行病ベスト豫防ニ際シ毒鼠ヲ捕フニ效アリ又往古ヨリ養蠶場ニ鼠害ヲ受クルコト甚シカリシカ近時蠶絲業大ニ進ミ鼠害豫防策ニ付テ苦慮スル處アリシモ竊ヲ利用シ捕鼠スルノ策ヲ得大ニ其效ヲ奏セリ外國ニテハ未タ其用途ヲ詳ニセザレトゴム代用鐵板ノ間ニ流シコムバキントカ云フ)又數萬馬力ノ器械油ニスレハ鋼鐵ノ摩擦ニ防耐シ之ヲ内地ニ例セハ氏神祭神事ニ地車曳出シ此車軸ニ鳥竊ヲ流シ込ハ燒付サルコト油ノ比類ニ非ストテ神祭地車ハ鳥竊ヲ油ニ代用セルナリ其故右器械油代用モ眞更空說ニハアラサルヤト了セリ又海底電信線周邊ニ流シ込海中汐氣ニテ腐敗スルヲ長ク豫防ニ用フトモ云フ近時日本ニテモゴムニ製造セント研究セル人モ有リ或ハゴムニ代用スルニ近カラシ又狩獵及有害禽蟲ヲ捕獲スルニ用フトモ云ヒ何レカ眞カ不詳

附記 明治三十二年價格非常ニ昇騰シ外國輸出益盛不肖忠七思考シ斯ル高價ニテ輸出増進スルニ至ラハ大ニ感スル處アリ先ツ其用途ヲタシカメント英國在日本領事ニ對テ照會セシモ手順遺ノタメ回答ナキマ、未タ其用途ヲ確知セス

褒賞 是迄ニ博覽會及製産品評會其他出品セシコトナク今回始メテ出品セル故賞ナシ

附言 貿易有望ナレハ一般ノ獎勵ヲ得ルタメ初メテ是ヲ出品シタリ全國通シテ該出品

ハ嚙失ナラン

審査主眼 該品ノ製造ト販賣ハ實ニ多年熱心苦慮ヲナシ良品ノ製出版路擴張ヲ奏セリ又十數年前ヨリ東京ノ手ヲ經テ横濱ヨリ貿易セル鳥糞ハ是皆我製造ニ成レル品物ノ優等ナル故漸次海外輸送増シツ、アリシカ明治三十二年産額減シ爲ニ良好ナル品産セス隨テ價格非常ニ暴騰シ加フルニ輸出先ヨリ神戸在留者へ注文アリシモ各商館外人等ハ品ノ良否ヲ知悉セサルヲ期トシ小利ニ迷フ奸商人目先一時ノ利ヲ獲ンタメ粗製品ヲ多ク賣込ミ外人ヲ瞞著セシモ我等ハ到底直段ノ追行クコト能ハサルニ一方製造ヲ盛ニシ琉球八重山島産出糞ヲ多ク製出セシニ一箇年後ニハ良品ノ價格漸ク外人カ望ノ價格ニ達シ一時信用ヲ失シタル鳥糞モ又有望ノ輸出トセラレタリ又十數年前ヨリ英國ロンドン市大會社ヨリ直接信用注文ニ接シ年々輸送スル品ハ實ニ第一等ノ糞ナリ

岩鳥糞製造巧拙ハ堅質粘力アリテ糟氣、水氣、ナク白ク薄赤ナルヲ上品ナリ堅質ノモノハ練リテ玉ニ成シ其形潰レスサレト春期ヨリ夏期ニ至レハ自然容姿ヲ損スルノ氣候ノ温暖ニ止ムヲ得サルナリ故ニ夏ハ凡テ冷室ニ貯藏スルナリ海外へ輸送スルニハ氣力罐ニ量目四十磅ヲ入レ石油入ノ如ク密閉シ四鐘入ノ大函ヲ一箇トス又糟氣、水氣多キモノヲ入レ輸送スル時ハ汽船太平洋赤道通過ノ時糞ハ激暑ノタメ膨脹シ罐ヲ破リテ外へ流れ出テ爾憂ア

レト本品ノ如キハ斯ル憂ナク安全輸出先へ到著ス之レ最モ製造ニ注意スル處ナリ

官廳出品<sup>△△△</sup> 大林區署出品ノ木炭ハ其地方ニ於ケル品種ノ一斑若シクハ特種ナルモノ、標本ニ過キス而シテ巖手大林區署出品ノ樺炭ハ單仁用樹皮ヲ剝取シタル殘材ヲ以テ製シタルモノニシテ其質最良ナリト云フヲ得サレトモ能ク廢物利用ノ主旨ヲ帶ヒタルモノト稱スルヲ得ヘシ宮城大林區署出品ハ山毛櫨材ヲ以テ土竈法及石竈法ニテ燒キシモノニ係リ何レモ好良ナルモ就中石竈炭ヲ可トス同所管國有林内ニハ山毛櫨材最モ多量ニシテ炭材トシテ年々ノ供給額少カラス同地方山毛櫨土竈炭産額一箇年約二十五萬貫目石竈炭約四十萬貫目ノ多キニ達シ販路亦甚タ廣シト云フ東京大林區署ヨリハ佐倉炭及其原料樹種ノ標本ヲ出品シ其炭質ハ有名ナル産地ノ製造ニ反カス甚タ好良ナリ其原料タル炭材ヲ併セ出品シタルハ其用意太タ宜ヲ得タリ大阪大林區署出品ノくは、ごようまつ、ふくらもち、ほうか、つげ、まき、やまも、あらかし、あらかし、あかやし、まひ、ひいらぎ、わかめがしは、かへで、あさき、ねむのき、さかき等十七種ノ木炭縱横斷片ト其資材及ヒいちいがし、うばめかし、くろもじ、けやき、あらし、ぎもみ、すぎ、みなセルモノハ紀州地方ノ産材ニ就テ石竈炭則チ白炭ニ適スルモノヲ標本的ニ蒐集製炭シタルモノニシテ其撰擇寔ニ當ヲ得木炭亦好ク其各特質ヲ表ハシテ遺憾ナシト謂フヘシ愛媛大林區署出品ノ木炭及炭材材鑑ハ伊豫國南北宇和郡地方ニ於ケル木炭ノ種類ヲ示シタルモノニシテ其質中庸ナリ尙同署ハ製炭説明書ヲ著シ以テ備ニ同地方製炭法ヲ知ラシムルノ用意

ヲナセリ高知大林區署出品ノ赤櫛、白櫛、いちい櫛等ヲ原料トナセルモノ及ヒ櫛以外ノ雜木ヲ以テセルモノ、二種ノ木炭ハ共ニ同地方ニ産スル石竈燒ニシテ其品質中庸ナリ同地方一箇年産額約二百五十萬俵ニシテ此價格約百拾貳萬圓其販路管内ハ勿論神阪地方ニ向テモ盛ニ之ヲ輸出スト云フ熊本大林區署ハ豊後地方ノ國有林ヨリ産出スル新上小丸及新上丸二種ノ佐伯木炭ヲ出セリ新上小丸ハ櫛類新上丸ハつばき、さくら、ま、で、ま、ひ、なら等ノ雜木ヨリ製ス炭質ハ前者好良ニシテ後者之ニ次ケリ同署所管國有林ヨリ供給スル炭材ハ年々約三萬棚ニ上ルト云ヘリ鹿兒島大林區署ヨリハ所謂日向炭ト稱スル石竈燒ヲ其原料材鑑ト共ニ三種類出品シ血櫛、麵櫛ノ雜炭ハ樹齡約二十年生ノモノヨリ製炭シ麵櫛炭ハ樹齡十五年乃至十年生ノモノヨリ製炭シ櫛及ヒ雜取合セ炭ハ樹齡約三十年生ノモノヨリ製炭シ何レモ原料ハ國有林産材ニシテ産額年々六萬貫目ヲ下ラスト云ヘリ其炭質中庸ナリ

灰ハ鹿兒島大林區署出品ニ係ル柳嶽國有林ノ材料ニ依テ製セシ柞灰ノミニシテ主トシテ陶器製造用ニ用フル所ナリト云ヘリ其品質中庸ナリ

黄楊、檜、岩、檜、雜、櫛ハ鹿兒島大林區署ノ出品ニシテ吹山國有林ノ材料ニテ之ヲ製シ鳥、蠅等捕獲用ノ外護謨ノ原料トシテ其需要少カラス多ク神阪地方へ輸出スト云フ其品質佳良ナリ松烟ハ高知大林區署ノ出品ニシテ中津國有林ノ材料ヲ以テ之ヲ製シ松脂ニ富メル松根ヨリ採製シ製墨原料又ハ塗料トシテ需要多ク一箇年約九萬俵此價格凡ソ九萬九千圓ヲ下ラスト云ヘリ品質好良ナリ岡山大林區署出品ノ赤松脂ハ操山國有林ノ原料ニ依テ採製シタルモノニシ



テ本邦從來ノ松脂ハ其採取法不完全ニシテ松香油「コロホニー」等ノ製造ニ適セス爲メニ松香油「コロホニー」ワニシ「ロージンオイル」等ハ外國産ノ輸入ヲ仰ク所ナルカ故本品ハ特ニ亞米利加法ニ依テ採製シ其品質ノ一斑ヲ示スモノナリト云ヘリ依テ其品質ヲ考查スルニ樹皮塵芥ヲ含ムカ故ニ品質精良ナリト云フヲ得サルモ其松香油ヲ多量ニ含有スルノ點ニ於テハ之ヲ激賞セサルヲ得ス若シ夫レ本邦ニ於テ斯ノ如キ松脂ヲ普ク製スルヲ得ルニ至ラハ松樹ノ利用上一新路ヲ開キ森林ノ收入ヲ大ナラシムルヤ疑ナシ若シ採製上ニ於ケル費用、量額等ヲ併セシタランニハ更ニ一層有益ナル出品タランモ其之ヲ缺ケルハ甚タ遺憾ナリトス

製紙用木纖維原料ハ山林局ノ出品ニシテ四十二種ノ多キ原料ヲ類集シ何レモ漂白粉ヲ以テ晒シタル木纖維ヲ添ヘ加フルニ其木纖維含有ノ百分率表ヲ併セシタルハ最モ有益ナル出品ナリトス唯憾ラクハ何レモ工業用ノ適否并ニ其產出費用及ヒ原料ノ價格等ヲ示サ、ルニ、アリ左ニ原料及ヒ製品ノ説明書并ニ木纖維含有量百分率表ヲ掲ケテ參考ニ供ス

一 木纖維製造原料

此料ニ彙集セシ材料ハ日本及歐米ニテ製紙原料トシテ使用スルモノ及ヒ本邦産樹種ニテ他ニ特殊ノ用途ナキモノニシテ本纖維ニ利用シ得ヘキモノトス

品名	產地	效	用
みづき	石狩國札幌郡山官林	温帯ニ生スル落葉闊葉樹ニシテ纖維ノ量 53.33% 漂白造材容易ニ生長迅速ナリ	
ゑぞまつ	石狩國札幌郡山官林	北海道ニ産スル針葉樹ニシテ纖維ノ量 52.03% 製紙原料ニ適ス	

からまつ 石狩國札幌郡圓山官林  
 しらべ 駿河國富士郡富士裾野  
 つが 安房國安房郡清澄山  
 たうひ 陸奥國八甲田山  
 しろ 石狩國札幌郡圓山官林  
 かつら 石狩國札幌郡圓山官林  
 やまならし 飛騨國吉城郡坂上村  
 めりかやまならし 武藏國荏原郡駒場  
 はんのき 飛騨國吉城郡坂上村  
 やまはんのき 石狩國札幌郡圓山官林  
 くれ 石狩國札幌郡圓山官林  
 うりのき 安房國安房郡清澄山  
 おほばやなぎ 石狩國札幌郡圓山官林  
 いたやかへで 石狩國札幌郡圓山官林

寒帯ニ生スル落葉針葉樹ニシテ生長迅速ナリ纖維ノ量  
 〇〇%間伐材ヲ原料トナサハ得策ナラン  
 寒帯ニ生スル針葉樹ニシテ纖維ノ量 30.10%製紙原料ト  
 シテ賞用セラル  
 暖帯ノ終ヨリ温帯ノ中頃迄生スル針葉樹ニシテ纖維ノ量  
 45.20%製紙原料トシテ用ヒラル  
 寒帯ニ生スル針葉樹ニシテ纖維ノ量 47.50%製紙原料ト  
 シテ賞用セラル  
 温帯ニ生スル落葉潤葉樹ニシテ纖維ノ量 45.67%製紙原  
 料ニ適ス  
 温帯ニ生スル落葉潤葉樹ニシテ纖維ノ量 45.00%製紙原  
 料ニ適ス  
 温帯ニ栽培スヘキ落葉潤葉樹ニシテ纖維ノ量 45.00%製紙  
 原料ニ適ス  
 暖帯ノ終ヨリ温帯ニ生スル落葉潤葉樹ナリ纖維ノ量 4  
 5.00%容易ニ漂白スルヲ得製紙原料トナスヘシ  
 温帯ニ産スル落葉潤葉樹ニシテ纖維ノ量 43.75%漂白容  
 易ナリ  
 暖帯ノ終ヨリ温帯ニ生スル落葉潤葉樹ニシテ纖維ノ量  
 41.67%ナリ  
 温帯ニ産スル落葉潤葉樹ニシテ纖維ノ量 43.75%ナリ  
 北海道ニ生スル落葉潤葉樹ナリ纖維ノ量 41.67%トス  
 温帯ニ産スル落葉潤葉樹ニシテ纖維ノ量 41.67%ナリ

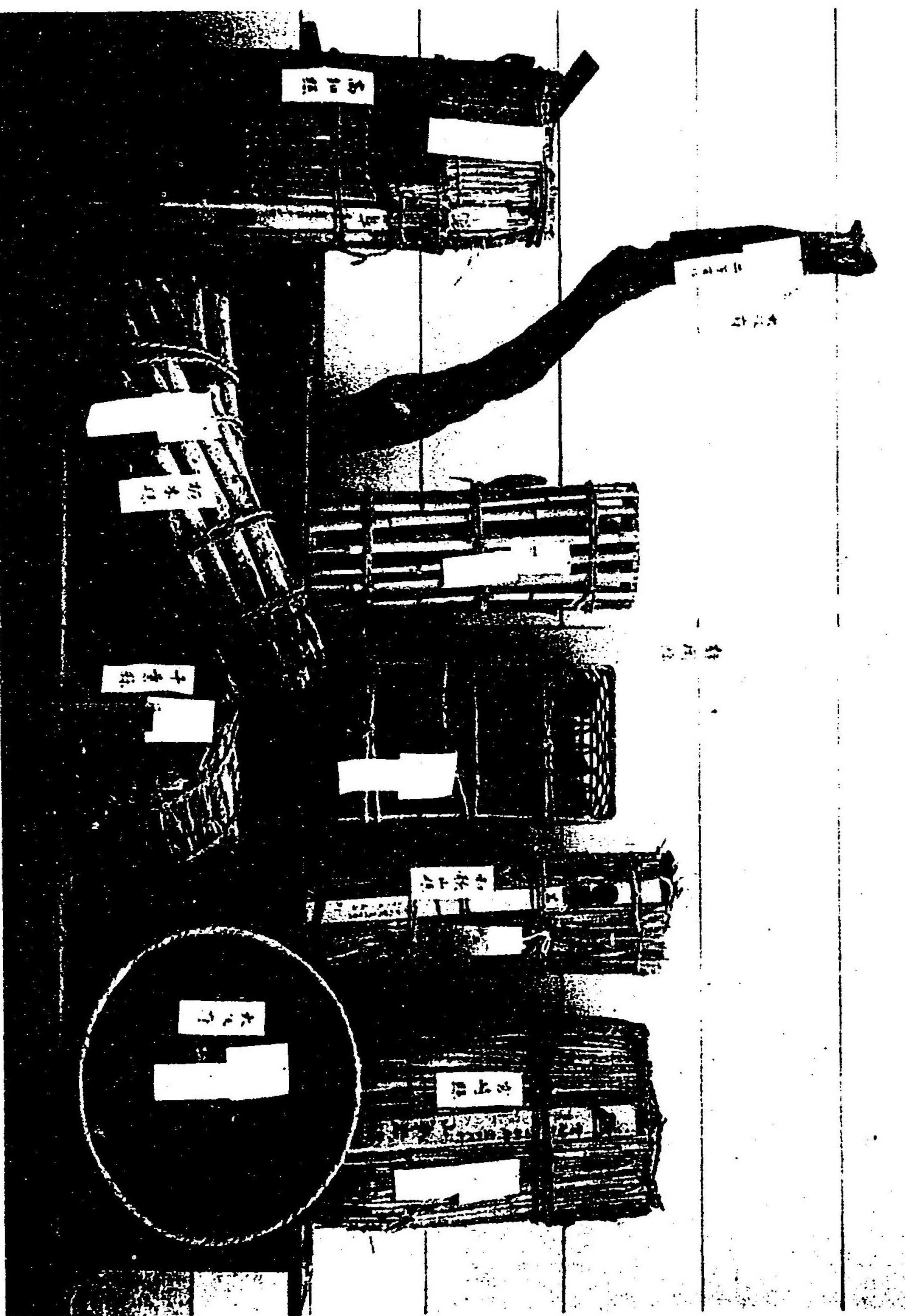
しんじゆ 武藏國荏原郡駒場  
 しなのき 石狩國札幌郡圓山官林  
 もみ 紀伊國伊都郡高野山  
 どいまつ 石狩國札幌郡圓山官林  
 あさだ 石狩國札幌郡圓山官林  
 みやまはんのき 石狩國札幌郡圓山官林  
 わをもちどいまつ 陸奥國八甲田山  
 いぬわかしか 武藏國荏原郡駒場  
 かはやなぎ 石狩國札幌郡圓山官林  
 ぶな 飛騨國吉城郡坂上村  
 わかまつ (邊材) 安房國安房郡清澄山  
 すぎ (邊材) 安房國安房郡清澄山  
 しらかんば 石狩國札幌郡圓山官林  
 かば 石狩國札幌郡圓山官林

温帯ニ栽培シ得ヘキ落葉潤葉樹ニシテ纖維ノ量 41.67%  
 生長迅速ナリ  
 温帯ニ生スル落葉潤葉樹ニシテ纖維ノ量 41.67%ナリ  
 暖温帯ノ間ニ生スル針葉樹ニシテ纖維ノ量 41.67%製紙  
 原料トシテ好適ス  
 北海道ニ産スル針葉樹ニシテ纖維ノ量 41.25%製紙原料  
 ニ適ス  
 温帯ニ生スル落葉潤葉樹ニシテ纖維ノ量 40.00%ナリ  
 温帯ニ生スル落葉潤葉樹ニシテ纖維ノ量 39.59%漂白容  
 易ナリ  
 寒帯ニ生スル針葉樹ニシテ纖維ノ量 39.59%製紙原料ト  
 シテ好適ス  
 暖温帯ニ栽培スヘキ落葉潤葉樹ニシテ纖維ノ量 39.33%  
 ナリ  
 温帯ニ生スル落葉潤葉樹ナリ纖維ノ量 37.50%ナリ  
 温帯ニ生スル落葉潤葉樹ニシテ纖維ノ量 37.50%ナリ  
 暖温帯ニ生スル針葉樹ニシテ造林容易ナリ纖維ノ量 36.  
 20%價格ノ廉ナルハ用ヒテ原料トナスヘシ  
 暖温帯ニ産スル針葉樹ニシテ生長速ナリ纖維ノ量 35.00  
 %ナリ  
 温帯ノ終ヨリ寒帯ニ生スル落葉潤葉樹ニシテ纖維ノ量 33.  
 00%ナリ  
 温帯ニ生スル落葉潤葉樹ニシテ纖維ノ量 33.34%ナリ



たけかは	石狩國札幌郡圓山官林
かうえふざん	武藏國荏原郡駒場
獨逸たうひ	石狩國札幌郡圓山官林
くまざい	駿河國富士郡富士裾野
さばぐるみ	安房國安房郡清澄山
すぎ	(心材)
めだけ	安房國安房郡清澄山
わかめがしは	安房國安房郡清澄山
かへで	石狩國札幌郡圓山官林
せんだん	武藏國荏原郡駒場
くろまつ	(邊材)
わかまつ	(心材)

温帯ニ生スル落葉潤葉樹ニシテ纖維ノ量35.94%ナリ  
 支那ニ産スル針葉樹ニシテ生長迅速萌芽力ニ富ム纖維ノ  
 量33.5%製紙備林トナスニ適ス  
 寒帯ニ栽培シ得ヘキ針葉樹ニシテ獨逸ニテハ主トシテ此  
 材ヨリ木纖維ヲ製ス纖維ノ量21.0%ナリ  
 本邦林地ノ到ル處ニ生シ造林業ヲ困難ナラシム之ヲ除ケ  
 ハ和紙原料トシテ利用スルニアルカ纖維ノ量20.1%ナ  
 リ  
 温帯ニ産スル落葉潤葉樹ニシテ生長迅速ナリ纖維ノ量21.  
 2%ナリ  
 温帯ニ生スル落葉潤葉樹ニシテ纖維ノ量11.0%ナリ  
 暖温帯ニ栽培シ得ヘキ落葉潤葉樹ニシテ纖維ノ量 27.0%  
 %ナリ  
 暖温寒帯ニ生ス造林容易ナリ纖維ノ量 26.6%樹脂多ク  
 原料トナシ難シ



炭 木 種 各

## 第七編 皮毛、羽、牙、角等

審査官林學博士 川瀬善太郎 報告

### 皮毛、羽、牙、角等

往昔我國ニ於テ到ル處森林ノ繁茂セルニ當リテハ野生禽獸亦大ニ繁生シ隨テ其狩獵上ノ事蹟ニ付テモ索ヌヘキモノ太タ少シトセス或ハ縉紳諸侯等ノ娛樂的鷹狩ニ於ケル或ハ將士勇卒ノ演武的卷狩ニ於ケルカ如キ特技ノ稱スヘキモノアルノミナラス其趣味ノ想望スヘキモノアリ而カモ亦之レカ獲物タル即皮毛、角、羽等ノ如キニ就テモ其好良ナルモノ少カラス或ハ皮毛ヲ以テ衣冠裝束ノ料トナシ或ハ牙、角ヲ以テ武具若クハ日用品等ノ裝飾トシ又ハ肝膽ヲ藥餌ニ供シ羽毛ヲ裝飾及ヒ箭羽根ト爲ス等其應用モ甚タ多カリシト雖トモ一ト度森林ノ荒廢頻出スルヤ野生禽獸ノ跡漸ク減少シ狩獵ノコト廢弛シテ亦見ルニ足ルモノナシ只僅カニ山間邊陲ノ地ニ於テ獵夫ノ殘喘ヲ保テルモノアルノミニシテ其收獲物ノ如キモ漸ク其產出ヲ減少シ品質ヲ劣惡ニシ轉タ昔日ノ盛事ヲ想起スルニ過キサレナリ然ルニ由來狩獵ノコトタル雷ニ有害禽獸ヲ驅除シ獲物ノ利益ヲ收得スルニ止マラスシテ之レニ伴フ娛樂ノ甚タ大ナルモノアリテ存スルナリ其高尚ニシテ勇敢ナル快味ハ到底家畜飼養ノ禽獸ヲ屠ルカ如キ比ニアラサルナリ是レヲ以テ歐洲諸國ニ於テハ古來ヨリ其趣味ヲ解スルコト太タ深ク狩獵ヲ盛ニシテ且ツ尊重スルノ風アルノミナラス其獲物ニ就テモ亦甚タ貴ハレ野生禽獸ノ角、牙、

羽毛、皮革ハ極メテ珍重セラル故ニ狩獵ハ娛樂的トシテモ將タ收益的職業トシテモ尙ホ且共ニ之レヲ重視シ之レカ爲ニハ濫獵密獲ノ弊ヲ矯メ禽獸保護ノ策トシテ嚴密ナル法律ヲ制定セラル加之一般科學進步ノ結果トシテ娛樂的趣味ハ高尚トナリ可獵鳥獸ノ種屬、骨格、生活、狀態、例ハ其食物、其居所、其習性、或ハ子孫造殖ノ有様、例ハ其交尾期、胚胎及其哺乳期間等ヲ探究シ又ハ其形態、毛色、鳴聲、糞、足跡等ヲ研究シテ狩獵上ニ應用シ或ハ適當ナル狩獵器具ヲ案出シ獵銃、火藥ノ撰擇ヲ嚴ニスル等用意甚タ周到ナルニ至レリ爰ニ於テカ我國亦之レニ倣ヒ曩年ノ狩獵法ヲ發布シ有益鳥獸ヲ保護シ又ハ蕃殖時期ニ於ケル狩獵ヲ禁シ免許稅ヲ課セシカ猶ホ濫獵ヲナシ禁ヲ犯スモノ多ク益々種屬ヲシテ減少セシムルニ至リシカ再ヒ明治三十四年ニ及ヒ狩獵法ヲ改正シ大ニ免許稅ヲ重課セリ然レトモ未タ其效果ノ認ムヘキモノアルニ至ラズ今回ノ出品ヲ見ルニ甚タ寂寥トシテ只僅ニ北海道、臺灣等ニ於テ見ルヘキモノ數十點ヲ得タルニ過キサルハ遺憾ニ堪ヘサル處ナリトス是レ蓋シ我國民未タ一般ニ狩獵ノ趣味ヲ解スルニ至ラス殊ニ森林ト狩獵トノ關係等ヲ詳カニセサルニ依ルナラシカ元來彼等野生鳥獸類日常ノ居住ハ常ニ森林内ニ於テシ殊ニ産兒分娩ノ期ニ於テハ鬱閉セル林地ヲ好ミ野外ニ出ツルハ只食物ノ乏シキ時ニノミ起ルカ故ニ能ク彼レ等ノ生活上ニ就テ研究シタル結果ニ依リ適當ノ保護ヲナストキハ之レカ蕃殖ヲ圖ルコト難カラス而モ又森林其物ニ對シテハ或程度マテハ毫モ被害ヲ感セス若シ夫レ彼レ等カ過度ニ増殖ノ結果トシテ森林ノ被害ヲ多カラシムルニ至レハ之レヲ驅除スルコト易々タルヘシ否寧ロ娛樂ノ大ナルモノアル可シ希クハ

世ノ林業家及ヒ狩獵者タルモノ狩獵ヲシテ單ニ禽獸捕獲ノ事ニ止メス能ク彼等ノ蕃殖ヲ計リ即チ保續的ナラシムルコト恰モ林業ニ於ケル如クナラシムル觀念ヲ以テ該業ノ進步ヲ圖リ永久ニ收益ト娛樂トヲ保維センコトヲ切望ニ耐ヘサル所ナリ左ニ出品點數同人員及ヒ授賞數ヲ表示シ尙ホ主ナルモノニ就キ細評ヲ試ムヘシ

皮毛、羽、角、牙等府縣別出品點數出品人員及授賞數一覽表

府縣別	出品點數	出品人員	授賞數			計	備考
			金牌	銀牌	一等賞		
北海道	三〇	四				三	
大 阪	三	一				一	
奈 良	一〇	二				二	
岐 阜	一	一				一	
福 島	三	一				一	
巖 手	一	〇				一	
青 森	四	三				三	
福 井	二	二				二	
富 山	〇	二				二	
德 島	三	一				一	
高 知	一	三				三	
臺 灣	四〇	二五				二五	
合 計	一一八	五五				六七	

△△△ 北海道 同廳ヨリ出品シタル處ノ毛皮ノ點數ハ三十點ノ多キニ及ヒ中ニハ逸品モ少カラス  
 由來該道ノ拓殖ハ今ヲ去ルコト僅ニ二十餘年前ニ開始サレシヲ以テ尙ホ本州ト文野ノ程度  
 ヲ異ニシ森林ノ如キハ其多クハ所謂原生林ナルカ故ニ野獸ノ棲息ニ適シ尙ホ其種類ト數ト  
 ニ富ムコト本州ノ比ニアラス故ニ獸皮ノ外國輸出ヲナスハ主トシテ此地ヨリスルモノヲ多  
 シトス今回ノ出品ニ於テ最高賞格ヲ得タル黑狐皮ノ如キハ頗ル珍品トスル所ニシテ襟卷、ボ  
 ン子ット等防寒用トシテ甚タ尊重セラルヘシ其他熊、赤狐、十字狐、白狐、貂等ノ皮亦賞揚ノ價値  
 アリ今回函館區松下熊樾ハ二等賞ヲ得タリ今其解説書ヲ抄録シテ參考ニ供セントス

函館區松下熊樾出品黑狐皮解説書抄録

原料北海道千島國產

數量及價格

明治三十二年	二枚	七拾圓
同 三十三年	五枚	貳百五拾貳圓
同 三十四年	八枚	五百九拾六圓

販路 産額甚少キヲ以テ海外ニ直輸出セス製革ノ上夏季當港へ來遊ノ内外國人ニ販賣ス

北海道渡島國函館市松下熊樾出品熊皮解説書抄録

製造方法 乾シタル熊皮ヲ水ヲ盛タル桶内ニ投入シ夏季ハ凡一晝夜若クハ二晝夜(氣候ノ寒  
暖ト皮ノ  
大小ニ依リ浸水  
時間ニ差アリ)ヲ經テ之レヲ桶内ヨリ取出シ皮ノ裏面ニ附著スル脂肪及粘膜ヲ銚ニテ適宜

除去シ後石鹼ヲ溶解シタル温湯ヲ以テ毛ニ附著スル處ノ油分ヲ洗滌シ後水ヲ以テ充分ニ  
(石鹼ノ全ク除去セ  
ラレタルチ度トス)洗滌シタルモノヲ芒硝ト米粉ヲ混合シタル液汁中ニ浸シ夏季ハ二日乃至  
 三日間ヲ經テ一回右液汁ヲ取換ヘ(毎日二三回皮ヲ液汁中ヨリ取出シ再ヒ  
液汁中ニ投ス俗ニ之ヲドロップト云フ)一週間乃至十日間ヲ經  
 テ之ヲ液汁中ヨリ取出シ張板ノ上ニ乗セ先ツ皮ノ裏面ヲ一日乃至二日間乾シ後表面即チ  
 毛ノアル方ヲ一日乃至二日間日乾シ再ヒ右ト同様ノ液汁中ニ浸シ又日乾スルコト前記ノ  
 如クシ乾燥ノ後削臺ニ乗セ芒硝ト米粉ヲ適宜混合セルモノヲ皮ノ裏面ニ數回撒布シ輕石  
 ヲ以テ數度摩擦シ又日乾シ後適宜ノ棒ヲ以テ皮ノ表面ヲ數回タ、キ毛ニ附著スル處ノ藥  
 粉ヲ除去シテ仕上ヲ爲ス

製造品ノ數量、價格及其販路

明治三十二年	百五十枚	金貳千六百四拾參圓
明治三十三年	百五十九枚	金四千貳百七拾五圓
明治三十四年	百六十一枚	金四千參百五拾圓

販路 夏季當港へ來泊ノ内外國軍艦乗組士官又ハ來遊ノ内外國人ニ多ク販賣スレトモ亦  
 本道在住ノ漁業家及漁舟船頭等ニ販賣スルモノ少ナカラス

效用 敷物、袖無シ、カッコロ(袖ナシニ似テ丈長ク紐ヲ以テ前  
ニテ結合セル様仕立タルモノ)等ニ調製シテ防寒用ニ供ス

△△△ 巖手縣 同縣ノ如キ本州ノ東北地ハ猶比較的野獸ニ富ミ隨テ珍品ナキニアラス今回出品シ  
 タル處ノ鹿、猿、狸ノ皮ノ如キハ見ルニ足ルヘキモノナリ

福井縣<sup>△△</sup>ノ熊皮ハ品質良好ニシテ爾カモ完全ニ具體シ其大サモ内地産トシテハ實ニ稀有ノ者タリ其他青森<sup>△△</sup>、福島<sup>△△</sup>、富山<sup>△△</sup>ノ諸縣ヨリモ諸種ノ皮、毛等ノ出品ヲ見タリシカ中ニハ捕獲期ヲ誤リ又保存法宜カラサルヲ以テ品質ヲ損シタルモノナキニアラス

大阪府<sup>△△</sup> 大阪市ヨリ出品シタルモノハ採集鞣皮ニシテ獺、狐、狸ノ皮ハ不可ナラス總ヘテ鞣皮術ノ巧拙ハ鞣皮其他ノ品位ヲ左右スルコト大ニシテ延テ狩獵上ノ利害ニ關スルコト尠シトセス依テ今其解説書ヲ抄録シテ參考ニ資セントス

大阪市南區柳生利吉出品獺皮、狐皮、狸皮解説書抄録

原料 明礬主トシテ豊後國産ヲ使用ス若クハ支那産

洗曹達 攝津國大阪市産ヲ主トス

製造用品

三馬力ケートル機械、インジ機械及インジニ附屬スル俗ニ大

十石以上二十石以内大桶數箇及五石以下小桶七箇、鋸用鉋種々

鋸用銼、鏡(乾場用ノ板但シ幅三尺長六尺皮取板四十箇)

輕石數種、滑皮袋十箇、真竹長サ六尺周圍尺二寸、鋸板長五尺幅一尺五寸

製造方法

第一十分乾燥シタル皮類ヲ柔軟ナラシメンカ爲メ清水ニ浸シ克ク柔軟トナルヲ待ツテ剝殘肉ヲ鋸用銼ヲ以テ竹上ニ皮ヲ掛ケテ銼キ取り然ル後大鼓ト稱スル大車桶ニ皮ヲ挿入シ

テ三馬力ケートル及インジ機械ヲ使用シテ洗曹達ヲ温湯ニ溶カシ以テ皮ノ油質ヲ抽除ス皮ノ油質ヲ克ク抽キ取りシ後以前ノ諸機械ヲ使用シテ再ヒ曹達質ヲ十分ニ洗除ス然ル後温湯中ニ明礬ヲ溶カシ置キ其適度ヲ計ツテ大凡一週間程其中ニ皮ヲ漬ケ置キ全ク皮ノ膠質ヲ取除キ併テ剝毛ヲ防禦ス其後温湯ヲ以テブラシヲ使用シ毛中ニ浸染スル明礬質ヲ充分洗ヒ落ス終テ太陽ニ曝ラシ十分乾燥スルヲ待チ鞣板上ニ皮ヲ掛ケ銼用銼ヲ以テ皮ノ厚薄ナキヲ使用シテ皮ノ皺ヲ能ク引キ延ハス然ル後鋸板上ニ皮ヲ掛ケ銼用銼ヲ以テ皮ノ厚薄ナキ様ニ皮裏ヲ銼リ而シテ滑皮袋中ニ皮ヲ入レ足ニテ克ク揉ミ後太陽ニ曝シ尙ホ揉ミテハ曝ス等三回ニシテ皮ノ柔軟ナルヲ待チテ鏡ニテ皺ノ部分ヲ延ハシ輕石ヲ以テ皮裏ノ生地ヲ濃密ニスル者ナリ

臺灣<sup>△△</sup> 同地ハ野生鳥獸ノ種類ハ異ナリト雖トモ猶ホ北海道ノ地ニ於ケルカ如ク森林内ニ鳥獸ノ棲息スルモノ夥シク殊ニ蕃地ニ於テ最モ然リトス彼ノ生蕃ハ所謂狩獵ノ民ニシテ野生鳥獸ヲ獵獲シテ之ヲ貿易品トナシ彼等生活上ニ必要ナル日常ノ食用及器具等ト交換スト云フ今回ノ出品ヲ見ルニ鹿、姜仔、石虎、山羊、獺、山猫等ノ皮及鹿角、鹿茸等其出品點數四十點ノ多キニ及ヘリ此レ等ハ品質餘リニ佳良ナラスト雖トモ産額多キヲ以テ猶ホ十分狩獵ノ餘地ヲ存シ且用途ニ應シテ收益モ大ナルヘキヲ以テ獵法ノ改良進步ヲ要ス而シテ彼地方及ヒ支那ニ於テ特ニ重用セラレ鹿茸ノ出品比較的少カリシハ聊カ遺憾トス左ニ三等ノ賞格ニ入りシ鹿角解説書ヲ抄録シテ參考ニ資ス

臺灣南投廳集々保林齊出品鹿角解說書抄録

產地 斗六廳臺大社臺大山

採收方法 生角ハ鹿ヲ捕獲スルニヨリテ得ヘク落角ハ陰曆二月ヨリ四月ノ間ニ於テ自ら脱落セルヲ拾得スルモノトス獵獲スルニハ銃及弓矢畏又ハ串ヲ用フルナリ銃ヲ使用スルハ犬ヲ放テ追ハシメ射殺ス弓矢モ亦同シ畏及串ハ道路ニ備ヘテ捕フルモノナリ串ハ三四尺ヨリ五六尺ノ斷崖ノ下ニ設ケ鹿ノ飛ヒ降ル際其串ノ爲メ貫串スルヲ待ツナリ  
效用 生角ハ裝飾用ニ落角ハ諸種ノ細工用原料ニ使用ス

産出額 近年産出額ハ約生角三十對、落角二十對

官廳出品<sup>△△△</sup> 本項ニ屬スル獸皮ハ只僅カニ福島大林區署ヨリ數點ノ出品アリシノミニテ岩代國南會津郡地方ハ山深ク人跡ノ到ラサル所少カラサルヲ以テ野獸ノ棲息スルモノモ亦多ク本品ハ即チ同地方産ノ者ニシテ同地方一箇年ノ捕獲熊七十頭、羚羊七十頭、貂三百頭、狸二百頭、貉、狗、木鼠等無數ナリト云ヘリ現時到ル處漸ク野獸ノ減少セルニ際シ尙ホ此ノ如キ捕獲高アルハ稍々人意ヲ強フスルニ足レリ



皮毛陳列ノ光景

北海道廳出品

## 第八編 種子及苗木

杉、扁柏種子及苗木

審查官林學博士 本多 靜 六 報告

其他ノ種子及苗木

審 查 官 佐藤 振五郎 報告

現時我國ノ林野ハ到ル處未タ未立木地トシテ空シク荒廢セルモノ甚タ多ク而シテ又一面ニハ木材ノ需要日ニ月ニ繁多ナルニ從ヒ森林ノ伐採面積年ヲ逐フテ増加シ加之所謂原生林ノ如キニ於テ其更新ノ必要ニ迫レルモノ亦太タ少シトセサルカ故造林ノ急務寔ニ一日ヲ緩フスヘカラサルナリ然リ而シテ是等森林ノ造殖ハ其一小部分萌芽更新法及ヒ挿木等ニ頼ルモノ、外ハ總ヘテ種子苗木ニ待タサルヘカラス殊ニ種子ニ在テハ管ニ之ヲ苗圃ニ播付シテ苗木ヲ養成スルニ必要サリト云ヘル點ノミナラス人工ニ依テ直チニ山地ニ播種スル場合ニ於ケルモ又所謂天然下種ニ依テ發生造殖ヲ期スル場合ニ於ケルモ一トシテ種子ヲ以テ其最要資料トナサ、ルハナシ彼ノ天然下種更新法ニ於テ豫備伐下種伐ト稱スル作業ヲ必要トスルカ如キモ即チ適良ナル種子ヲ適量ニ得ンカ爲メナリ故ニ博覽會ノ如キニ向テハ極メテ其出品範圍ノ狭少ナラザランコトヲ期シ以テ其有ラユル種類有ラユル性質及ヒ產地量額ノ如何等ノ表明若シクハ比較ニ資センコト最モ其要トセサルヘカラサルナリ然ルニ今回ノ出品ノ如キ全體ニ於テ出品點數ノ少ナキ又ハ其種願ヲ網羅セサリシハ一ハ未タ博覽會ノ旨趣ヲ了得セサルニ由リ一ハ其用意ノ足ラサルモノアルニ由ルナランカ試ニ其出品樹種別ニ於テ府





極メテ其造殖ヲ圖ラサルヘカラサル樺、樟、楠、金松等ノ如キ或ハ益々其多量ナル材ノ供給ニ力メサルヘカラサル栗、櫻等ノ如キ一トシテ各產地ノ種子ヲ擧ケテ爰ニ出品シタルハナク只僅ニ一二地方ノ所産ヲ見ルニ過キス況ンヤ其産額若クハ採取等ニ於ケルモ亦何等ノ進境發達ヲ認ムヘキモノナキニ於テオヤ是レ獨リ今回ノ出品上ニ於ケル遺憾ノミナラス抑々亦我邦ニ於ケル造林業ノ尙ホ未タ甚タ幼稚ナル反影ニアラサルナキヲ悲マスンハアラサルナリ而シテ今回ノ出品中其稍々多數ヲ占メタルハ杉、檜其他二三ノ種子ニシテ是等ノ種類ハ現今各地ニ於テ其造林漸ク盛ニ行ハル、ニ至リ即チ其種子ニ就テノ關係モ亦著シク複雑トナリ其利害ノ迨フ所決シテ尠少ナラサルヘキモノアルカ故左ニ少シク其要概ニ就テ評説スル所アラントス

凡ソ是等ノ種子ニ就テ如何ナル點ヲ其必要條件トナスヤハ到底今爰ニ之ヲ絮説スルノ煩ニ耐ヘスト雖トモ其最モ著シキ點ヲ擧クレハ約左ノ如シトス

- 一粒々過小ニ失セス又過大ナラスシテ相均等シ而シテ適當ナル重量ヲ有スルヲ要ス
  - 一胎珠ハ乳白ニシテ且ツ充實シ發芽力ノ大ナルヲ要ス
  - 一光澤ハ鮮明ニシテ香氣ハ固有ナルヲ貴ヒ又高カラサル可カラス
  - 一水撰法ヲ行ヒテ浮游スルモノヲ不可トシ又火中ニ投シテ爆發スルモノヲ良シトス
  - 一新鮮ニシテ且ツ混合物ナキヲ要ス
- 是等ノ要件ニ適スル種子ヲ得ンニハ須ク先ツ其母樹ノ撰擇ニ留意セサルヘカラス而シテ又

其採取ニ當リテハ必スヤ時季ノ適否ヲ考定セサルヘカラサルナリ凡ソ樹木ニ於ケル結實ハ樹齡、位地、性質、風土等ノ如何ニ依リテ異リ又其成熟ノ度ニ依リテ種質ノ好惡ニ關スル所少カラサルカ故良種子ヲ得ンニハ是等ノ總ヘテニ通曉シ務メテ其誤ナカラントヲ期セサルヘカラス又其採取ヨリ播種ニ至ルマテノ間ニ於ケル種子ノ貯藏其他取扱ノ如何ハ其發芽力ニ影響スル所大ナルカ故是亦大ニ留意ヲ要スルナリ例ヘハ若シ幼齡ノ樹木又ハ病木等ヨリ採取シタル種子ニ依リテ苗木ヲ作ランカ之ニヨリテ得タル森林ハ得テ再ヒ母樹ノ缺點ヲ遺傳シ或ハ諸種ノ害ニ冒サレ易キ虛弱ノ林相ヲ形成シ或ハ不良ナル成長ニ止リ若シクハ惡質ナル材木ヲ生スル等決シテ整齊シタル良林ヲ得難キナリ又之ニ反シテ若シ老樹ヨリ種子ヲ得ントスレハ多量ナル種實ヲ採收シテ撰擇セサルヘカラス何トナレハ老樹ノ種實中ニハ素トヨリ好良ナル種子モ含有スト雖トモ之ト共ニ又不良ナルモノモ混合シテ結實セル所アルカ故之ヲ併セ採取シテ後撰別スルハ寔ニ徒勞冗費ニ屬スルモノトナサルヘカラサルナリ而シテ又期節ヲ顧ミスシテ徒ニ未熟ノ種子ヲ採取センカ胚乳充實セスシテ胚珠ノ發育完全ナラサルヤ明ナリ之ニ反シテ漫然其熟期ヲ經過センカ多クハ飛散シテ收量少キノ不利アリ之ヲ要スルニ母樹ハ壯齡以上ニシテ健全無病而カモ枝葉根幹ノ發育完全ナルモノヲ撰擇セサルヘカラス

而シテ樹木ノ種子ノ如キハ素ト是レ只天然ニ結實セルモノヲ採取スルニ過キサカ故敢テ著シキ費用ヲ要セサルカ如クナリト雖トモ實際ニ於テハ然ラス前來記述セシカ如キ母樹ヲ

撰擇發見シテ適良ナル種子ヲ得ンニハ其勞費決シテ尠少ナラサルモノアリ然ルニ是等總ヘテ造林費中ニ入ルヘキモノハ成林幾十年ノ後ニ及フ重利ヲ計上セサルヘカラサルカ故當初ニ於ケル少許ノ差モ決シテ等閑視スヘカラサルモノニ屬ス即チ種子ハ其精良ナルヲ期セサルヘカラサルノ外亦成ルヘク其低廉ナルヲ要トセサルヘカラサルナリ

夫レ斯ノ如ク適良ナル種子ヲ得ンニハ種々ノ要件ニ伴ハサルヘカラサルモノナルニモ拘ハラス尙ホ歳々ノ豊凶ニ依リ或ハ成熟期ニ於ケル風雨等ノ災ニ依リテ遂ニ空シク豫期ノ採種ヲ遂行シ難キコトアリ爲メニ其造林上ニ及ホス違算齟齬ノ損失ハ幾ント之ヲ回收スルニ由ナカラントス是ニ於テ採種ノ事タル區々タル自己ノ所有林等ノミニ於テ遂ケ得ヘキニアラス必スヤ亦他ノ方面ニ向テモ之ヲ需ムルノ途ヲ講シ置カサルヘカラサルノ要ヲ生スルナリ換言スレハ是等ノ需給ヲ調和シ斯業上ノ損失ヲ減却スル機關トシテハ所謂種子採取業者若シクハ種子商ノ如キハ極メテ必要ニシテ且ツ有益ナル林業上ノ機關ナルコトヲ認メスンハアラサルナリ宜也近來造林ノ事漸ク各地ニ盛ナルニ從ヒ是等ノ種子ニ關スル營業者亦頻リニ輩出シ其販賣額年々數千圓以上ニ出ルカ如キモノ少カラス而シテ將來ニ向テモ亦益々隆盛ヲ極メントス蓋シ這般ノ現象ハ前回博覽會以後ニ於テ著シク其發達ヲ見タル所ニシテ林業上ニ對スルモ亦一種ノ進歩トシテ將々其貢獻スル所ノ少カラサル點ニ於テ之ヲ多トセサルヘカラサルナリ然ルニ此好現象ニハ亦嫌惡スヘキ流弊ヲ伴ヒ來リテ往々其弊毒ノ大ナルヲ傳フルハ實ニ慨歎ニ耐ヘサル所ナリ之ヲ要スルニ其弊因ハ彼等營業上ノ德義若シクハ

責任ノ弛廢ニヨリ只管射利ニ汲々タルノ致ス所ニシテ是等ノ流弊ハ何レノ業ニ於ケル素トヨリ免レサル所ナリト雖トモ種子ニ於ナル營業ノ如キハ特ニ其弊毒ノ流入スヘキ幾多ノ弱點ヲ有スルモノニシテ試ニ其主ナル點ヲ掲クレハ種子ニハ前來記述セルカ如キ種々ノ必要ナル條件ヲ具ヘサルヘカラサルモノナルニモ拘ハラズ今日ノ程度ニテハ是等ノ諸條件ノ備具セルト否トハ種子ノ現物ノミニ依テハ未タ必スシモ之ヲ檢定シ得ヘキニアラストス況ンヤ之ニ向テ故ラニ奸策ヲ廻ラシ或ハ巧ニ古種子ヲ混合シ或ハ病樹若シクハ幼木ヨリ採集セルモノヲ配合シ甚シキニ至テハ藩籬木ニ結實セルモノ若シクハ極メテ瘠地ノ母樹ヨリ採レルモノ等ヲ混入シ又ハ種子ニ塗油シテ一種ノ色澤ヲ加粧スルカ如キ其他有ラユル手段ヲ弄シテ瞞過セントスルニ於テオヤ加之是等種子ノ取引上ニ就テモ猾手段ニ出ルモノナシトセス例ヘハ種子ノ需要者ニ送著スルハ得テ其既ニ播種期ニ迫レル時ニ於テスルヲ多トスルカ故需要者ニ於テ之カ檢定上若シ其不良ナルヲ發見スト雖トモ之ヲ拒絕シテ用ヒサル時ハ準備セル播種事業ヲ全ク齟齬セシメサルヘカラス其不利甚タ大ナルモノアルモ已ムヲ得ス價格ノ割引等ニ止メテ遂ニ之ヲ播種シ爲メニ其業績ヲシテ大ニ失墜セシムルカ如キ事例ナキニシモアラサルナリ其他見本品ノミ故ラニ好良ナルモノヲ撰ミ實際ノ送品ニ當テハ劣惡ナルモノヲ混入シ其發育ノ不良ナルハ對手ノ播種ニ不熟鍊ナルカ故ナリト糊塗シ或ハ多小造植業ニ經驗アルモノニ向テハ良種子ヲ供給スルモ其然ラサルモノニ向テハ不良品ヲ供給シテ恬トシテ異マサルカ如キ其他幾多ノ流弊ハ數フルニ遑アラサラントス今ニシテ嚴トシテ

之カ矯正ヲ策セスンハ此林業上ノ最要機關ヲシテ不幸ナル運命ニ沈淪セシムルノミナラス其流弊ノ爲メニ遂ニ造林上ニ一大頓挫ヲ來タスヤ必セリ當業者タルモノハ其種子ノ販賣ヲ以テ能事足レリトナサス常ニ其之レヨリ成レル森林幾十年ノ後ノ成績ヲモ自己關與ノ責務トナスノ悟念ヲ喚發シ極メテ造林者トノ間ニ於ケル德義ヲ重ンシ品物ニ對スル信用ヲシテ十分ノ發達ヲ期セサルヘカラス是ト同時ニ又一面造林者ニ在テハ種子ノ檢定ヲ勵行スルノ好習慣ヲ作り若シ其種子ノ性質不良ナリト認メタルトキハ假令其年ニ於ケル播種事業ヲ中止スルノ止ヲ得サルニ至ルモ容赦ナク其買受ヲ拒絕スルノ英斷ニ出ツルヲ得策トス若シ出來ヘクンハ今日ノ場合ニテハ種子ハ其幾部分ナリトモ自己ノ所有林若クハ自ラ撰擇シタル森林ニ於テ採取スルヲ勸告セサルヲ得ス是事業ノ安全ナルノミナラス母樹ノ撰擇種子ノ採取取扱及ヒ檢定等ノ智識ヲ得ルノ捷徑タレハナリ

今回ノ出品ニ於テ所謂種子ノ採取若シクハ販買ヲ以テ業トスルモノ、出品太タ少カラス其品種品質上ニ於テモ見ルヘキモノ亦甚タ多ク加之其産額販路若シクハ業務上ノ經歷效績等大ニ多ドスヘキモノアリテ截然時弊ト異ナルモノ少カラスト雖トモ是等ノ事業者ハ僅ニ一二ノ地方ニ限ラレタルカ如キ觀アリテ未タ其區域ノ極メテ廣カラサルハ太タ遺憾トナサ、ルヘカラサルナリ而シテ自用種子ノ出品ノ如キニ在テハ其出品者ハ各地ニ涉リ其區域寧ロ狭少ナラス又品質ノ如キモ概シテ不良ナラサルモノ多シト雖トモ其産額及ヒ採取撰種等ニ於テ未タ著シキ進況アルモノヲ見ス且ツ各地共ニ出品者ノ少數ナルハ是又甚タ遺憾ナリト

ナサ、ルヘカラサルナリ左ニ府縣別出品數并ニ授賞數ヲ表示シ尙ホ其差アルモノニ就テ細評スル所アルヘシ

府縣別種子出品點數并ニ授賞數一覽表

府縣別	出品點數		出品人員	金 牌		銀 牌		一等賞		二等賞		三等賞		褒 狀	計	備 考
	杉、扁柏、其他樹種	計		杉、扁柏、其他樹種	杉、扁柏、其他樹種	杉、扁柏、其他樹種	杉、扁柏、其他樹種	杉、扁柏、其他樹種	杉、扁柏、其他樹種	杉、扁柏、其他樹種	杉、扁柏、其他樹種					
東京	七	二	二													
京都	二	二	二													
大阪	二	二	二													
神奈川	二	二	二													
新潟	一	一	一													
群馬	二	二	二													
埼玉	二	二	二													
千葉	二	二	二													
茨城	二	二	二													
栃木	三	三	三													
奈良	四	四	四													
三重	〇	二	二													
愛知	六	二	二													
静岡	一	六	七													
滋賀	二	一	三													
岐阜	三	四	七													
岐阜	四	四	三													
計														一		
計														二		
計														四		



ニ於テ仕立ツルヲ可トシ又造林者自カラ之カ育成ノ事ニ當ルヲ利アリトス然リト雖トモ若シ其所要苗木ノ少數ナル場合或ハ育成苗木ノ豫定ニ滿タサル場合又ハ施業上ノ都合ニ依リ自カラ育苗ニ差開フル場合等其他種々ノ事由ニ依テ苗木ヲ購入スルヲ反テ必要トスル場合ナキニアラス即チ種子ニ於ケルト等シク苗木モ亦其育成販賣ヲ以テ一ノ分業トシテ必スシモ其非ナルヲ認ムヘカラス否寧ロ是等ノ機關ハ造林業上甚タ必要ニシテ且ツ有益ナルコトヲ諒トセサルヘカラサルナリ故ヲ以テ近來是等ノ營業者亦頻リニ輩出シ其産額年々數千萬本ノ多キニ達スルモノアルカ如キ盛況ヲ見ルニ至リ之カ爲メ造林上ニ便益ヲ與ヘシ所甚タ鮮少ナラサルナリ然ルニ是ト同時ニ種子ニ於ケルトハ稍々其趣ヲ異ニスト雖トモ是レ亦一種ノ流弊ハ漸ク蔓延シ來リテ例ヘハ苗木供給ノ價格不廉ニシテ之カ爲メ造林費ヲシテ徒ラニ多大ナラシムルノ已ムヲ得サルカ如キ若シクハ深ク育苗上ノ智識ヲ有セサルカ爲メニ適良ナル苗木ヲ供給スル能ハサルカ如キ是等供給者ノ施設若シクハ技能ニ於テ不十分ナルモノアルニ依ル弊害ハ寧ロ深ク咎ムヘカラサル點アリト雖トモ其故意ニ出テ、射利ヲ事トシ或ハ小面積ノ地ヨリ多數ノ苗木ヲ出サンカ爲メ密植シ或ハ勞費ヲ省カンカ爲メ床替ノ度數ヲ省畧シ而シテ總テ是等ノ非ヲ掩ハンカ爲メ故ラニ肥沃地ニ於テ栽培シ若シクハ過度ニ施肥シテ房狀ノ根ニ仕立ツルカ如キ等其他多數ノ苗木ナルトキハ不良ノモノヲ巧ニ其間ヘ混入スルカ如キ若シクハ植栽後ノ不成績ハ一ニ需要者ノ不熟練ナルニ依レリト責ヲ對手ニ嫁スルカ如キ種々ノ措策ハ種子ニ於ケルト大同小異ニシテ而カモ自家ハ最モ信用アル供給者

ニシテ且ツ極メテ其業技ニ長シタル閱歴アリ若シクハ特産地ナリ等ト誇稱瞞言スルカ如キハ其弊毒測ルヘカラサル者アラントス是レ畢竟需要者カ之ヲ看破ノ明ナキニ依ルカ若シクハ稍々其不十分ナルヲ知ルト雖モ若シ之ヲ拒絶スルトキハ當業者ニ蒙ラシムル損失ノ極メテ大ナルヲ憫諒スルノ情實ト自己當年ノ植栽事業ノ計畫ニ齟齬ヲ來タスノ不手際トナルヲ屑トセサルニ依ルモノニシテ深ク利害ヲ熟考シタルノ所爲ニアラス元來苗木ノ檢定ハ種子ノソレノ如ク困難ナルモノニアラサルヲ以テ若シ供給者ニシテ檢定ヲ怠ラス情實ヲ排シ一時仕事上ノ不手際ノ如キハ之ヲ意ニ介セス只々業績ノ好良ナルヲ目的トナスニ至ラハ叙上ノ流弊ノ如キハ數年ヲ出テスシテ其跡ヲ絶ツニ至ルヘキヲ信スルナリ希クハ當業者タルモノハ其供給者タルト需要者タルトヲ問ハス深ク是等ノ點ニ留意シテ其戒飾進善ノ域ニ向ハシメン事ヲ要ス

今回ノ出品ニ就テハ種子ニ於ケルト同シク又各自養ノ苗木ニ於テモ之ヲ前回ニ比スレハ總ヘテノ點ニ於テ其面目ヲ改メタルモノアリト雖トモ前キニ記述セシカ如ク本邦造林上ノ一大要素タル種苗ノ出品トシテハ未タ甚タ缺如タルヲ免レサルモノ多キカ故希クハ將來益々其進歩ヲ策シテ後回ニ於テハ些ノ遺憾ナキニ至ラン事ヲ切望ス左ニ苗木ニ於ケル樹種別出品點數授賞表ヲ掲ケ尙ホ其著シキモノニ就テ細説スル所アルヘシ

府縣別苗木出品點數并授賞數一覽表

府縣別	出品點數		人員	金牌		銀牌		一等賞			二等賞			三等賞			褒狀		計	備考
	杉	其他		杉	其他	杉	其他	杉	其他	杉	其他	杉	其他	杉	其他	杉	其他			
北海道	二	一	一															二		
東京都	一	一	一															一		
京都府	一	一	一															一		
大阪府	一	一	一															一		
兵庫縣	一	一	一															一		
新潟縣	一	一	一															一		
群馬縣	一	一	一															一		
千葉縣	一	一	一															一		
茨城縣	一	一	一															一		
栃木縣	一	一	一															一		
群馬縣	一	一	一															一		
山梨縣	一	一	一															一		
靜岡縣	一	一	一															一		
滋賀縣	一	一	一															一		
岐阜縣	一	一	一															一		
愛知縣	一	一	一															一		
三重縣	一	一	一															一		
奈良縣	一	一	一															一		
和歌山縣	一	一	一															一		
石川縣	一	一	一															一		
福井縣	一	一	一															一		
秋田縣	一	一	一															一		
青森縣	一	一	一															一		
宮城縣	一	一	一															一		
長野縣	一	一	一															一		
合計	六	一	一															六		

苗木出品樹種別點數表

府縣別	杉	柏扁	松赤	松黑	松葉落	檜山	櫟	漆	桐	樟	槇	松金	柏花	栗	楊白	檜	檉白	樺	樹孫公	桂肉	楊赤	柏漢羅	松ツア	松ツア	松ツア	松ツア
北海道	二	一	一																							
東京都	一	一	一																							
京都府	一	一	一																							
大阪府	一	一	一																							
兵庫縣	一	一	一																							
新潟縣	一	一	一																							
群馬縣	一	一	一																							
千葉縣	一	一	一																							
茨城縣	一	一	一																							
栃木縣	一	一	一																							
群馬縣	一	一	一																							
山梨縣	一	一	一																							
靜岡縣	一	一	一																							
滋賀縣	一	一	一																							
岐阜縣	一	一	一																							
愛知縣	一	一	一																							
三重縣	一	一	一																							
奈良縣	一	一	一																							
和歌山縣	一	一	一																							
石川縣	一	一	一																							
福井縣	一	一	一																							
秋田縣	一	一	一																							
青森縣	一	一	一																							
宮城縣	一	一	一																							
長野縣	一	一	一																							
合計	六	一	一																							

第二部 種子及苗木



生成スル所ノ樹木其質頗ル好良ニシテ之レニ依テ成レル林相亦極メテ整正ナルモノヲ多シトス故ニ之カ種子ノ選良若シクハ採取ニ於ケルモ又苗木ノ育成及ヒ其適否ノ研鑽ニ於ケルモ幾多ノ便宜ヲ有シ又幾多ノ經驗ヲ有ス是ヲ以テ益々其同地方殖林ニ對スル好種苗ヲ供給スルノミナラス近來各地造林ノ盛ナルニ從ヒ或ハ同地方產種苗ノ佳良ナルヘキヲ信賴シ或ハ其選擇及ヒ育成ノ適良ナルヘキヲ想望シテ種苗ヲ此地方ニ需ムルモノ甚タ多ク之カ供給ヲ以テ業トスルモノ漸ク其多キヲ見ルニ至レリ吉野地方種苗業者タルモノ、榮譽甚大ナルト共ニ其責任ヤ亦極メテ重シト云ハサルヘカラサルナリ今回ノ出品點數苗木五十一點種子五十四點其人員苗木ニ於テハ二十八人種子ニ於テ二十二人ノ多キヲ見大ニ他府縣ニ超越セルモノアリ而シテ其多クハ杉檜ニ於ケルモノニシテ特ニ注目スヘキハ其出品概シテ好良ナラサルナク寔ニ名產地ノモノタルニ背カサルハ推賞セサルヘカラサル所ナリ就中吉野杉檜種苗合名會社及ヒ吉野杉檜種苗販賣合名會社ノ如キ一箇年ノ苗木育成數數百萬本ニ出テ今回ノ出品苗木亦甚タ佳良ニシテ最モ山地植栽用ニ適スルヲ見ル又高貝信一郎出品ノ杉檜種子ノ如キモ其品質頗ル好良ニシテ粒ノ大小及均一ノ度重量發芽力胚珠光澤形狀等ノ條件ニ於テ最モ適合セルモノタルヲ見ル試ニ其試驗成績ノ一端ヲ掲クレハ左ノ如シ

杉種子	粒ノ大小及均一ノ度	發芽量	重量十六立方センチメートルニ於ケル
檜種子	八三	九〇	三〇・三
	八五		二九・五

尙ホ同人ハ斯業ニ從事スル茲ニ年アリ販路漸ク廣ク產額亦甚タ鮮少ナラスト云ヘリ以テ其勵精盡瘁スル所アルヲ見ル吉野杉檜種苗改良組合出品ハ同縣出品種苗中ノ白眉ニシテ即チ亦各府縣出品ニ超絶シタルモノナリ其產額一箇年杉苗七千萬本檜二千八百萬本ニ上ルト云ヘリ以テ其業況ノ盛大ニシテ販路ノ廣キヲ知ルヘシ而シテ今回ノ出品苗木ノ如キ品質甚タ適良ニシテ枝葉根幹共ニ健全ナルヲ得山地植栽用苗木トシテ殆ント一ノ缺點ナキヲ認ム殊ニ其出品方法ノ如キ最モ用意ノ周到アルモノアリテ先ツ會場苗圃内へ九十坪ノ地ヲ劃シ之ニ播種苗圃ノ狀態ヨリ毎回床替苗圃ニ至ル各種ノ狀態ヲ秩序的ニ現ハシ更ニ同地方妹脊山ノ模型ヲ造リテ之ニ山出苗ヲ植栽シ又二十分一ノ縮尺ヲ以テ山地植栽ノ狀態ヲ現ハシ而シテ此妹脊山ノ模型ニ於ケル表土ハ特ニ其質地ヨリ運搬シ來リテ以テ杉檜ニ適スル土性ヲ示シ尙ホ同模型中吉野川ノ石礫ハ是亦本川ノモノヲ使用シ添フルニ筏ノ模型ヲ以テシ一見吉野川筏流シノ方法并ニ光景ヲモ併セ知ルノ便ニ供シ出品苗圃地ノ柵圍一部ニハ吉野地方苗木山出シ後五六年ヲ經タル若木ヲ列植シ以テ吉野山林ニ於ケル幼樹ノ狀態一斑ヲ示シ又苗圃地ヲ圍繞セル柵木及ヒ柵内ノ一部ニ建設セル小亭ハ以テ之ヲ小憩所ニ充テ其使用ノ木材ニ依テ吉野洗丸太及ヒ間伐材ノ性質應用用途等ヲ示シテ業況及ヒ業績ノ表明ニ留意セルノ績歴然タリ其熱誠寔ニ嘉スヘシトナス以上ハ何レモ一等賞若シクハ二等賞ノ名譽ヲ受領セシモノニシテ殊ニ是等ハ何レモ前段評說セシ彼ノ各地ニ向テ種苗ヲ供給スルヲ業トナスモノナルカ故ニ將來極メテ其業技ヲ鍊磨シテ愈々其信用ヲ増進シ一ハ以テ名產地タル聲譽ヲ



シテ失墜セサラシメ一ハ以テ本邦造林業上ニ向テ大ニ貢獻スル所アラン事切望ニ堪ヘサルナリ左ニ二三ノ解説書ヲ拔萃シテ參照トス

奈良縣吉野郡杉檜種苗木改良組合出品杉檜苗木圃解説書抄録

母樹撰擇ノ方法 杉種子母樹ノ年齡ハ五十年乃至百年ノ老樹ヲ撰ミ檜ハ二十年乃至五十年ヲ經タル直立強健ニシテ枝葉稍々傾斜シ繁茂其度ニ適シ球實ノ稍々淡褐色ニ變スルヲ見テ十月下旬ヨリ十一月中旬迄ニ母樹ニ攀登リ東南ニ面スル所ノ球實ヲ枝葉ノ儘能ク揃ヒタルモノヲ切り取り之ヲ筵ニテ擴ケ日光ニ乾ストキハ種子ハ自ラ種房ヲ離レ出ルナリ種子採取ノ方法 種房ヲ離レ出タル種子ヲ水ヲ滿シタル容器ニ五六時間投入シテ浮上水撰方ヲ用ヒス唐箕又ハ篩等ニテ精撰スルモノトス然ルノチ沈澱シタルモノヲ取り浮上リタルモノヲ棄テ能ク乾シテ水氣ヲ去リ之ヲ篩ニカケ播下シテ發芽ノ後苗木ノ成長遲速ヲ避クルタメ過大ナルモノト過小ナルモノトヲ除キ最モ能ク粒ノ揃ヒタルモノヲ取リ此種子ヲ濕氣ヲ含マサル様能ク包裝ヲナシ函又ハ壺ニ入レ翌年苗木ニ播種スル時期迄之ヲ貯藏ス

苗圃仕拵ノ方法 苗圃ヲ仕立ントスルニハ前年ノ冬期十一月下旬ノ頃土質ノ輕キ所ニシテ傾斜ノ畑ヲ撰ヒ是ハ可成南ニ面スル傾斜地ヲ撰フモノニシテ過度ノ濕氣ヲ去リ雨水ヲ排除シ温熱ヲ受ケ易カラシムルヲ目的トナスカ故ナリ能ク耕シ雜草ノ根ヲ去リ播下シノ頃迄ニ害蟲ヲ凍死セシムルタメ冬期及春期ノ始メ土塊ヲ碎キ二三度ヲ耕シ置クヲ最モ宜

シトス猶ホ種子播下ノ候(三月下旬ヨリ四月上旬迄)ニ至レハ雜草及ヒ粗大ナル芥ヲ取り除キ幅三尺ノ畝ヲ造リ長サ畑ニ準ス高サ二寸位ノ地盤ヲ設ケタル畑ヘ面積一坪ニ付油粕五合ヲ撒布シ能ク掻キ交セ其上ヲ平鍬ノ脊ニテ叩キ能ク平坦ニナシ置クモノトス  
種子播下ノ方法 種子ヲ播下スルニハ地盤ヲ能ク平坦ニナシタル處ヘ面積一坪ニ付杉種子二合、檜種子七合ノ割合ヲ以テ播下シ其上ニ土ヲ被フコト厚サ一分位トナシ(土ヲ被フニハ細キ篩ヲ以テ透シ掛クルモノトス)又其上ニハ摺糠等ヲ撒布シ直ニ藁ヲ以テ覆ヒ置キ播下後(二十三日)ニシテ發芽ス尤モ土地ノ寒暖ニヨリ多少ノ早晚アリ發芽シテ藁ヲ突キ揚ケントスルヲ待チテ藁ヲ除去シ雜草ヲ拔キ去リタル跡ヘ稀薄ニ油粕ト鶏糞トヲ各等分ニ混合シ一坪ニ二合乃至三合ノ割合ヲ以テ撒布シ(鶏糞ヲ油粕ニ混合スルハ優ニ肥料ニ適シ又ハ蟲害ノ發生セサル爲メニ施スモノトス)其上ニ土ヲ五厘乃至一分位掛ケルモノトス然ル後更ニ小麥稈ヲ以テ地床ヨリ一尺斗リ高ク日覆ヲナシ漸次苗木ノ成長ニ隨ヒ二尺位迄高クス種子發芽後ハ雜草拔取りノタメ可成微雨又ハ濕氣ノ多キ時ヲ見テ七八日乃至遅クモ十日目毎ニ手入レヲナスモノトス秋彼岸後ニ於テ日覆ヲ取去リ寒氣ノ候ニ至レハ防寒ノ爲メ藁ノ袴ヲ覆ヒ置クヲ最モ宜シトス(藁ノ袴ヲ覆ヒ置ク必要ハ寒氣ノ烈シキ時ハ杉ニアリテハ幹ノ梢端枯ル、コト多キカ故ニ覆ヒ置ク必要トス然レトモ暖地ニ在リテハ此必要ナシ)

一年苗木移植培養法 一年苗木ヲ移植スルニハ能ク畑ヲ耕シ幅三尺ノ畝ヲ造リ一ト畝毎ニ一

尺幅ノ通路ヲ開キ(是通路ハ雜草拔去リ排水其他施肥等諸般ノ便利ニ設ク)横筋ヲ附ケ是レヲ指植苗ト稱シ苗木ノ大小ヲ區別シ(大ハ二本小ハ三本)ヲ束子一筋ニ十二三本ヲ移植シ終リタル時ハ雜草ノ蔓延炎暑ヲ凌クタメ松葉及ヒ藁ノ細カク切リタルモノヲ撒布シ置ク施肥ハ五六月ノ頃人糞及ヒ油粕等ヲ二三回施シ又苗木ノ生長ニ隨ヒ應分ニ之ヲ施ス  
 二年苗移植培養法 二年苗ヲ移植スルニハ畝ノ造リ方一年苗ト同様ニシテ横筋ニハ苗木ノ大小ヲ區別シ一本ツ、八本ヲ并列シ移植ス移植ノ終リタル時ハ雜草ノ蔓延炎暑ヲ凌ク爲メニ再ヒ前法ヲ繰返シ施肥ハ移植シテ二三日經過ノ後稀薄ナル糞汁ヲ施シ漸次人糞油粕等ノ肥料ヲ二三回秋ノ彼岸後迄應分ニ之ヲ施ス成長ノ優リタルモノヲ翌年ノ春季山地へ移植シ遅レタルモノハ伏替ヲナシ前年山地へ移植シテ枯死セシ補植苗木トシテ移植シ置ク

苗木ノ效用 本苗圃ニ移植セシ苗木ヲ山地ニ植付クルニ若年ニシテ結實ノ憂ナク樹木ノ成長速カニシテ產出スル木材ハ其材質優美且其色合ハ本郡特有ノ淡紅色ヲ帶ヒ家屋ノ建築ヲ始メ各種ノ器具ヲ製作シテ頗ル品位高尚ナルノミナラス杉材ノ如キハ酒造家ノ酒樽用ニ賞用スルモノ多キハ杉ニ一種ノ氣香ヲ有スル所以ナリトス又本苗圃ニ移植セシ杉苗木一年苗二年苗三年苗共樹真ノ著シク延長スルコトナク各小枝相伴フテ成長セリ杉苗木ニシテ樹真ノ著シク延長スルモノハ概シテ若年ノ母樹ヨリ採取セシ種子ヲ播下シタルモノニ多ク而シテ樹真ノ小枝ニ秀越シテ延ヒシ部分ハ頗ル柔軟ナルヲ以テ嚴寒ニ遭フテ樹真

ヲ凍死セシムルコトアリ其凍害ニ罹リシ苗ハ小枝四方ヨリ漫出シ到底良苗良材ヲ得ルコト難シ又稍々眞ノ延長スル苗ハ若年ノ母樹ヨリ採取セシ種子ニ多キヲ以テ山地へ移植後數年ヲ經スシテ結實シ樹木ノ成長ニ大ナル障害ヲ與フルモノナリ檜一年苗二年苗三年苗ハ杉ニ反シ樹真ノ延長スルモノニアラサレハ山地へ移植シテ成績良好ナラス故ニ本苗圃ニ出品セシ苗木ハ樹真直立シテ延ヒ捻シ苗又ハ苗幹ノ屈曲スルモノナキハ苗木養成ニ苦心シ經驗ヲナセシ結果ニ依ルモノナリ蓋シ檜苗ハ樹真延長スルモ嚴寒杉ノ如ク樹真凍死ノ憂ナキヲ以テナリ

苗圃裝置ノ解説

- 一 苗圃ヲ圍繞スル柵木及苗圃ノ東北隅ニ建造スル小亭ハ吉野杉ノ洗丸太間伐材ヲ以テ造作シ來觀者ニ間伐材使用ノ風雅ニシテ其用途ノ廣キ一例ヲ示サントス
- 二 苗圃ノ中央ニ高く直立スル一本ノ杉材ハ植込後六十年目ノ間伐材ニシテ元口七寸末口二寸五分高サ七十尺ニ切斷セシモノニシテ本苗圃ノ苗木ヲ山地へ移植セハ斯ル良質ノ木材ヲ得ルコトヲ入場者ニ供覽セントス
- 三 苗圃ノ東南ニアル築山ハ妹山及脊山ニシテ間ヲ隔ツルハ吉野川ノ模型トス而シテ川ノ中流ヲ貫通スルハ吉野材木筏ノ模型ニシテ來觀人ニ筏ノ翳ミ方及流シ方ヲ示スカ爲ナリ(但筏模型ハ二十分ノ一ノ縮尺ニ據ル)
- 四 吉野川ニ散在セル石礫ハ本川ノ眞景ニ擬セシ爲メ大和吉野川ヨリ運搬シ來リシモノ

ナリ

五 妹山脊山殖林地ノ上土ハ杉檜共各其樹質ニ適當セル土壤ヲ吉野郡ヨリ苗圃内ニ搬入シ來リシモノニシテ來觀人ニ杉檜ニ適應ノ土質ヲ觀覽ニ供セントス

六 苗圃ノ柵外凡二三尺ヲ隔テ、園植セル杉五六尺ノ樹木ハ吉野郡ノ杉山凡五六年目ノ山林ニ就キ引キ揚ケ移植セシモノニシテ吉野杉成長ノ状態ヲ觀覽ニ供センカ爲メナリ

奈良縣吉野郡上市町吉野杉種苗合名會社出品杉檜種苗圃解説書抄録

產地 杉一年苗、二年苗、三年苗ノ產地ハ吉野郡大字圓治ニシテ原料種子ノ產地ハ同郡川上村大字下多古ナリ

大字武木ナリ

母樹撰擇ノ方法 本苗圃ノ苗木ヲ栽培スル原料タル種子ノ母樹撰擇ノ方法ハ杉ハ五十年以上八十年以下ノ樹木ヨリ採取シ檜ハ二十五年以上五十年以下ノ樹木ヨリ採取セリ

種子採取ノ方法 本苗圃ノ苗木ヲ栽培セシ種子採取撰擇ノ方法ハ杉ハ秋土用後三日目ヨリ十日間ニ採取シ之レヲ水撰シ沈澱セシモノヲ取り浮上リシモノヲ廢棄シ又黒實ヲ去リ

更ニ篩ニカケテ粒ノ過大ナルモノト過小ナルモノトヲ除キ均一ナル種子ヲ撰ム

檜種ハ水撰スルコトヲ得ス故ニ篩ニテ粒ノ過大ナルモノト過小ナルモノトヲ除キ均一セル種子ヲ撰ミ再ヒ之ヲ唐箕ニ懸ケ粒ノ重量輕クシテ飛散セルモノヲ廢棄ス

苗圃仕立ノ方法 苗圃仕拵ヘノ方法ハ前年冬期能ク耕シテ雜草ノ球根ヲ鋤シ去リ害蟲ノ卵仔ヲ凍死セシメ置キ移植又ハ播種ニ際セハ再ヒ耕耘シ幅四尺構共ノ畝ヲ作り之レニ苗木ノ移植及ヒ種子ノ蒔付ケテ左ノ方法ニ依ルモノトス

種子播下ノ方法 杉種種子ヲ播下スル時期ハ每年四月上旬トス其方法ハ播種前油糟ヲ畑一坪ニ付二合半ノ割合ニ撒布シ置キ能ク耕シツ、攪拌シテ地床ヲ平坦ニナシ(但檜苗床ハ少シク中高トナス)鋤ニテ平面ニ敲キ付ケ之レニ杉種子ハ一坪ニ付二合檜種子ハ五合ノ割合ヲ以テ播下シ其上ニ篩ニテ土ヲ凡ソ一分計リ篩ヒ落シ(但シ種子ノ十中八九位ヒ隠ル、ヲ適度トス土ヲ覆フコト厚ケレハ種子ヲ腐敗セシムル恐レアリ)其上ニ藁ヲ覆ヒ置クモノナリ

發芽後ノ取扱 播種ノ後十八九日經過セハ發芽ヲ始ム其時藁ヲ一二寸計リ高メ後チ又一週間ヲ經テ高サ一尺五寸乃至二尺ノ日獲ヲナス其日蓋ノ仕様ハ麥稈ヲ葎ノ如クニ編ミテ之レヲ作ルモノトス雜草ハ雨後又ハ雨中ニ時々之ヲ根引シ冬期ニ至レハ嚴寒ニ際スルモ苗ノ損傷セサル爲メ苗ノ上ヨリ粗糠ヲ散布シ置クモノトス又施肥ハ苗木ノ成長如何ヲ見計ヒ梅雨ノ候ニ薄キ糞汁ニ油粕ヲ混シ適宜ニ之レヲ施スモノトス

杉種一年苗ノ移植及培養法 杉種本年春一年苗ト稱スルハ三十四年秋採取種子ヲ三十五年四月播下シ一箇年間生育セシ苗ヲ云フ之レヲ移植スルニ至テハ苗床ヲ鋤ニテ三寸計リ土下ヲ掘リ起シ苗木ノ大中小ヲ撰リ揃ヘ移植畑地ヲ畝四尺(但溝共溝幅五寸)深サ三四寸

ノ小溝ヲアケ平面ニナシ之ニ横三寸豎三寸(大ナル苗ハ豎四寸位ヒ)ニ苗木ヲ二本宛移植ス  
 但シ二本植ノ分ハ畑平面一坪ニ付五百二十八本ノ割リニ植付ク  
 二年苗移植及培養法 杉檜本年春二年苗ト稱スルハ三十三年秋採取ノ種子ヲ用ヒ三十四  
 年春四月之レヲ播下シ三十五年春移植シ二箇年間生育セシ苗ナリ本苗木ヲ本年春移植法  
 ヲ施セシモノナリ  
 畑畝幅四尺但溝幅トモ深サ三四寸計リ小溝ヲ上ケ平面ニナシ横六寸豎六寸ヲ隔テ、一本  
 宛移植ス

但シ畑平面一坪ニ付九十本ノ割リニ植付ク  
 三年苗ノ移植及培養法 杉檜三年苗ト稱スルハ三十二年秋採取ノ種子ヲ三十三年春四月  
 ニ播キ下ロシ三十四年及三十五年ノ三箇年間生育セシ苗ナリ而シテ本苗木ハ本年春山地  
 移植ノ用ニ供スルモノナリ其移植法ハ苗木ヲ鋏ニテ四五寸許リ土底ヲ掘リ上ケ山地へ移  
 植スルニ山地一坪ニ付三本ノ割合ヲ以テ移植ス  
 苗木ノ效用 本苗木ヲ山地へ移植スルトキハ幼年ノ頃ヨリ結實ノ憂ヒナク樹木ノ生長速  
 カニシテ産出スル木材質優美色合ハ本郡特有ノ淡紅色ヲ帶ヒ家屋ノ建築ヲ始メ各種ノ器  
 具ヲ製作シテ頗ル品位高尚ナルノミナラス杉材ハ酒造家ノ酒樽用ニ賞用スルモノ多シ是  
 レ杉材ハ一種ノ氣香ヲ有スル所以ナリ  
 又本苗ハ杉一年苗二年苗三年苗共樹眞ノ著シク延長スルコトナク各小枝相伴フテ成長セ

附言

杉苗木ノ稍々徒長セルモノハ概子若年ノ母樹ヨリ採取セシ種子ヨリ生育セルモノナルカ  
 故ニ是等ヲ山地ニ移植スルトキハ既ニ幼年ノ頃ヨリ花ヲ開キ實ヲ結ヒ到底良材ヲ得ルコ  
 ト難シ

奈良縣吉野郡川上村高貝信一郎出品杉種子解説書抄録

産地土質及反別 産地ハ奈良縣吉野郡川上村土質ハ黒土小石交リノ濕氣アル傾斜地ニシ  
 テ人造林ヨリ採取ス反別一町歩  
 種類及採取 採取季節ハ九月中旬ヨリ十一月月上旬迄ニシテ發育完全ナル母樹七十年以上  
 百年以下ノ母樹ヨリ採取スル種子ヲ採取スルニハ母樹ノ結實セル部分ヲ枝ナカラニ切り  
 取り持テ歸リ北面ノ閉塞セル(之レハ冷氣ヲ防クナリ)南面ノ場所ニ棚ヲ設ケテ積ミ重子乾  
 燥セシムルコト凡ソ二十五日間ヲ經ハ種子ハ自然球實ヨリ落下スルニ至ル此時枝條ヲ持  
 テ桶ノ中ニテ球實ヲ篩ヒ種子ヲ出シ過大ナルモノト過小ナルモノトヲ除キ最モ能ク粒ノ  
 揃ヒタルモノヲ取り猶ホ暫時陰ケ干シトナシ澁紙等ノ如キ濕氣ヲ導カサル袋ニ入レテ翌  
 春播種スル時迄貯藏ス

種子撰擇法 種子ヲ播種スル前ニ水ヲ滿シタル容器水五斗ニ種子五升位ヒニ種子ヲ一晝  
 夜間(五回程竹ノ棒ニテカキマハス)投入シ置キ然ル後浮キタル種子ヲ除キ沈ミタル種子ヲ

取り日光ニ乾シ更ニ尙一回種子ヲ充水シタル容器ニ前同様ノ割合ニ投シ二三時間ヲ經タル後浮キタル種子ヲ捨テ沈ミタル種子ヲ搖リ出シ其底ニアル黒種ヲ捨テ日光ニ乾シ水氣ヲ去リ後播種ス此播種スル種量ハ一升二百二十匁アリ

效用 本種子ハ他産ト異ナリ粒形能ク揃ヒ色澤優美實入充分隨テ能ク發芽シ發芽完全苗木強健ニシテ良苗ヲ得能ク早魃ニ堪フル力アリ又山地ニ移植スルモ成長速カニシテ殆ント六十年以上ノ星霜ヲ經ルニアラサレハ實ヲ結ヒ萎縮スル慮ナシ是レ本種子ノ特效アル所ナリ

産出額 毎年平均五十石

奈良縣吉野郡川上村高良信一郎出品扁柏種子解説書抄録

産地土質及反別 奈良縣吉野郡川上村土質ハ赤土小石交リノ傾斜地ナル人造林ヨリ採取ス反別一町歩

種植及採取 採取季ハ九月上旬ヨリ十一月中旬迄ニシテ發育完全ナル母樹ニシテ三十年以上五十年以下ノ星霜ヲ經タル良樹ヨリ採取ス採取方法ハ種子ヲ包擁スル種房ヲ取り之ヲ十日間日光ニ乾ストキハ種子自ラ種房ヲ離レ出ツヘシ其時節ヒヲ以テ過大ナルモノト過小ナルモノトヲ除キ能ク粒ヲ均一ナル大サトナシ之レヲ唐箕ニ入レ風簸シテ輕キモノヲ捨テ去リ良種ヲ澁紙等ノ如キ濕氣ノ導カサル袋ニ入レテ翌春播種時季迄貯藏ス

效用 本種子ハ他産ト異ナリ粒形能ク揃ヒ色澤優美實入充分ナル故ニ能ク發芽シ發育頗

ル健全ナルノミナラス能ク早魃ニ堪ユル力アリ又山地ニ移植スルモ成長速カニシテ殆ント二十八九年ノ星霜ヲ經ルニアラサレハ實ヲ結ハス完全ニ成長ス是本種子ノ效アル所ナリ

産出額 毎年平均十八名

茨城縣 同縣ノ出品ハ種苗併セテ八點ヲ猿島郡北總殖林組合ヨリ出品セシノミニシテ杉檜苗木ハ二等賞ノ賞格ニ入り品質甚タ好良ニシテ能ク山地植栽用ニ適スルヲ見ル種子ハ杉檜赤松黒松等ニシテ奈良縣出品ノ優良ナルニハ如カス其採取撰擇其他總テニ於テ未タ幾多ノ改善セサルヘカラサルヲ認ム試ニ其試験表ノ一端ヲ示セハ左ノ如シ

種子	粒ノ大小均一ノ度	發芽量	重量前ニ同シ
杉	九〇	四五	二九三〇
檜	六〇	六〇	二八三五
赤松	九〇	一〇〇	三二一五
黒松	八〇	一〇〇	三二五〇

同地方ハ近ク數年前ヨリ種苗供給ノ業大ニ發達シ今回ノ出品人ノ如キ近來關東及ヒ東北地方ニ向テ盛ニ之ヲ販賣シ漸ク信用ヲ博スル所アリト云ヘリ猶ホ益々進ンテ其適良品ヲ多量ニ産出シ我造林業ヲ向ツテ大ニ貢獻スル所アラントヲ望ム左ニ其解説書ヲ抄録シテ参照ニ資ス

茨城縣猿島郡八俣村北總殖林組合出品杉扁柏苗木解說書抄録

産地土質及段別 産地ハ茨城縣猿島郡八俣村外五ヶ村反別三十一町歩土質ハ中庸ニシテ地層深キ墟土ナリ地形ハ東南開放シ西北ニ森林ヲ圍ミタル乾燥地ニシテ森林ヲ利用シ日除霜除ヲ用ヒストモ日枯霜害ノ患ナキ所ニ設ク是我カ組合カ栽培上多年ノ經驗ニ依リタルナリ

種植及採收 播種ハ三月下旬ヨリ四月上旬蒔付ケ地拵ハ冬期ニ深ク耕シ風雨ニ曝露セシメ播種ニ先ツテ簡單ニ耕シ且均シ水平ニ沿フテ幅四尺長サ適宜ノ床ヲ作り床ト床トノ間ニハ幅一尺二寸ノ步道ヲ設ケ播種ノ後篩ニテ其上ニ土ヲ覆フナリ但シ一坪ニ付三合ヲ播種ス肥料ハ播種前人糞油粕等ヲ施シ置クモノナリ

培養及保護 肥料ハ穀藎ノ跡地ト交代ニ利用スルカ故概子ハ肥料ヲ用ヒス第一回ノ床替ハ播種床ノ如ク幅四尺ノ床地ニ三寸四方ニ一本宛步道ヨリ左右ニ居テ植付ケ一反歩ニ付凡ソ十五六萬本トス第二回ノ床替ハ農作ニ於ケルカ如ク一尺二寸ノ畝ヲ作り四寸間隔ニ苗木ヲ植付ケ鋤耕シテ除草ヲ爲ス

産出額 産出額ハ杉檜ノ苗木共ニ九百萬本ニシテ全國ノ諸官衙各府縣ノ殖林家ニ供給セ<sup>△△△</sup>愛知縣 同縣ニ於テモ種苗ノ供給ヲ以テ業トスルモノ漸ク盛況ヲ加フルニ至リ一方ノ産地トシテ其名四方ニ傳ハルニ至レリ蓋シ同地方ノ如キハ造林ノ必要ニ迫レル山嶽少カラス爲

メニ適良ナル種苗ヲ求ムルコト亦甚タ急ナルモノアルヘク加之其近隣ノ地方ニ於テハ良林乏シカラサルカ故資ヲ以テ採取育成ニ力ムルトキハ種苗ノ造出ニ太々難カラス又位置ハ我國ノ中部ニ在リテ剩ヘ運輸上ノ便宜極メテ可ナル地方ナルカ故他ニ之ヲ供給スルノ上ニ就テノ利便ハ他ノ産地ノ企テ及ハサル所ナリ若シ是等ノ必要及ヒ利便ニ應シテ益々其業技ニ熟達スル所アレハ同地方ノ如キハ最モ其産出ニ適スルモノト云フヘキナリ今回ノ苗木出品中好良ナルモノナキニアラスト雖モ概シテ畑地ニ他ノ穀菜ト共ニ間作シタルモノニ屬スルカ故過肥ノ嫌ナキニアラス隨テ苗狀ノ外貌整正スルモ其質軟弱ニシテ或ハ山地植栽用トシテ適セサル點少カラサルヘキヲ憾ム而シテ種子ハ杉檜ニ在テハ佳良ナル點甚タ少ク吉野地方ノモノニ比シテハ大ニ其劣レル所アルヲ認ム然レトモ黒松種子ニハ適良ナルモノ多ク且ツ其出品點數モ少ナカラス種子出品中一種ノ光彩ヲ添ヘタルハ賞スヘキニ足レリ今其試験表ノ一端ヲ掲クレハ左ノ如シ

種子 出品人	粒ノ大小均一ノ度	發芽量	重量前同斷
吉田 常雄	九〇	一〇〇	三二二三五
倉田 清次郎	九五	一〇〇	三二一〇〇
黒松 中村長七	九〇	一〇〇	三二二三五
神谷與三郎	九五	一〇〇	三二三四五
松井孫太郎	九五	一〇〇	三二二三五

第二部 種子及苗木

七四九

之ヲ要スルニ同縣出品中ニハ未タ幾多ノ改良ヲ圖ラサルヘカラサルモノアリ且ツ同地方ノ如キハ種苗供給者ハ必スシモ其採取育成ヲ自カラ行フモノニアラスシテ一種ノ仲買ニ過キサルモノモ亦少カラサルカ故是等ノ間ニ於ケル總テノ關係ハ益々其圓熟ヲ期シ以テ力メテ良品ノ産出ニ奮勵センコトヲ要スルナリ左ニ解説書ノ一二ヲ抄録シテ參照トス

愛知縣尾張國中島郡稻澤町石黒齋吉出品檜苗木解説書抄録

産地土質及反別 愛知縣尾張國中島郡稻澤町ノ畑地ニ産シ其土質ハ砂入眞土ニシテ乾燥シ稍々肥沃ナリ其栽培反別一町歩

種植及採收 寒中ニ於テ畑地ヲ深ク耕シ翌年蟲害ヲ殺盡スル爲メ春彼岸前ニ於テ再ヒ之ヲ耕シ幅三尺ノ平畝ヲ作り能ク土塊ヲ碎キ均シ普通人糞水肥ヲ施シ二週間ヲ經テ播種シ翌年春彼岸後ニ於テ一旦掘り取り更ニ同所ニ平畝ヲ作り替ヘ之ニ移植シ其翌年則チ三年目ノ春彼岸前ニ掘り取り販賣ニ供スルモノ之ヲ二年生ノ苗木トス此收穫一反歩ニ付六萬本内外ヨリ更ニ二年生ノ苗木ヲ前同様平畝ニ移植シ其翌年則チ四年目ノ春彼岸前ニ掘取り販賣スルモノ之ヲ三年生ノ苗木トス此收穫一反歩ニ付五萬本内外ナリ而シテ更ニ三年生ノ苗木ヲ前同様他ノ畑地ニ移植シ其翌年則チ五年目ノ立春後一週間ヲ經テ掘り採り販賣スルモノ之ヲ四年生ノ苗木トス此收穫一反歩ニ付三萬五千本内外ナリ

培養及保護 播種セハ砂ヲ散布シ藁ニテ覆ヒ發芽後藁ヲ除去シ肥料ハ夏土用前ニ細末ノ鰾粕ヲ一畝歩ニ付一貫百目ヲ堆積肥ニ混シ醱酵セシモノヲ散布シ夏土用後一週間ヲ經テ

細末ノ鰾粕一畝歩ニ付一貫百目ヲ施シ三回雜草ヲ取り翌年春ノ彼岸後ニ於テ同所ニ移植シ前年同様夏期ニ至リテ鰾粕一畝歩ニ付一貫四百目ヲ施シ其後三回除草シ其翌年則チ三年目ノ春彼岸前迄ニ六寸乃至八寸ニ生育ス而シテ其二年生ヲ前年ト同様ニ彼岸前ニ於テ移植シ夏期ニ至レハ鰾粕一畝歩ニ付一貫百目ヲ細末シテ施肥シ除草スルコト三回翌年春彼岸前マテニ九寸乃至一尺一寸ニ成長ス而シテ其三年生ノ苗木ヲ前年ト同様ニ他ノ畑地ニ移植シ夏季ニ至リテ一畝歩ニ付細末ノ鰾粕一貫目ヲ施シ除草スルコト三回其翌年一尺三寸乃至二尺ニ成長ス

效用 出品苗木ノ主要ハ専ラ山林ニ移植シ良材ヲ養成スルニアリ而シテ之ヲ山林ニ移植スルトキハ撰種且ツ培養其宜シキヲ得タルニヨリ枯死ノ憂ナク殊ニ砂入眞土ニ生育セシ三年生及四年生ハ肥大成長ノ速ナル特長アリテ需要者ニ既ニ認ムルトコロナリ此種ノ太キ苗木ヲ移植シ培養セハ地質ニ依リテ同一ナラサレトモ概シテ十年ヲ經過スルトキハ七八寸廻リ二十年ニシテ尺五寸以上ニ達スルハ從來ノ實驗ニ徴シテ明ナリ

沿革 明治七年ニ創業シ杉松檜蜜柑其他ノ苗木ヲ培養シ他府縣ニ販路ヲ求メ年ヲ追フテ毎年多額ノ苗木ヲ販賣セリ同十年頃ヨリ養蠶業各所ニ起リ桑苗ノ必要ヲ感シタルヲ以テ桑苗ヲ併セテ栽培輸出セリ然ルニ年ヲ經ルニ從ヒ産出額ヲ増加セシハ出品人カ業務ニ熱心確實ナルニ外ナラスト信セリ明治二十八年頃ヨリ官衙ニ於テ植林事業御獎勵ノ結果個人ニ至ルマテ之カ事業ヲ計畫スルモノアルニヨリ噸ニ檜松杉等ノ苗木需要ヲ増加セシ

ニヨリ到底出品人カ栽培セシ産額ノミニテハ不足ヲ補フコトヲ得サルニヨリ地方農家ノ培養セシモノヲ買入之ヲ販賣スルニ至レリ

産出額 出品ト同種ノ苗木ノ産額左ノ如シ

明治三十二年	九十八萬本	金千七百六拾四圓
同 三十三年	百十七萬本	同貳千九百貳拾五圓
同 三十四年	百五十四萬本	同參千八拾圓

此販賣先ハ主トシテ大阪京都四國中國九州江濃三遠駿州等ナリトス

愛知縣丹羽郡旭村松井孫太郎出品黒松種子解説書抄録

産地土質及段別 愛知縣尾張國木曾川沿岸土地瘠燥砂質礫土採收段別一百十町步

採收ス 種子ハ木曾川沿岸ニテ母樹ハ三十年以上ノ繁茂シタル木ニテ毎年十月上旬

培養及保護 採收後干場ヲ設ケ葭簀ノ裏ニ布ヲ張り之ニ載セテ擴ケ日光ニテ乾燥スルニ

隨ヒ脱種シ之ヲ唐箕又ハ箕等ニテ精撰ス種子一升ノ重量二百六十粒數五萬六千粒

産出額 毎年平均三十五石

愛知縣三河國幡豆郡豐田村中村長七出品黒松苗木解説書抄録

産地土質及反別 愛知縣三河國幡豆郡豐田村土質壤土土地乾燥ニシテ肥饒ナリ栽培採收

反別八反步

種植及採取 播種ノ順序方法苗圃ハ播種前五週間内外時々耕シ其都度水肥ヲ撒布シ之ヲ

休養ス播種ニ際シ餅粕ノ細分ヲ面積一坪ニ付一升程土中ニ混合ス種量ハ六勺位ヒテ適度

トシ蓋土ノ上ニ砂ヲ撒布ス播種季ハ五月上旬(八十八夜後)五日間トス移植季ハ十月中旬ヨ

リ三週間以内其方法ハ幅三尺ノ花壇ノ如クシテ方五寸ニ一本ツ、一坪ニ付二百四十五本

ヲ植エ採收季ハ翌年ノ秋十月中旬ヨリ五週間内外トス

培養及保護 肥料ハ餅粕及人糞尿ノ水肥トス施肥ハ發芽後四五十日間ヲ經テ餅粕ノ細粉

ヲ一週間毎ニ三四回及時々水肥ヲ施ス耕作ハ少サキ手鎌ニテ時々土ヲ和カク保護ス發芽

ノ際ハ種殻ヲ附著シテ生シ發育大凡ソ一寸位ニシテ自然ニ之ヲ落ス其四五十日間ハ鳥類

等ノ其芽ヲ切嘴スル故時々見廻引板案山子ノ類ヲシテ除害ス夏季ハ旱魃シテ潤澤乏シ

ク綠枯凋スル故時々河水ヲ注撒ス冬季ハ降雪防寒ニ藁ヲ冠覆ス

效用 砂地ノ苗木ハ細根繁殖スルモ遠路運搬中勢力缺乏シテ移植後生著遅ク枯死スル憂

アリ粘土地ノ苗木ハ牛房根太ク枝根少シ從テ生著力乏シク運搬中又ハ移植シテ枯死スル

恐レ渺カラス然レトモ當地ノ壤土質ニ生スル苗木ハ幹太ク親根及細根共ニ繁殖シ根頗ル

強ク遠地へ運搬スルモ能ク其保力ニ堪へ移植極メテ根差シ早ク成長敏速枝葉ノ繁茂亦タ

速カナリ黒松ニ赤松ニ比シ成長繁茂等一層敏速ナリ

産出額 黒松一種ニシテ出品總額三十五萬已上四十萬内外トス(但シ既往三箇年平均一年

産出額)



當地產出ノ黒松苗木ハ根深クシテ瘠地へ移植スルモ發育敏速ナリ故ニ山林原野等ニ植栽スルニ適合シ年々產出額ノ増加ヲ見ル當地ハ衣ケ浦ニ接スルヲ以テ海運ノ便最モ宜ロシク又汽車積ノ荷ハ岡崎安城等ヨリシ地勢平坦通路完全牛馬車ノ便ヲ以テ運輸ス爲メニ出品費ヲ大ニ減少スルコトヲ得是レ販路ノ倍々擴張スル所以ナリ山林ニ生セル松及老松ノ種子ハ廉價ナルモ試作ノ結果平地ニ生スルモノニ比シ成長大ニ不可ナリ故ニ壯健ナル松ノ種子ヲ以テ善良ナル苗木ヲ產出スルヲ主トス而シテ滿一年生苗木ハ柔弱ニシテ運送中勢力缺クルノ恐アルカ故ニ一度移植培養シ其生著力ニ堪ユル健全ナル三年生ノミヲ產出スルニ改メタリ

大阪府 同府出品中三等賞ノ賞格ニ入りタル住友吉左衛門出品ノ杉檜苗木ハ同人所有伊豫別子銅山ニ於ケル鑛山備林ニ供用スルモノニシテ同銅山附近ニ於テ育成セルモノナリ其品質甚タ好良ナラスト雖モ其山地植栽ニ適スル丈ケノ要質ハ略ホ之ヲ備具セルヲ認ム然ルニ本品ニ就テ特ニ推賞スヘキハ鑛山業ト森林トニ於ケル密接ナル關係アルニモ拘ハラステニ只其林産ヲ資用スルニ止リ曾テ其造林的作業ノ如キハ滔々タル鑛業者ノ多クハ之ニ著手セテ隨テ林産ノ保續ニ用意ヲ缺クノミナラス延ヒテ水源ノ涸渴等幾多ノ弊患ヲ醸出スルナジトセス然ルヲ本出品人ノ如キ爰ニ大ニ留意スル所アリテ造林上ノ設備著々其歩ヲ進メ遂ニ自カラ苗木ノ育成ニ至ルマテ之ヲ行フカ如キハ洵ニ斯業上ノ好模範タルニ足レリ希クハ益々其適良ナルモノヲ育成シテ以テ斯業上ニ於ケルモ亦見ルヘキ良績ヲ舉ケンコトヲ望ム而

シテ其他ノ出品ニ於テハ特ニ優賞ニ膺リシモノ由來北攝及ヒ泉州地方ニ於テハ苗木ヲ養成スルモノ少シトセス殊ニ鑛ハ所謂池田炭ノ原料トシテ且ツ薪材トシテ世ノ賞用ヲ博スル所ナルカ故其苗木ノ育成ノ如キモ又太ク必要ナルモノアルニモ拘ハラステ見ルヘキノ良品ヲ得サリシハ遺憾トナサ、ルヘカラサルナリ

大阪府大阪市南區鰻谷東ノ町住友吉左衛門出品扁柏杉苗木解説書抄録

產地土質及反別 本苗木ハ愛媛縣新居郡角野村所有苗圃ニ於テ養生シタルモノナリ該苗圃ハ土質粘質壤土ニシテ多少石礫ヲ交ヘ肥瘠中庸地勢ハ南面山ヲ負ヒ北方ニ開放シ三段ノ平地ヲ爲ス日射充分ニシテ霜害少ク表土深カラサルモ苗木ノ生育ニ適ス只夕旱天打續ニ於テハ地表固結スルノ虞アリト雖トモ先年土砂ノ混入ヲ計リ稍々此害ヲ除去スルヲ得タリ面積二町六反四畝歩

播種及床替 四年苗木ハ明治三十三年三年生苗木ハ三十四年二年生苗木ハ三十五年何レモ春季ニ於テ播種シタルモノニシテ播種次年ヨリ毎年同季ニ於テ床替ヲ爲セリ執業ハ三月初旬ヨリ四月中旬マテトシ務テ早春事業ニ從事ス施事ノ方法ハ一般ニ行ハル、モノト撰フナキモ苗木養成ノ爲メ踐行シタル重ナル事項ヲ列記セハ左ノ如シ

一種子ハ專ラ當地ニ於ケル天然林又ハ人造林ヨリ適當ノ母樹ヲ撰ミ採取シ播種施業ヲ爲ス者ナルモ結實ノ良否多少ニヨリ不得已購入種子ヲ用フルコトアリ而シテ苗木中扁柏二年生ハ當愛媛縣宇摩郡別子山村小字七番山ニ於テ採集シ他ノ杉ハ吉野扁柏ハ木曾ノ種

子ヲ購入シ播種培養ヲ加ヘタルモノナリ

一 種子ハ播種前二晝夜乃至三晝夜水浸ヲ行ヒ浮實ヲ拋棄シ一坪當リ二合乃至一合五勺ノ割合ヲ以テ播種ス

一 播種并ニ床替ヲ爲スヘキ地床ハ幅三尺トシ一尺ノ畦畔ヲ附スルコト、爲スモ種苗ノ占面積ヲ務メテ廣カラシメン爲メ事業ニ差支ヲ來サ、ル限リ畦畔六七寸幅三尺三四寸ニ作ル

一 播種地并ニ床替地ハ施業ノ許ス限リ冬季ニ於テ數回耕耘鋤ヲ加ヘ豫メシクジ其他ノ蝨蟲驅除ヲ爲ス

一 二年生苗木ノ床替ハ掘取苗木ヲ五級ニ撰別シ一級乃至四級ノ苗木ハ凡テ一本ツ、三尺畦二十本并トシ一坪四百本ノ割ヲ以テ植付五級苗木ニ限リ二本植トシ倍數ヲ入ル三年生苗木ハ三級ニ撰別シ三尺畦七本并トシ一坪百九十六本四年生苗木ハ二級ニ撰別シ三尺畦六本并トシ一坪百四十四本五年生以上ノ苗木ハ三尺畦五本并トシ一坪百本ノ割合ヲ以テ床替植付ヲ爲ス

一 撰別シタル苗木ハ適宜ノ把ニ束子根先キヲ切り水ヲ以テ根部ヲ潤シ猶床替ノ際再ヒ根部ヲ水ニ浸シ細土ヲ塗附スルモノトス但シ苗木ノ撰別并ニ根部ノ剪除等凡テ苗木ノ取扱ハ根部ノ乾燥ヲ防ク爲メ小屋又ハ日陰ノ場所ニ於テ施行ス

一 床替方法ハ尾州丹羽郡ニ於テ行ハル、モノト同シク初メ備中鋤ヲ用ヒ地床二三尺ノ距

離ヲ掘越シ土壤ヲ膨軟ナラシメ之ヲ均シ然ル後五指ヲ揃テ植エントスル局部ヲ掘リ苗木ヲ挿植ス如斯シテ苗木一本毎ニ且ツ掘リ且ツ植エ其膨軟部分ヲ植終レハ再ヒ鋤ヲ用ヒ二三尺ヲ掘起シ本施業ヲ進行ス而シテ其指頭ヲ以テ掘ルヘキ穴ノ大小及深淺ハ元ヨリ植栽スヘキ苗木ノ大小如何ニヨリ差違アリト雖トモ要スルニ苗木ノ細根ヲシテ掘穴中ニ伸張セシメ決シテ地中ニ彎曲セシメサルヲ限度トス

一 床替苗木ノ植付功程ハ一人一日二年生苗木ニ於テ男平均四千五百本、女二千五百本ナリト雖トモ熟練ナルモノニ至リテハ男七千本、女五千本ヲ植エ三四年苗木ニ至リテハ苗木ノ大小如何ニヨリテ功程ニ著シク差異アリト雖トモ大畧男二千五百本乃至三千五百本ニシテ女ハ半減ス

一 床替植付ヲ終レハ直ニ苗木ノ列間へ藁一坪當リ八百目乃至一貫目ヲ敷込ム此ハ旱害ノ豫防ヲ兼子雜草ノ發育ヲ防害シ除草ヲ容易ナラシムルノミナラス盛夏ヲ過クルニ於テハ全ク腐朽シ肥料トナルノ便アルヲ以テナリ

一 床替并ニ播種ヲ爲スヘキ土地ハ可成施業ノ許ス限リ順次一箇年宛間作ヲ行ヒ地力ヲ恢復セシム

### 培養及保護

一 肥料ハ四五月并ニ六七月ノ頃ニ於テ種粕ヲ施用ス施肥料ハ土地ノ肥瘠苗木ノ大小ニヨリ差異アリト雖トモ大畧一反歩十五貫目乃至二十貫目トス尤モ前記記載ノ敷藁ヲ用フル

モノハ床作ノ際十貫目乃至十五貫目内外ヲ一時ニ鋤込ムニアリ然レトモ播種地ニハ右用量ノ二倍又ハ三倍ヲ用ヒ一半ハ地床へ鋤込ミ一半ハ水肥トシ六七月ノ間二回ニ分チテ施肥ヲナス

一培養上注意スヘキハ播種初年ニアリ該年度ニ於ケル培養ノ周到ナルニ於テハ二年目以後ノ發育良好ニシテ隨テ生育苗木ニ大小不同ヲ生スルコト少ク二回ノ床替ヲ以テ能ク大部分ヲ山出シ得ルモ初年ノ培養ヲ怠ルニ於テハ生育苗木ニ著ルシク不同ヲ生シ劣等苗木ヲ出スコト多キノミナラス遂ニ抛棄スルノ止ヲ得サルニ至ルコトアリ

一除草ハ床替後五回播種地ハ六七回施行ス

一播種地ハ發芽後直チニ日覆ヲ爲ス日覆材料ハ樺ノ枝又ハ萱簀ヲ用ヒ盛夏ヲ過レハ直ニ除去シ晚秋霜覆ヲ爲ス苗木ハ二年生ニ限り單ニ霜覆ヲ施スヲ以テ普通トスルモ本出品苗木養成ニ係ル角野苗圃ニ於テハ播種地ノ日覆ヲ行フノ外別ニ霜覆其他ノ豫防ヲ爲スコト無シ

養途并ニ養成高

養成苗木ハ凡テ所有ノ山林并ニ銅山備林ノ造林ニ使用スルモノニシテ角野苗圃一箇年ノ培養苗木數約二百萬本内外トス然ルニ造林上一箇年間ニ要スル山植苗木數ハ新植補植ヲ合シ凡ソ二百五十萬本ニシテ是レカ供給ヲ計ランカ爲メ目下猶ホ他ニ苗圃面積十一町九反歩ヲ有シ扁柏杉七八百萬本ノ培養ヲ爲セリ

經費

播種初年ヨリ山植ニ使用スル迄ノ所要經費ハ平均一萬本ニ付杉苗貳拾八圓九拾錢扁柏苗參拾壹圓貳拾錢許ナリ

審査要求主眼

我造林事業上ニ要スル苗木ハ溫帶林ノ中位三千五百尺内外ノ高山ニ植栽スル者ノ如キヲ以テ枝樞ノ擴張并ニ鬚根ノ房生ヲ期セサルヘカラス故ニ前文記載セル方法ニヨリ務メテ撰種、播種、床替其他ノ方法ヲ研究シ幹根ノ發育ヲ全カラシメタルニアリ而シテ特ニ注意ヲ加ヘタルハ苗木床替ノ方法ニシテ地方ニヨリ穗先五六寸幅一寸内外ノ手鋸ヲ使用スル所アルモ當地方ニ於テハ該器使用上不便ノ點少カラス即チ手植方ニ比スレハ床替ノ際根部ノ發育ヲ妨害スヘキ障害物即チ根株土塊石礫等ヲ充分除去シ得サルコト及器具ヲ使用スルモノナルニヨリ動モスレハ充分鋤鋤ヲ加ヘスシテ植付ヲ爲スコト手鋸ヲ使用スル時ハ自然掘穴狹隘ニシテ樹根ノ展開ヲ防クル等ノ失アリ是レカ爲メ苗木山出ノ時期ニ至リ舊根ノ固結セルモノシ字狀ニ屈曲セルモノ等ヲ出スコト多シ手植法ト雖トモ根先キノ剪除穴ノ廣狹ニ注意セサレハ殆ント同様ノ結果ヲ生スヘキモ鋤植法ニ比スレハ成因最モ少ク注意ヲ加フルニ於テハ全ク此害ヲ除去スルヲ得ヘシ故ニ當所ニ於テハ専ラ手植法ニヨリ連年施業ヲ繼續ス

秋田縣 同縣ハ所謂秋田杉ノ產地トシテ其面積頗ル廣大ナルモノアルニモ拘ラス其多クハ

總テ天然林ニ屬スルカ故ニ種苗等ニ就テハ從來甚タ見ルヘキモノナキ所ナリシカ今回杉苗木ノ出品ニ於テ見ルニ必スシモ其資質ノ好良ナテサルニアラス若シ將來益々其育成ノ適法ヲ講究シ大ニ爰ニ精勵スルニ至レハ管ニ其良林保績上ニ向テ一大進況ヲ加フヘキモノ、ミナラス名産地ノ苗木トシテ他地方ノ造林上ニ向テモ亦能ク貢獻スル所アルニ至ルヲ得ヘシ種子ニ於ケルモ亦然リ從來殆ント之レカ採取ヲナサ、リシ所ニシテ現ニ今回出品ノ苗木中ニ於テ其種子ヲ遠ク吉野ニ仰キタルモノアルカ如キハ奇異ノ感ナキ能ハサル所ナリ蓋シ種子採收ノコトニ經驗少ナキヲ以テ便宜上他地方ニ之ヲ仰キタルモノナランカ是レ創始ノ事業トシテ止ヲ得サルコトニ屬スト雖モ將來ニ於テハ其採取及取扱上ニ就テ講究ヲ怠ラスンハ終ニ他ニ之レヲ仰クニ至ラサルヲ得可シ當業者ノ宜シク奮勵スル所アラン事ヲ要ス同地ハ降雪寒氣共ニ甚タシク育苗上ニ就テモ大ニ其趣ヲ異ニセサルヘカラサル點アルカ故左ニ參照トシテ解説書ノ一部ヲ轉載スヘシ

因ニ記ス降雪地方ノ苗木トシテ見ルヘキモノハ秋田縣出品其最タルモノニシテ之レニ亞テ青森縣出品亦可ナラサルニアラス福井縣ノ如キハ其出品點數少カラサリシト雖モ佳良ナルモノアラサリシハ惜ムヘシ大ニ向來ノ留意ヲ要スヘシ

秋田縣平鹿郡館合村土田彦七出品杉苗木解説書抄録

產地及土質 秋田縣平鹿郡大森町字蛭川土質礫土反別三町步  
 種植及採收 種子ハ吉野産奈良縣吉野郡川上村上平豐吉氏精撰ノ種子ヲ用ヒタリ播種前

先ツ一升入ノ木綿袋ニ入レ白水中ニ一晝夜浸シタル後藁灰ノ上ニ揚ケテ水氣ヲ脱除シ四月二十三日播種シタリ五月十八日發芽翌年三月假移植ヲ行ヒ播種後三箇年間移植ヲ繼續シ四年目ニ至リ本地ニ移植スルモノトス播種量ハ一坪ニ付二合而シテ播種量一升ヨリ四年目ニ於テ苗木總數約一萬二千本ヲ得ルモノトス

培養保護 播種後直ニ粉碎シタル土壤厚サ二分位ニ覆土シ杉枝ヲ以テ覆物トナス是種子ノ散逸及地面ノ乾燥ヲ防止スルノミナラス過度ノ炎暑ヲ避ケシメ其他雜草ノ發生等ヲ豫防スルノ效アルノミナラス幾分ノ肥料質ヲ有スルモノナリ發芽後四五日ヲ經テ三葉ヲ開キ長サ五六分ニ至ル時前述ノ覆ヲ取拂ヒ雜草ヲ除キ苗床ノ周圍ニ高サ二尺位ノ杭ヲ立テ是ニ桁ヲ架シ桁ノ上ニ前ニ除キタル覆ヲ架ス苗木約一寸二分位伸長シタル時雜草ヲ除キ去リ人糞ニ水十倍ヲ和シタル肥料一坪ニ付一荷宛施用シ(充分ニ肥料ヲ施スニハ入梅中多雨ノ時ヲ撰フ者トス)而シテ除草ハ秋土用迄四回施肥ハ三回トス覆物ハ翌年三月取り去ルモノトス杉苗木移植スルニハ豫シメ畑ヲ充分ニ整地シ幅五尺長三間ノ畝ヲ作り各畝間幅一尺ノ通路ヲ開キ繩張ヲナシ鍬ニテ橫條ヲ附シ大苗ノ優レタルモノ一條ニ付凡十六本宛(距離凡ソ三寸直立ニ并列シ土壤ヲ苗木ノ根ニ寄セ掛ケ足ニテ充分踏ミ押へ漸次同法ニ依テ栽植ス斯クシテ一畝歩ニ付キ一萬二千本ヲ植付クルコトヲ得三年目ニハ幅五尺長三間ノ畝ヲ作り繩張ヲナシテ橫條ヲ著ケ一條ニ付十本ツ、植付(距離凡五寸)除草及施肥ハ前年ト同一ナリ移植了リタルトキ苗木ノ全面ニ糠ヲ撒希シ雜草ノ發生ヲ豫防ス肥料ハ移植後

二十五日乃至三十日ニシテ凡ソ苗木ノ根付キタル頃雜草ヲ除キ去リテ後施用ス而シテ其肥料ト人糞ニ水十倍ヲ混シタルモノニシテ三坪ニ付一荷宛(量目十六貫目)梅雨中二回秋ノ土用ニ至ル間五回施用スルモノトス

秋田縣羽後國北秋田郡花岡村鳥潟平治出品杉種子解説書抄録

產地 秋田縣羽後國北秋田郡長木村字長木澤官林

採收 明治三十五年十月上旬ヨリ同月下旬ニ至ル間ニ於テ樹齡八十年乃至百年ノ成長完全ナル母樹ノ中間ヨリ發セシ枝ヨリ成熟シタル球實ヲ撰ミ採リ先ツ筵ニ取り擴ケ日光ニ曝シ實唇ノ開クヲ俟チテ殼ト種子トヲ篩ヒ分チ更ニ箕ニテ仕上ルナリ而シテ球實一升ヨリ精撰種子八勺内外ヲ得

效用 明治二十五年以來奈良縣吉野産種子ヲ當地方ニ試播セシニ成育上寒氣ノ爲ニ樹頭ノ枯死スルコト多キモ地方産種子ハ斯ル憂ナキヲ以テ現今ニ至リテハ一般ノ需要ニ供セラル、ノミナラス遠ク各府縣ニ於テモ吉野産ヨリ却テ聲價ヲ博スルニ至レリ

産出額

年度	明治三十五年度	明治三十四年度	明治三十三年度	明治三十二年度	明治三十一年度	明治三十年度
産出額	五十三石五斗	三十七石	四十五石三斗	三十九石	三十二石	二十九石五斗

販路 東北諸縣及北海道ヲ最トシ其他各地ニ販賣ス

沿革 我家慶長年中ヨリ世々肝煎役ヲ勤メ傍ラ開墾山林等ノ殖産事業ニ從事シ來リ正徳年中中祖市郎右衛門ノ代ニ至テハ專ラ苗木取立ニ意ヲ用ヒタリ當時居村共有地字松流ハ荆棗枝ヲ交ヘ荒蕪ノ地ナリシカ市郎右衛門松樹植付ノ事ヲ村民ニ説キ自ら取立テシ松苗木數十萬本ヲ植栽セリコハ天明及明治ニ至リ夥シク伐採セシモ今尙十餘萬本ノ亭々タル松樹ヲ存セリ寶曆中祖父半左衛門ノ代ニ至リ又其父ノ遺業ヲ繼キ地方在來ノ山林ハ年ヲ追テ伐採シ遂ニ兀山ナラントスルヲ見テ大ニ痛嘆セラレ補植并ニ植付方ノ獎勵ヲ得策トシテ苗木取立ノ急ヲ官ニ建言シ採用セラレテ自園ニ杉苗ヲ取立テ逐年獻納又ハ各村ニ分配セシコト二百萬本ノ多キニ及ヘリ其共有地字小鴉ヶ澤字八幡下ノ如キハ元ト秣山ナリシカ半左衛門自園ノ粟苗木數十萬本ヲ寄附シテ栽植シ後年川堰等ノ普請用トシテ村民其利ヲ蒙ルニ至レリサレハ明和八年正月永久苗木帶刀御免ノ恩典ニ浴セルヲ以テ益々官ノ命ヲ奉シ寛政年中ニ至ルマテ杉苗ノ植栽ニ從事シ文化十二年九月苗木取立獎勵トシテ御合力調錢三貫文ツ、年々下賜セラレ同年半左衛門農家ノ副業ハ養蠶ニ如クナシト率先自ら養蠶ニ從事シ且ツ杉松苗木ノ外桑苗木ヲモ併セテ取立村内ニ植エシメ又郡方役所へ獻納スルコト二萬本ニ及ヘリ同十三年郡方役所ヨリ桑楮苗木取立方ヲ命セラレ合力トシテ年々銀三十匁下賜セラル於是銳意育苗ニ從事セシカハ屢々褒賞ヲ賜ハリ同十四年郡方役所ノ命ニ依リ桑苗木ヲ各村ニ配分且ツ巡回シテ植付法ヲ傳授ス文政三年諸苗木取立合力トシテ年々調錢百貫文ツ、下サル同六年寛政ノ始ヨリ文政ニ至ルマテ三十餘年間家資ヲ投

シ探種育苗ニ從事シ居村各村及官ニ獻納分配セシ種苗數百萬ニ及ヒ國益ヲ圖レル廉ヲ賞セラレ生涯一人扶持下賜セラレ天保四年祖父與三郎又父ノ遺業ヲ繼キ苗木取立ニ從事セシノミナラス祖市郎右衛門以來ノ御直山御山守ヲ勤メシカ銳意業務ヲ擴張シ各村及自分持林等ニ植栽セシメ弘化年中ニ至ルマテ其苗木ノ取立シモノ數百萬ノ多キニ至レリ嘉永元年六月與三郎官許ヲ得同年秋ヨリ同三年マテ漆苗木取立ヲ居村山林及官ニ獻納分配セシモノ數萬本ニ及ヒシカハ官又精々努力スヘキ旨褒詞下サル嘉永四年ヨリ安政四年ニ至ルマテ七年間父市郎右衛門ハ其父與三郎ノ遺業ヲ繼キ御山守役ヲ奉シ栽培保護等ニ力ヲ盡シ諸苗木取立ニ從事シ毎年數十萬本ツ、各村ニ分配セリ之ヲ以テ安政五年十月北比内組合各村肝煎連名シテ父市郎右衛門ノ功績ヲ官ニ上申セシカハ褒詞下サル安政ノ末ヨリ明治十九年マテ父市郎右衛門苗木取立ヲ專業トシ年々苗圃ヲ擴張シ販賣其他公私ニ對シ寄附セシモノ數百萬ノ多キニ至レリ明治十九年秋田縣山林繭絲共進會アルニ際シ父市郎右衛門山林部養蠶部ニ出品セシニ山林部ニ對シテハ改良有效四等賞ヲ得タリ明治二十年父市郎右衛門世ヲ去リ自分代ニ至リテハ遠祖傳來ノ遺業ヲ繼キ益々業務ノ擴張ヲ期シテ苗木ヲ取立テ居村ヲシテ殖産事業ノ忽ニス可ラサルヲ村民ニ説ケリ現時山林補植學校ノ創業等ニ意ヲ注キ其居村及各村立學校ニ寄附セシモノ數萬本ニ及ヒ又苗木ノ販賣セシモノ擧ケテ數フヘカラス明治二十三年ヨリ更ニ山本郡常盤村ニ支圃ヲ設ケ杉、檜、栗、漆、落葉松其他ノ苗木ヲ栽培シ年々各郡ニ供給シツ、アリ現今ハ苗圃トシテ二十餘町歩ヲ有シ本縣

及青森各地ニ供給スル杉苗ハ凡三百萬本種子又五十餘石ニ及ヘリ  
 褒賞 明治二十三年十月秋田縣農商課へ杉種寄附ノ廉ヲ以テ縣知事ヨリ褒狀賜ル  
 滋賀縣 同縣ハ現今到ル處ニ緒山秃峰多ク河床ハ益々隆堆シテ鐵道其底下ヲ通過スルノ奇觀ヲ呈スト雖モ古代ニ在テハ良材茂生シ比叡山建立ノ際ノ如キハ江州野州川附近ヨリ杉檜ノ大材ヲ伐採シ來リテ之ニ供セシト云ヘリ故ニ其必スシモ樹林ニ適セサルニアラサルヲ知ル可シ而シテ近來同地方ニ於ケル造林業大ニ勃興シ今回杉檜ノ種子苗木出品數甚タ多シト雖モ種子ニ於テハ其大小均一ノ度不良ニシテ發芽力亦完全ナラス光澤其他種々ノ點ニ於テ缺點少カラサルハ太々遺憾ニシテ苗木ニ於テモ枝葉根幹ノ發達十分ナラス山植苗木トシテ幾多ノ不完全ナル點アルハ惜ムヘシトス唯僅ニ一點三等賞ノ榮譽ヲ擔ヘシモノアリト雖モ同地方一般ニ在テハ斯業上大ニ將來ノ改善ニ待タサルヘカラサルモノ多シトス其他同縣出品中山檜ノ種子苗木ハ其ニ甚タ好良ニシテ該樹ハ砂防植樹用トシテハ最モ有用ナルモノニ屬シ其需要亦太々少カラサルモノアリ凡ソ山嶽崩落シテ赤裸々タルノ地ハ之ヲ防遏シテ復舊スルハ極メテ難事ナリトス故ニ能ク之ニ著生シ又能ク繁茂シ而カモ其根ノ蟠延シテ土地ノ崩落ヲ遏止スルニ適スル樹種ヲ撰テ之ニ植栽スルヲ要トス山檜ハ最モ能ク是等ノ諸條件ニ適スルモノニシテ砂防工用トシテハ幾ント其右ニ出ツルモノナシトセラレ、所ナリ然ルニ其育苗法亦甚タ難事ニシテ動モスレハ其良苗ヲ得ルニ苦ムコト多シ然ルニ同縣ハ多年砂防工ニ就テ幾多ノ辛酸ヲ嘗メ來リタルカ故ニ甲賀郡菩提寺村ノミニ於テモ該樹苗育成ニ從

事スルモノ百六十餘戸ノ多キニ達セリト云ヘリ而シテ遂ニ今回ノ如キ良苗ヲ産スルニ至リタルハ斯業上甚タ多トスヘキ好績ニシテ特ニ世ノ注視ヲ要セサルヘカラサル所ナリトス左ニ一ノ解説書ヲ抄録シテ参照トス

滋賀縣甲賀郡油日村片浦初太郎出品杉及檜苗解説書抄録

産地土地及反別 滋賀縣甲賀郡油日村大字五反田字ヨノ土質稍々瘠セ燥濕相半ハセリ地質ハ砂質壤土又ハ礫土栽培反別杉三町五反歩檜三町歩

種子採集 播種及培養

種子採集 母樹年齢六七十年生 採集場所本村及近郷

採集期 每年秋土用 播種毎年四月上旬

播種地ハ概子平坦ノ畑地ニシテ一區ヲ各一町歩ニ劃セリ而シテ之レカ整地ヲ行フニ當リ先ツ其目的地ヲ前年ノ秋期ニ深ク耕シ置キ翌春三月頃ニ至リ一度地均シヲナス此際水肥(尿水或ハ油粕米糠等ヲ十數日間水溜ニ貯蓄シテ溶解腐敗セシメタルモノ)ヲ施シ置キ而シテ愈播種期ニ至レハ更ニ整地ヲ行フ其方法ハ先ツ幅三尺毎ニ一尺五寸幅ノ畦ヲ作ル此三尺幅ノ場所ヲ苗床トシ一尺五寸幅ヲ歩道トス而シテ此歩道ニ充ツル處ノ土ヲ少シク苗床ノ場處ヘ搔上ケ苗床ハ即チ歩道ヨリモ一段高クス此床地ハ少シク楕圓形ノ勾配ニテ攪均シ(此際油粕ノ粉末ヲ一坪ニ付二合ノ割ヲ以テ混和ス)鐵ノ裏ニテ輕ク敲キ付ケ地面ニ凹凸ナキ様ニナシ更ニ水肥ノ稀薄ナルモノヲ撒布シタル後播種ヲ行フ種子量ハ苗床一坪ニ二

合ノ割合ヲ以テ播付而シテ其上ニ目砂(方言キリスト稱シ極メテ微細ノ砂土)ヲ薄ク覆フ又其上ニ藁ヲ薄ク并へ此藁ノ散亂セサル様一畦ノ床ニ三筋ノ繩ノ處々ヲ竹串ヲ以テ押へ置キ而シテ發芽充分ナルノ期ヲ度トシ其芽ノ損傷セサル様藁ヲ取除キ(發芽ノ生長ヲ妨ケスト認ムル場合ニハ藁藁ハ其儘ニ爲シ置クコト)更ニ日覆ヲ施ス其高サ地上一尺五寸棚ニハ細竹ヲ用ヒ覆用ニハ葎簀ヲ用フルコトアルモ重ニ檜葉ヲ小枝ノ儘其棚ノ上ニ并へ其上ニ更ニ細竹ヲ置キ覆檜葉ノ散亂セサル様處々棚臺ニ結ヒ付ク如此ニシテ時々雜草ヲ除去シ若シ早天打續クトキハ水肥ヲ施スコトアルモ常ニ肥料トシテ施サス九月中旬ニ至リ日覆ヲ取除ケ冬期ニ至レハ更ニ霜除ケヲ施ス而シテ翌春三月下旬ヨリ四月上旬間ニ於テ移植ヲ行フ之レヲ一年生ト云フ

一年生ヲ移植スルニハ先ツ掘起シ苗木ヲ可成日光ニ曝サ、ル様注意シ直ニ苗小屋ニ運ヒ而シテ之ヲ該屋中ニ於テ三段ニ撰別シ一、二段ヲ一本植トシ三段即チ下等ヲ二三本植トス其植方距離ハ五寸ニ六寸位トシ除草ハ植付ヨリ秋期ニ至ルマテ四五度ヲ行フ肥料ハ油粕米糠鷄糞等ヲ混淆シ一反歩ニ付平均價格貳圓乃至參圓ノ割ヲ以テ水肥又ハ振肥トシテ之レヲ施ス但苗木生長ノ良否ニヨリ施肥分量ハ多少酌酌スルモノトス翌春ニ至リ之レヲ二年生トス

此二年生ハ春三月中旬ヨリ四月上旬間ニ於テ移植ス(整地及苗木撰別等ハ畧ホ一年生ニ同シ)苗木ノ大小ニ依テ多少酌酌シ其植付距離ハ八寸ニ一尺トス此移植ノ際ハ根元四五寸ヲ

限り悉ク切根法ヲ行フ除草施肥及其分量等凡ソ二年生ニ同シ翌春之レヲ三年生ト稱シ即チ山植苗トナス其長一尺五寸乃至二尺ヲ度トス猶扁柏ニ在リテハ此三年生ノ最モ優等ナルモノノミ撰抜シテ山植ニ供スレトモ其ハ全數ノ二割位ニ過キス其他ハ猶一回床替ヲ行ヒ三年生移植時期及方法并ニ除草等總テ二年生ニ同シクシ其植付ノ距離ハ八寸ニ一尺ヲ度トス而シテ翌年三月中旬ヨリ掘り取りニ著手シ劣等ノモノヲ除キテ他ハ悉ク山入トス其長サ一尺五寸以上トス

明治三十三年

明治三十四年

明治三十五年

杉苗木

二十萬本

二十六萬本

三十萬本

扁柏苗木

二十萬本

二十萬本

二十五萬本

褒賞 明治三十三年滋賀縣物産共進會ニ出品シニ等賞狀及賞品ヲ受ク其事由ハ苗質強剛ニシテ生長適度トス

審査請求ノ主眼 當地ハ四面皆山林ヲ以テ圍繞セララル、ヲ以テ隨テ苗木ノ需要多キニ拘ハラズ明治二十年前ニ在テハ苗木ノ培養ニ從事スルモノナク當時樹苗植栽希望者ハ苗木ノ購入ニ大ニ困難ヲ感シ偶々苗木ヲ求ムルアルモ其不完全ニシテ之レヲ山林ニ植栽スルモ往々失敗ニ了リシコトアリ余ハ此時ニ於テ將來山林業ノ大ニ發達ヲ促ス可キ必要ヲ感スルト同時ニ良好ナル苗木ヲ養育シテ殖林家ノ需要ニ供スルハ最モ焦眉ノ急ナルヲ考ヘ

即チ明治二十年始メテ斯業ニ著手セリ當時未タ經驗ニ乏シク事業モ極メテ微々タリシカ爾來熱心ニ培養方法ヲ研究シ漸ク良好ノ苗木ヲ多額ニ産出シテ倍々殖林家ノ信用ヲ博スルニ至レリ而シテ年々自作苗ノ賣捌高ハ杉扁柏桐松等合セテ一百萬本ヲ出セリ依テ苗質ノ良好ハ從來他地方ヨリ輸入スルモノヲ防キ當地方適當ノ苗木ヲ産出シテ殖林家ニ満足ヲ與ヘ又斯業ニ從事シテ以テ以來近村郡縣ノ模範トナリテ續々同業者ヲ出タスニ至タレリ

滋賀縣甲賀郡岸根村長柴田德治郎出品山楡種子解説書抄録

産地土質及反別 産地滋賀縣甲賀郡岩根村 土質砂質壤土  
採收地 三十八町二反歩

種子採集及貯藏 播種ノ前年十月二十日頃球實ノミヲ採收シ以又ハ俵ニ入レ屋内空氣ノ流通良キ所ニ釣リ下ケ置ケハ十二月中旬迄ニ鱗片自ラ開キテ種子出ツ而シテ之ヲ貯藏スルニハ塵芥ヲ篩ヒ除キタル上袋或ハ桶ニ入レ濕氣ナキ處ニ置クヲ可トス種子量ハ球實一升ニ付一合三勺位ヲ得ルヲ普通トシ種子一升ノ重量ハ八十匁位ナリ  
苗圃位置及整地 苗圃ハ日當及風通シ宜シキ田地ニシテ排水ノ便アル處ヲ撰ミ四月上旬耕土ヲ鋤起シ幅二尺五寸乃至三尺長適宜ノ床ヲ作り床ト床トノ間ニ幅一尺位ノ溝ヲ掘リ其土ハ左右ノ病木其周圍健全木ニ灌注セハ救済スルコトヲ得ヘシ  
掘取及荷造運搬 掘取ハ山地植栽ノ緩急ヲ謀リ之ヲ行ヒ專ラ需要者ノ意ニ任ス故ニ其時



期ハ一定セサレトモ從來ノ實驗ニ徴スレハ十二月ヨリ二月迄ヲ以テ好季節トス掘取方ハ  
 鍬ヲ用ヒ地中深く打チ込ミ手ニテ苗ヲ拔キ土ヲ振ヒ苗ヲ一尺以上八寸以上五寸以上ノ三  
 段ニ區別シ百本宛結束シ直ニ根部ニ水苔ヲ當テ菰包トス荷造仕上ノ一萬本ニ對スル重量  
 ハ一尺以上凡二百斤八寸以上凡百二十五斤五寸以上九十斤ナリ運搬ハ本村ヨリ各地方ニ  
 輸出スルモノハ關西鐵道石部迄二十四町車ニ載モ夫レヨリ汽車ノ便ヲ借ル  
 山地植栽 現今行ハル、砂防工ニ於テハ山楨、黒松ノ二種ヲ混植セラル、所多ク其株間ノ  
 距離一尺五寸ニシテ連束藁ノ埋メアル所或ハ張芝ヨリハ僅カニ四寸ヲ距ツルノミナリ而  
 シテ同工事中積苗工、柵止、連束藁工、積石工ハ階段ト階段トノ斜面距離九尺乃至一丈傾斜ノ  
 緩急ニヨリ一定セスナルヲ以テ距離遠キニ失スルノ嫌アリ故ニ若シ土地ヲ緊結セシメ速  
 ニ成林ノ目的ヲ達セシメントセハ階段ト階段トノ間更ニ下ニ記スル方法ヲ以テ山楨ヲ過  
 度ノ距離ニ植栽スルヲ良トス若シ又傾斜緩ニシテ此等ノ砂防工ヲ施ス必要ナキ處ニアリ  
 テハ株間距離四五尺位ノ三角植栽ヲ行ハ、三四年ニシテ枝葉梢交叉シ地上ヲ閉鎖スルニ  
 至ルヘシ山楨ハ落葉ノ際植栽スレハ枯死少ナキモ其根極メテ細キ爲メ一度乾燥セシメタ  
 ルトキハ根付惡シ故ニ山上ニ運搬セハ直ニ土中ニ埋メ置キ苗配人夫ヲシテ根ヲ水ニ浸シ  
 之ヲ灰床ニ揚ケ以テ其床ヲ溝底ヨリ五寸位ノ高トシ練粕或ハ白子若クハ油粕ノ細末ニシ  
 タルモノヲ床上ニ撒キ能ク土ニ混和シ地均ノ上鍬裏ニテ壓シ付ケ置クヘシ  
 播種及日覆 播種ノ量ハ一坪ニ付一合ヲ適度トス其方法ハ平播ニシ粉糠ヲ種子ノ漸ク隠

ル、位振り掛ケ其上ニ藁ヲ一本列ヘニナシ置クトキハ二十五日乃至三十日ヲ過キ發芽ス  
 而シテ今回發芽セハ藁ヲ取除キ霞簀若シクハ竹簀ヲ以テ日覆ヲ爲スヘシ日覆ハ幅三尺位  
 長適宜ニ製シタルモノニシテ其高サハ始メ五寸位ナレトモ苗木ノ成長スルニ隨ヒ高クシ  
 秋彼岸頃ニ至レハ取拂フ

除草及施肥 除草ハ苗木ノ發生ヨリ秋季迄ニ七回以上行ハサルヘカラス施肥ハ整地ノ際  
 施ス所ノ元肥充分ナレハ夏季ニ至リ其必要アルヲ見サルモ若苗木ノ成育惡シキトキハ五  
 倍以上水ニ溶解シタル尿若クハ風呂水ヲ補助肥トシテ注クヲ良トス

保護 苗圃ハ苗木成長期間内ハ常ニ適潤ナルヲ要スル故連雨ノ際ハ排水ニ注意シ旱魃ノ  
 際ハ適度ノ灌水ヲ行ヒ雨水ヲ停滯セシメサルヲ可トス而シテ本苗木ハ夏季ハ蟲害早秋ハ  
 菌害ニ罹リ易シ害蟲ハ根切蟲最多クシテ蠅蚘ハ之ニ次ク根切蟲ハ煤ヲ撒布シタル後水ヲ  
 灌注セハ害ヲ減スヘク又新ニ其害ヲ被リタル苗木ノ周圍二三寸ノ間ニ水ヲ注ケハ匍ヒ出  
 ツルニヨリ捕獲スルコトヲ得ヘシ菌害ハ硫酸銅五匁生石灰四匁ヲ二百五十匁ノ水ニ入レ  
 能ク攪拌シ如露ヲ以テ振り掛ケ菰ニ包ミテ配布セシメ灰ノ乾カサル内ニ植付クヘシ又山  
 楨ヲ植栽スヘキ地ハ概シテ土性粗ニ過キ雨水ノ沈降急ニシテ乾燥シ易ク且地中溫度ニ劇  
 變アル爲メ苗木ノ生育不良ニシテ植栽ノ年枯死スルモノ多キニ因リ地中ニ適當ナル水分  
 ヲ保存セシメ以テ過度ノ乾燥ト溫度ノ急變トヲ防カサルヘカラス而シテ其豫防ハ左ノ方  
 法ニ據リ苗木ヲ植栽セハ效ヲ奏スルモノトス

一 廣サ八九寸深サ五寸位ノ穴ヲ掘リ底ノ砂土ヲ細末トナシ其砂土ヲ以テ苗木ノ根部ヲ埋メ更ニ最初掘リ上ケタル砂土ヲ以テ根元上一寸ヲ埋メ根卷藁ヲ入ル根卷藁ハ苗木一本ニ付十七匁位ヲ用ヒ長サ二尺位ニ折り圓形トシ成ルヘク苗木ヨリ遠サケ入ルヘシ而シテ根卷藁ヲ入レタル後ハ最初掘上ケタル砂土ヲ以テ穴ヲ埋メ苗木ノ周圍ヲ踏ミ付ケ置クヘシ

此方法ニヨリ植付ケントセハ長サ八寸以上ノ苗木ヲ要ス

二 廣サ八九寸深サ三寸位ノ穴ヲ掘リ底ノ砂土ヲ細末ニシ之ニ藁灰若クハ木灰一合ヲ混和シ苗木ノ根部ヲ埋込ミ更ニ最初掘上ケタル砂土ヲ以テ穴ヲ埋メ苗木ノ周圍ヲ踏付ケ置クヘシ

前項ノ方法ニ依リ植栽シ了ラハ苗木ノ大ナルモノニ限り枝條ノ出ツヘキ部分六七箇所ヲ

殘シ其先キヲ切り棄ツルヲ良トス

效用 一成長早く乾燥地ニ堪ヘ之レヲ四五尺ノ距離ニ植栽スルトキハ速カニ發育シテ枝葉ヲ發生シ三四年ニシテ鬱閉ヲナシ加フルニ萌芽性強ク每株三四本ヨリ十數本ノ萌芽ヲ

ナシ能ク土地ヲ被覆シ土砂扞止ノ作用最モ大ナルカ故ニ一時此木ヲ以テ土砂ヲ扞止シ其間ニ松其他良樹種ヲ植フルニ適ス

二 苗木ハ土砂扞止木トシテ適當ナルノミナラス一木一草ヲ生セサル砂礫不毛ノ原野ニモ良好ノ生長ヲ遂クルニヨリ荒野利用上必用ナルハ勿論其土性ヲ改善スルノ效アリ

三 苗木ハ之ヲ植栽スレハ松ノ生長ヲ助ク即チ松ノ荒蕪地ニ發生シ成長緩漫十餘年ヲ過

キ其高サ一尺ニ滿タサルモノト雖トモ其傍ニ一本ノ山楡ヲ植栽スレハ二三年內ニ俄然成長量ヲ強大ニシ遂ニ適地ニ於ケル成長ト異ナルナキニ至ラシム

四 山楡ハ萌芽力強大ナルカ故ニ櫟林ト同シク植付後十年乃至十五年ヲ經テ第一回伐採ヲナシ其後ハ八年乃至十二年毎ニ伐採シ萌芽ヨリ次ノ森林ヲ造リ日用ノ薪炭ニ供スルコトヲ得ヘシ

産額

明治三十三年

明治三十四年

明治三十五年

山楡種子

四石 四斗 一升

十二石 二斗 餘

三石 餘

明治三十二年

明治三十三年

明治三十四年

山楡苗木

百十四萬六千四百十本

二百六十七萬四千四百十本

三百七十四萬五千二百九十本

長野縣 同縣出品ノ種子苗木中其數ノ最モ多キハ落葉松ニシテ該樹ノ造林ハ獨リ同縣ノミナラス各地ニ於テ近來盛ニ行ハル、ニ至リ隨テ其種苗ノ需要亦漸ク繁多ニ赴キ之カ採取養成ハ目下甚タ其急要ヲ告クル所ナリ而シテ同縣ニ於テハ既ニ其供給ヲ以テ業トスルモノ追々多キヲ加ヘ産額亦太々少カラストス故ニ該樹種苗ニ就テハ同縣ハ一種ノ特產地タルノ概アリ從テ其責務モ亦大ナルモノアリトス今回ノ出品ハ概シテ好良適質ノモノニシテ他ニ京都滋賀愛知千葉栃木福井等ノ各地方ヨリ該樹種苗ノ出品アリシト雖トモ長野縣下産出ノモノハ特ニ超越セル所アルヲ認ム殊ニ長野縣廳ノ出品ニ係ル縣設苗圃概況ノ如キ見ルヘキノ

點少カラス左ニ之ヲ抄録シ且ツ出品種苗木中優良ナリシモノ、解説書ヲ轉載シテ參照ニ資ス

長野縣設苗圃出品落葉松、扁柏、杉、苗木解説書抄録

土質及反別 各苗圃ニ於ケル地質土性及燥濕ノ狀況ハ左ノ如シ

苗圃名	地質	土性	燥濕
南佐久	第四紀沖積層	壤土	稍濕
北佐久	同	同	稍濕
諏訪	同	同	稍濕
上伊那	第三紀層	同	稍乾
下伊那	花岡岩	同	稍乾
西筑摩	第四紀沖積層	粘質壤土	稍乾
東筑摩	同	粘質壤土	稍乾
北安曇	第四紀沖積層	粘質壤土	稍乾
上水内	第四紀沖積層	粘質壤土	稍乾
同	同	粘質壤土	稍乾
下高井	安山岩	粘質壤土	稍乾

尙農商務省農事試驗場ニ於テ分析シタル成績ハ左表ノ如シ  
但現土壤ハ林業館ニ陳列シアリ

苗圃土壤定量分析成績表 風乾細微土百分中

苗圃名	水分	有機物	窒素	磷酸	加里	窒素吸收係數	磷酸吸收係數
南佐久	四、二二六	八、三三〇	一六七	一二四	一六二	一三三、七八	五八七、九五
北佐久	八、一九二	一三、六〇四	四〇二	一七四	九六	一〇六、九〇	一、三七五、五九
諏訪	一一、〇〇〇	一七、六七二	四九九	一二八	一六〇	一二六、七一	一、八七〇、二一
上伊那	一一、〇三四	一三、四二一	四四四	四三	二二五	一二二、七四	二、一六七、四二
下伊那	五、五四二	一一、九九一	三〇〇	一八〇	三三一	六八、五八	一、一二七、四九
西筑摩	一〇、八九八	九、八八二	三六二	三四七	一六九	一〇四、八二	一、八二五、三七
東筑摩	八、五七二	一一、四九九	二二三	一七九	三〇一	九七、一〇	一、六六一、三六
北安曇	二、四九四	五、四八二	一五一	六二	一五五	六六、四四	五三四、六一
上水内	六、一一四	一三、三五〇	二六四	一三九	二六九	一五〇、七八	八六九、二四
同	五、二四四	八、〇四〇	一五七	一〇五	一八九	一三二、〇一	五八八、八八
下高井	一〇、七〇八	一二、四六九	二二一	二三一	一六二	一三七、〇四	一、七八九、〇七

備考 前記磷酸及加里ハ比重一、一一五ノ鹽酸熱液ニ溶解シタルモノナリ又吸收係數ハ風乾細微土百瓦ノ吸收スヘキミリグラム量ヲ示シタルモノニシテ其窒素ハ十分一規定鹽化安母尼亞液磷酸ハ十分一規定磷酸曹達ヲ以テ檢定シタルモノナリ  
又各苗圃ノ反別ハ左ノ如シ

苗圃名	所在地	面積
南佐久苗圃	南佐久郡海瀨村字大聖寺	二町步
北佐久苗圃	北佐久郡御代田村字休ヶ原	八町步
諏訪苗圃	諏訪郡原村字中新田	四町步

第二部 種子及苗木

- 上伊那苗圃
- 下伊那苗圃
- 西筑摩苗圃
- 東筑摩苗圃
- 北安曇苗圃
- 上水内苗圃
- 下高井苗圃
- 上伊那郡南箕輪村字前宮原
- 下伊那郡上飯田村字正永寺原
- 西筑摩郡福島町字小丸山
- 東筑摩郡今井村字小野澤道
- 北安曇郡常盤村字伐林
- 上水内郡中郷村字東原
- 下高井郡瑞穂村字天池

- 五町步
- 六町步
- 三町步
- 七町步
- 四町步
- 八町步
- 三町步
- 五十町步

種植 播種法左ノ如シ

其一

樹種	季節	播節	一坪ノ數量	方種	方法	發芽	
						發	芽
杉	同	同	同	同	同	同	同
扁柏	同	同	同	同	同	同	同
落葉松	自四月三十一日	羽去一合五勺	三合	普通ノ方法ニヨル	同	同	播種後三週間乃至四週間

其二

樹種	方種	日法	取設	取除	除草	防寒	
						取設	取除
杉	同	同	同	同	同	同	同
扁柏	同	同	同	同	同	同	同
落葉松	高サ三尺ノ杭ノ上ニ 藎袋ヲ平面ニ架設ス	發芽後直ニ施行ス	八月十日乃至 八月二十日	發芽ヨリ十月中旬迄三 回乃至四回施行ス	十二月 中	三月下旬乃至 四月上旬	同

移植法ハ左ノ如シ

移植

樹種	季節	節	一坪ノ本數		除草
			一回移植	二回移植	
杉	四月下旬	同	二百四十本	百四十四本	同
扁柏	四月中旬	同	三百六十本	二百四十本	同
落葉松	四月上旬	同	二百四十本	百四十四本	五月ヨリ九月マテ三回乃至四回

培養及保護 肥料ノ種類ハ地味樹種及樹齡ニヨリ多少ノ差アリト雖モ概畧左ノ如シ

第二部 種子及苗木



撒布スルヲ以テ足レリトス反之杉苗殊ニ一年生ハ其害ヲ受クルコト極メテ多ク特ニ積雪少量ニシテ寒氣酷烈ノ地方ハ非常ノ大害ヲ蒙ルコトアリ依テ數年經驗ノ結果落葉松、扁柏ニ行フ防寒法施行ノ外尙ホ左ノ各項ヲ注意シタルニ如何ナル嚴霜酷寒ト雖トモ決シテ害ニ罹ルコトナキヲ得タリ

- 一 能ク酷寒ノ迫害ニ堪ヘ成長作用ノ休止時期ヲ經過セシメンカ爲エ苗木ノ體質ヲ剛強ニ養成スルコトヲ目的トスルコト
  - 二 氣温ノ激變ヲ苗木ニ感セシメサル爲メ苗圃面上勉メテ其平和ヲ保留スルヲ目的トシ  
防衛設備ヲ構造スルコト
  - 三 苗木ノ生長作用完ク休止スルヲ認メテ防衛設備ニ著手スルコト
  - 四 防衛設備ノ構造ハ蒸熱ヲ起サシメサルコトニ注意スルコト
  - 五 春季防衛設備ノ取除キハ苗木樹體ノ成長作用開始ノ時機ヲ誤ラサルヲ期スルコト
  - 六 防衛設備ヲ取除キタル後ノ霜害ヲ避クルコト
- 以上各項ノ要領ヲ實地ニ應用シタルコト左ノ如シ
- 一 杉苗ノ嫩芽灣形即チ象鼻様ニナリ生長作用完ク休止シタルトキハ  
寒風防禦ノ爲メ床ノ北側ニ建テアル日除ニ用ヒタル杭ノ横棒ニ古簀若クハ柴ノ類ヲ以テ垣ヲ構造ス
  - 二 地熱ノ發散ヲ防キ及日照ノ直射ヲ遮ル爲メ根笹ヲ床面苗木ノ間ニ插立ス根笹ハ葉幅

廣ク幹ハ細クシテ堅キモノヲ宜トス苗木ノ長ヲ假リニ五寸トスレハ根笹ノ幹ヲ約一尺五寸位ニ根元ヲ尖ラシテ切り放チ床地へ五寸前後插ミ込ムヲ適度トス  
根笹ノ幹短ク且ツ柔軟ニシテ雪ニ壓シ倒サル、虞アルトキハ粘質ノ彈力アル枝張アル枝朶ヲ床面上ニ配置シ而シテ根笹ヲ插スヲ安全トス  
其他枝朶ヲ床面ニ置キ芒ヲ一尺前後ニ切斷シテ撒布シ藎若クハ落葉枯草等ヲ撒布シタルコトアレトモ梢頭ノ嫩芽等ヲ凍傷シ或ハ雪ニ壓倒鎮附セラレテ蒸熱ヲ發シ枯損シタルコトアリ根笹ヲ插立スルヲ最良法トス

以上ノ方法ニヨルトキハ苗圃上氣温ノ平和ヲ保チテ其激變ヲ豫防スルノミナラス適度ノ空氣ヲ流通スルカ故ニ他ノ材料ヲ以テ設備セル防寒法ニ比シ蒸熱ヲ起シ苗木ヲ枯損セシムルノ患ナキニヨリ多少春季ニ於テ其取除キ時期ヲ過クルモ差支ナキノ利アリ

效用 本苗木ハ縣下ニ無代下附スル爲メニ縣費ヲ以テ養生セルモノナリ抑モ此養苗事業ノ計畫ヲ爲スニ先チ當局者カ縣下山林全體ノ概況ヲ調査セシニ民林ニシテ現在保安林并ニ將來保安林ニ編入スヘキ箇所中既ニ荒廢ニ屬シ至急造林ヲ要スルモノ六千百餘町步其町村有若シクハ區有ノ森林ニシテ經濟ノ保續ヲ損シ且ツ荒廢スルノ虞アリ急ニ造林ヲ要スルモノ約四萬町步アリ此等ノ森林ハ當然所有者カ造林スヘキモノナレトモ短年月ニ於テ之ヲ成業セシメントセハ頗ル難事ニシテ容易ニ其目的ヲ達シ難ク且ツ該事業ノ性質トシテ公益上尠カラサル關係ヲ有スルヲ以テ一ハ補助ノ爲メ一ハ植林獎勵ノ爲メ苗木ヲ無

代價下附セントシ明治三十一年ノ縣會ニ於テ十箇年繼續苗木養成ノ議按ヲ提出シタルニ該縣會ハ縣治上時務ノ宜シキヲ得タル一大策トシテ之ヲ賛成セリ即チ十年間ニ金拾六萬八千八百七拾壹圓貳拾七錢ヲ投シテ五千萬本ノ苗木ヲ養生シ約二萬町歩ノ造林ヲ速成セシムルコトヲ大多數ヲ以テ之ヲ可決シタルナリ而シテ三十二年度ニ於テ諸般ノ準備ヲ整ヘ三十三年度ヨリ始メテ實地事業ニ著手シタリ即チ其豫定額以上ノ苗木ヲ養成シ得ルノミナラス縣下一般造林志想ヲ惹起シ且ツ苗木養生ノ模範トナリ從テ民間ノ種植方法ヲ改良セシメ或ハ苗圃ニ於テ實地ニ教授セシ傳習生ハ勿論使役サレタル人夫マテ新ニ養苗事業ヲ起ス等間接ニ亦多大ナル效アリ而シテ當苗圃養成苗木ハ縣下ニ無代下附ス

產出額 明治三十三年著手以來無代下附シタル苗木一千〇十四萬九千九百一十一本此ノ造林反別三千三百八十三町三反十一歩トス而シテ著手以來現今迄ノ成績ニ徴シ將來ヲ豫定スレハ爾後本事業繼續期限六箇年間ニハ七千〇四萬九千三百七十七本ヲ下附シ二萬三千六百六十三町一反二畝十七歩餘ノ造林ヲ爲シ得ル結果トナリ即チ最初ノ計畫縣會決議ニ對シ二千四百四萬九千三百七十七本ヲ増シ七千〇十六町四反五畝二十七歩ノ造林反別ヲ増ス結果トナルナリ

審査請求主眼 縣設苗圃養成ノ苗木ハ主トシテ縣下保安林又ハ之レニ準スヘキ造林箇所ニ對シ下附スルニアルヲ以テ苗木樹體ハ專ラ實質ヲ強健ニ養成スルヲ目的トシ其度合ハ能ク荒廢セル縣下ノ地味土質ニ適應シ得ルノ點ニ止メ外貌ノ修飾ヲ寧ロ第二ニ置キ外貌

ノ修飾ヲナシ得ルノ力ヲ轉シテ養成本數ノ増加ヲ勉メ以テ直接ニハ起業當初ノ豫定ニ對シ苗木下附額ヲ増加シ從テ一本當リ養苗費生産費ヲ減少スルヲ得以テ十年計畫ノ目的ヲ確立スルヲ得間接ニハ縣下ニ養苗業ノ模範ヲ指示シ并ニ縣下一般ノ林業思想ヲ喚起シ得ルノ點ハ主トシテ審査ヲ乞ハントスル所ナリ

長野縣南佐久郡川上村井出喜重出品落葉松種子羽付解説書抄録

落葉松種子

一產地ハ長野縣信濃國南佐久郡川上村大字原字寒井山ニシテ地味瘠薄常ニ濕氣ヲ帶ヒタル雜木林中ナリ

一生育善良ナル天然生ノ孤立木ニ就テ中部ノ枝梢ヲ切落シ松毬ヲ採收ス本品ハ明治三十四年九月二十六日採取セルモノナリ

一採收セル松毬ヲ日光ニ曝シ種實ノ拔ケ出ルモノヲ篩ヒ取り篩トヲ用ヒテ空實ト塵芥トヲ排除シタルモノヲ羽附種子トナス此羽附種子ヲ取り其羽ヲ揉ミ落シ種實ノミトナシタルモノ即チ羽除種子ナリ

一製法ノ精粗ニヨリ一定シ難キモ普通羽除種子一升ハ凡ソ十七萬五千五百粒ニシテ量目百六十五匁羽附種子ニ在テハ凡ソ六萬五千粒量目七十二匁内外アリ

一本樹ノ種子採收ハ明治八年ニ始リ爾後年々採收セシモ産額多カラサリシカ明治十四五年ヨリ年々需要ノ増加ニ伴ヒ採收製出ノ額モ亦増加シ來リテ近年出品人カ取扱ヒタル本

品ト同一種ノ産額ハ左ノ如シ

二十三年	二十五年	二十七年	二十八年	三十年
十石五斗	十六石七斗	十五石四斗	八石五斗五升	六十八石
三十二年	三十四年	三十六石四斗	三十三石四斗	

備考 二十四年、二十六年、二十九年、三十一年、三十三年ハ不作ニシテ結實ナシ

以上ノ大部分ハ内國諸官衙ニ納入シ三分一ハ主モニ獨佛米ノ三國ニ輸出セリ  
一種子採收發見以來明治十七年頃迄ハ母樹ヲ根際ヨリ切り倒シ松毬ヲ採收シ來リシカ其  
後母樹ノ減盡ヲ恐レテ枝梢ノミヲ切り取り以テ松毬ヲ採收スルニ至レリ然レトモ一度枝  
梢ヲ切り取りタルモノ二十年以上ヲ經過スルニ非サレハ再ヒ結實ヲ見ルコト難キヲ以テ  
此法モ亦不完全ナルヲ免レヌ故ニ出品人ハ幹枝ヲ傷クルコトナクシテ松毬ヲ採取スル方  
法ニ就キ苦心シ居レリ

一近來種子需要ノ増加ニ伴ヒ價格ノ低廉ヲ競ヒ品質ノ粗惡ヲ致シ世上ノ信用ヲ害シ本村  
特有産物ノ聲價ヲ墜スニ至レリ依テ明治十七年中塵芥ト空實トヲ撰除シ從來羽附種子一  
升ニ付種粒二萬内外ニテ價格一圓以上ナリシヲ種粒六萬五千内外ニテ價格壹圓四五拾錢  
トスルノ製法ヲ案出シ佳良ナル種子ヲ廉價ニ販賣スルヲ得テ以テ本來ノ聲價ヲ保持シタ  
リ是レ本種ニ改良製ノ稱アル所以ナリ故ニ本品ハ他製ニ比シ發芽生育共ニ順良ニシテ其

稚苗ノ健全ナル遠ク他種ノ及フ能ハサル所ナリ

一本種子カ本村ノ特有産物ナルコトヲ知ルモノナク之カ爲メニ中間ニ於テ奸商ノ手ニ渡  
リ彼等カ暴利ヲ貪ルノ具トナレリ故ニ出品人ハ需要者ヲシテ産地ノ本村ナルヲ知ラシメ  
ント欲シ漸ク其目的ヲ達セリ又内國ハ勿論海外諸國ノ政府及ヒ有名ナル種苗商店ニ種子  
ヲ寄贈シテ試作ヲ乞ヒ幸ニ良效ヲ奏シ今日ノ如ク廣大ナル販路ヲ得隆盛ナル輸出ヲ見ル  
ニ至レリ

長野縣南佐久郡川上村井出喜重出品落葉松苗木解說書抄錄

産地ハ長野縣信濃國南佐久郡川上村大字原字中平ニ於ケル礫質ニシテ濕潤シタル土地ナ  
リ

播下ノ種子ハ自製種ヲ以テシ毎年四月二十八日ヨリ五月二日頃迄ニ下種シ稚苗中ハ勿論  
七八月ノ盛暑ニ際シテハ日覆ヲ施シ撒水ヲナシ以テ土地ノ乾燥ヲ防キ時々稀薄ナル人尿  
ヲ施シ雜草ヲ拔キ去リ其年秋氣迄ニ六七寸ニ生長セシム之レ一年生苗ニシテ翌春融雪ノ  
候ヲ俟テ右ノ小苗即チ一年生苗ヲ苗床ヨリ拔採リ他ノ畑地ニ床替シ其年ニ於テ一尺五寸  
以上ニ生長セシム之レヲ二年生ノ山行苗トス

一肥料ハ一年生苗ニ在テハ一坪ニ付大豆一合五勺、人糞五合、草灰六升ヲ播種前床地ニ混用  
ス二年生苗ニハ別ニ肥料ヲ施サス

一出品人ハ本品ト同一ノ苗木ヲ産出スルコト既往十年間平均一箇年一年苗百十三萬本ニ



年生苗二十五萬本ナリ

一古來落葉松ノ育苗ヲナスモノ下種ノ翌々年即チ三年目ノ春床替ヲナシ次ノ翌々年即チ五年目ノ春山行苗トス然ルニ斯ノ如ク長日月ヲ要セシ苗ハ鬚根尠ク移植後生育良好ナラサルヲ以テ出品人ハ今ヲ距ルコト十五年前ヨリ前掲ノ如キ速成育苗法ヲ案出シ是ヲ實地ニ試験シタルニ此法ニ依ルトキハ生長順良ニシテ鬚根ヲ生スルコト多ク育苗亦容易ナレハ隨テ廉價ナルヲ得爲メニ日本全國ニ亘リテ販路ヲ擴張スルコトヲ得タリ本品モ亦此法ニ據リテ育成シタルモノナリ

熊本縣 同縣出品種苗中最モ多數ナリシハ漆ニシテ該樹造殖ノ必要ナルハ林産塗料生漆ノ部ニ於テ縷述セシ所アルカ故爰ニ之ヲ省クヘシト雖トモ此急要ナル造殖上ニ向テ適良ナル種苗ヲ造出センハ是亦甚タ現下ノ要務ナリトス今回該樹ノ種苗ハ奈良福井愛知青森等ノ各地ヨリ出品アリ概シテ好良ナラサルモノ少ク業績亦見ルニ足ルヘキモノナキニシモアラスト雖トモ特ニ熊本縣出品中ニハ其優逸シタルモノアルヲ認メタリ左ニ解説書ノ一部ヲ抄録シテ參考トス

熊本縣鹿本郡米野岳村竹原空次出品漆苗解説書抄録

産地土質及反別 熊本縣鹿本郡米野岳村大字岩原宇宮古原砂礫混合眞土漆苗畑反別一反二畝步栽培地同縣同郡同村大字岩原宇宮高根松八町七反六畝步一反步ニ付六百本ツ、ノ割合ヲ要ス

種植及採取 種子ハ奈良縣吉野産ヲ特撰シ以テ春分ニ發芽法ヲ行ヒ播下シ而シテ一箇年間ハ苗圃ニ於テ過分ノ肥料ヲ施サス除草ヲナスノミ更ニ其翌春ハ他ノ養苗地ニ移植シ施肥除草ヲ周到ニ行ヒ秋季ヨリ春分ニ於テ本植ヲ爲ス根ノ伸長セルモノヲ切斷シ根付ヲ佳良ナラシメ其切斷シタル根ハ更ニ苗木用トナス本植ヨリ七箇年間ヲ經ハ樹ノ大サ大凡九寸廻リ以上ニ達スルヲ普通トス而シテ改良法ニ基ツキ漆液ノ採取ヲナスモノナリ

培養及保護 苗圃ニ在テハ常ニ床地ノ乾燥セサル様米泔水ヲ撒布シ肥料ハ水肥又ハ厩肥ヲ重モトシ枯死ナキ様注意シ害蟲ニ罹ラサル様豫防ヲナセリ

效用 日本漆器ノ最原料タル漆液ハ輒近其産額大ニ減少セントシ反之漆液ノ需要益々増加ノ趨勢ヲ呈シ爲メニ粗惡ナル海外産ヲ輸入セシメントセリ益々爰ニ於テ本郡漆樹ノ蕃殖ヲ圖ラント欲ス元來漆樹ノ益アルヤ幹ヨリ前陳ノ液汁ヲ滲出シ種實ハ蠟ヲ製スヘク材幹ハ工業的材料トナシ最モ妙ナリ其外腐朽スルコト遅キヲ以テ種々ノ用途多シ又薪炭用トシテ他ノ材ニ劣ラス實ニ漆樹栽培ハ農家ノ副業ニ至當ナルヘシ

産出額 明治三十二年ヨリ地方廳ノ獎勵セラレ、ニ應シ著手セルカ明治三十二年ニ漆苗二萬五千本同三十三年ニ四萬二千本同三十四年ニ五萬八千本

褒賞 本業ノ著手未タ日尙ホ淺キカ爲メ競進會等ニ出品スル機ヲ得スト雖トモ明治三十四年九月日本漆工競技會ニ苗木ヲ出陳シ褒狀三等賞ヲ得タリ

高知縣 同縣ノ出品中杉檜苗木ハ出品點數モ少ク且ツ品質不良ニシテ一モ見ルヘキモノア

ラサリシハ太タ遺憾ナリ同地方ハ杉檜ノ產地トシテ古來其名高ク産額亦甚タ大ナルモノアルニモ拘ハラズ其種苗ニ於テ如此ノ狀況ナリトスレハ大ニ將來ニ向テ其改善ヲ圖ラサルヘカラサルノ要ヲ認ムルナリ樟苗木ノ出品ニハ三等賞ノ賞格ニ入りシモノアリテ品質極メテ適良ナルヲ見ル該樹ハ本邦重要材中特ニ其效用ノ著大ナルモノニシテ之カ造殖ハ目下ノ一大要務ニ屬ス然ルニ其郷土全國ニ洽カラス幾ント四國九州方面ヲ以テ其領域トナス所ナルカ故是等ノ地方ニ在テハ須ラク之ニ勵精スル所アラサルヘカラサルナリ左ニ其解説書ヲ抄録シテ參考トナス

高知縣香美郡片地村船谷幾馬出品樟及肉桂苗木解説書抄録

產地土質及反別 高知縣香美郡片地村

土質 黒土乾燥シタル肥沃地

(參照) 土質ハ出品苗木植付ケアル函中ノ土其一例ナリ

反別 三年生即チ二回床替栽培地二反三畝歩、二年生即一回床替ノ栽培地一反一畝歩、一年生即播種栽培地四畝歩

種苗及採收 種子採收樟種子ハ强健無病ナル多腦ノ母樹ヲ選ヒテ十二月中旬ニ採收シ肉桂種子ハ强健無病ナル母樹ヲ撰ミ且ツ根部ノ良否ヲ試驗シテ十一月下旬ニ採收ス

播種法 苗圃ニハ可成冬李ニ至リ西北風ヲ受ケサル温地ヲ撰定シ前冬ニ於テ耕鋤シ雜草砂石ヲ取り除キ翌春三月上旬ニ至リ之レヲ再ヒ耕耘シ土塊ヲ細碎シテ播種スルモ成

三寸位ノ畝ヲ作りテ人糞三分ト水七分ト混合シテ撒布シ而シテ床上ヲ播種均シ山凹ナキ様均一ニス此地盤一坪ニ付三合ノ割合ヲ以テ平等均一ニ撒播シ或ハ鋤ニテ筋ヲ切り割リ筋蒔キニス而シテ上土ヲ種實ノ隠レル迄覆ヒ木片ニテ少シク敲キ藁ヲ一本并ニナシ其上ニ竹二本ヲ横ヘ風ノ爲メニ吹キ飛ハサレヌ様ニス但肉桂種子ハ採收後直ニ播種スルモ成蹟ニ異動無シ

移植法 苗圃ハ前冬ニ於テ耕鋤シ雜草砂石ヲ取除ケ置キ翌年三月上旬ヨリ下旬迄ノ間ニ再ヒ畑地ヲ耕シテ土塊ヲ碎キ幅三尺乃至四尺ノ畝トナシ畝トノ間七寸乃至一尺ノ通路ヲ設置ス此方法ハ地形ニ依リテ爲シ得サルトキアリト雖トモ霜覆ヲ施シ易キ爲メ可成畝作りヲ東西トナシ畝ノ兩端ニ以上ノ割合ニテ杭ヲ打チ込ミ之レニ繩ヲ張り畝ト通路トノ境界トス凡テノ準備整頓スルトキハ苗床ヨリ鋤或ハ本鋤ヲ以テ丁寧ニ苗ヲ掘り取り根ノ乾カサル爲メ可成納屋ニ運ヒ來リ大小ヲ撰別シ肉桂ハ根先キヲ少シ斗リ切り去リ樟苗木ハ根先キ及地上一寸許ノ處ヨリ幹ヲ切斷シ兼テ準備シアル畝ニ假植シ置キ一坪ニ付キ四百本位ノ割合ニテ第一回ノ床替ヲナス第二回床替ハ翌年三月上旬ヨリ下旬迄ノ頃地拵及總テノ準備ヲ前回ト同シクシ參考品トシテ添付ノ本鋤ヲ以テ丁寧ニ苗木ヲ掘り取り大小撰別シテ前回ヨリ移植ノ數量ヲ減シ一坪ニ付二百五十本位ノ割合ニテ大小交植セス其他ノ方法ハ皆前回ト同斷ニシテ第二回ノ床替ヲナス翌年四年目ノ春即チ滿三箇年ニ至リ山出苗トナル

荷造法 山出苗ノ荷造法ハ二月中旬ヨリ四月上旬迄ノ間ニ本鋤ヲ以テ苗木ノ根幹枝葉ヲ傷ケサル様最モ丁寧ニ掘リ取りテ丈ケ八寸以下ノ者ト幹ノ弱小ナル者トヲ除キ樟苗ニアリテハ葉ヲ一切摘ミ落シテ二十本或ハ五十本ヲ以テ一把トナシ苗ノ中央ヲ括リ濕打チヲ以テ根部ヲ潤シ篩ニテ上土ヲ篩ヒ掛ケ五百本乃至一千本ヲ以テ一箇トナシ稍々腐敗シテ濕潤セル藁ニテ根ヲ包圍ス筈ニテ其上面及苗木ノ穂先キヲ現ハサヌ様ニ包ミ大繩ヲ以テ三箇所括リ十文字ニ縦繩ヲ入レ梱包トナス

運搬法 運搬法ハ出荷ニ先キ立チ順路取調ヘノ上運送會社ニ照會シ置キ苗荷ニ一人ノ監督ヲ附シ晝夜ノ別無ク最モ迅速ニ運送ス若シ需要地カ遠クシテ輸送中降雨ニ遇フトモ決シテ濡ラサ、ルヲ期シ海上運送ノトキハ空氣ノ流通能キ處ニ靜置ス

培養及保護 種子ヲ採集シ精撰シタルトキハ樟種子ハ澁紙袋或ハ布袋ニ入レテ空氣ノ流通能キ乾燥セル室内ニ吊シ貯ヘ肉桂種子ハ糲糠ト混合シテ地下ニ埋メ貯藏ス

播種後ノ培養及保護 發芽スレハ播種ノ際覆ヒアリシ藁ヲ取り除ケ雜草ヲ取り掃フ而シテ除草ハ十五日若シクハ二十日毎ニ草ノ蔓薙セサル内勉メテ小草ノ時雨天ノ翌日又ハ曇リノ日ニ除草ス(除草人夫トシテ年少者及老人ヲ使役セス)九月頃ニ至リテ人糞二分ト水八分ト混合シテ一反歩ニ付二十荷三百貫ヲ施肥シ又降霜前ニ當リ霜覆ヲナス

第一回床替後ノ培養及保護 除草ハ二十日乃至三十日毎ニ雜草ノ蔓薙セサル内最モ小草ノ時雨後ニ今回出品ノ參考トシテ添付セル除草器ヲ以テ根ヲ損傷セシメヌ様ニ除草手入

ヲナス施肥ハ移植濟ミノ際ニ人糞二分ト水八分トヲ混合シテ一反歩ニ付二十荷三百貫ヲ施ス入梅中ニ雨後除草終リタル時鋤肥一分五厘ト人糞一分五厘ト水七分ト混合シテ一反歩ニ付二十五荷三百七十五貫ヲ施ス而シテ降霜前ヲ見計ヒテ霜覆ヲ爲ス第二回床替後ノ培養及保護除草施肥霜覆等一切前ニ同シ

效用 殖林ノ實ヲ擧ケシメ而シテ成長ノ後ハ藥品ヲ製出スル等效用最モ廣シ

産出額

年 度	數 量	價 格	販 路	
			地 名	數 量
明治三十三年度	十萬九千五百本	金貳百四拾圓九拾錢	高知縣 幡多郡	三萬五千本
同	同	同	同 縣 高岡郡	八千本
同	同	同	同 縣 長岡郡	六千五百本
同	同	同	同 縣 安藝郡	四萬八千本
同	同	同	德島縣 海部郡	五千本
同	同	同	愛媛縣 下郡	七千本
明治三十四年度	六萬三千七百本	金壹百八拾九圓貳拾五錢	高知縣 幡多郡	二萬五千本
同	同	同	同 縣 高岡郡	一萬本
同	同	同	同 縣 香美郡	六千二百本
同	同	同	同 縣 安藝郡	二萬七千本
同	同	同	高知縣 幡多郡	二萬四千本
明治三十五年度	九萬四千五百本	金參百拾貳圓四拾貳錢	同 縣 高岡郡	一萬八千本

明治三十五年度	高知縣土佐郡	四千五百本
同	同縣香美郡	七千本
同	同縣安藝郡	三萬一千本
同	愛媛縣下	一萬本

審査請求主眼 産額ヲ増シ勞費ヲ減セシ點

理由 種子採收ニ就テハ古來母樹ノ撰擇ニ注意セサリシカ明治二十六年ヨリ太タ母樹ニ良否ナル事ヲ認メ大ニ改良シタリ肉桂ニアリテハ根部ノ苦味アルモノト辛味アルモノトアリ依テ母樹ノ根ヲ掘取り試味シテ最モ根ノ辛キモノヨリ採取ス樟ニ在テハ木ニヨリ腦ニ多寡アルヲ以テ試験ノ後最モ多腦ノ母樹ヲ撰ヒテ採取スルニアリ

種子貯藏方ニ就テ從來ハ精撰ノ後桶或ハ函ニ入レ倉庫内ニ藏置セシニ爾來試験セシ結果明治二十九年ヨリ貯藏方ヲ改良シ種子採取精撰ノ曉ニハ樟種子ハ澁紙袋或ハ布袋ニ入レテ空氣流通善キ乾燥セル室内ニ吊シ置ク事トシ又肉桂種子ハ採取精撰ノ曉ニハ粉糠ト混シテ地下ニ埋メ貯藏スル事トセリ斯クノ如ク改良シテヨリ播種後發芽ノ成績大ニ良好トナリ大ニ發芽數ヲ増スニ至レリ明治二十六年度ヨリ苗木掘り取り及ヒ除草器具ノ製作ヲ考案シ同二十七年ヨリ出品ニ添付セル器具本鋤及草剃ヲ使用スル事トナレリ而シテ該器具ヲ用フル事トナリシヨリ苗木掘取りニ就テハ大ニ丁寧ヲ加ヘ且ツ掘取り人夫ハ殆ト三割ヲ節減スルニ至レリ除草器ニアリテハ除草回数ヲ減シ一箇年除草勞力二割以上ヲ減

スルニ至レリ

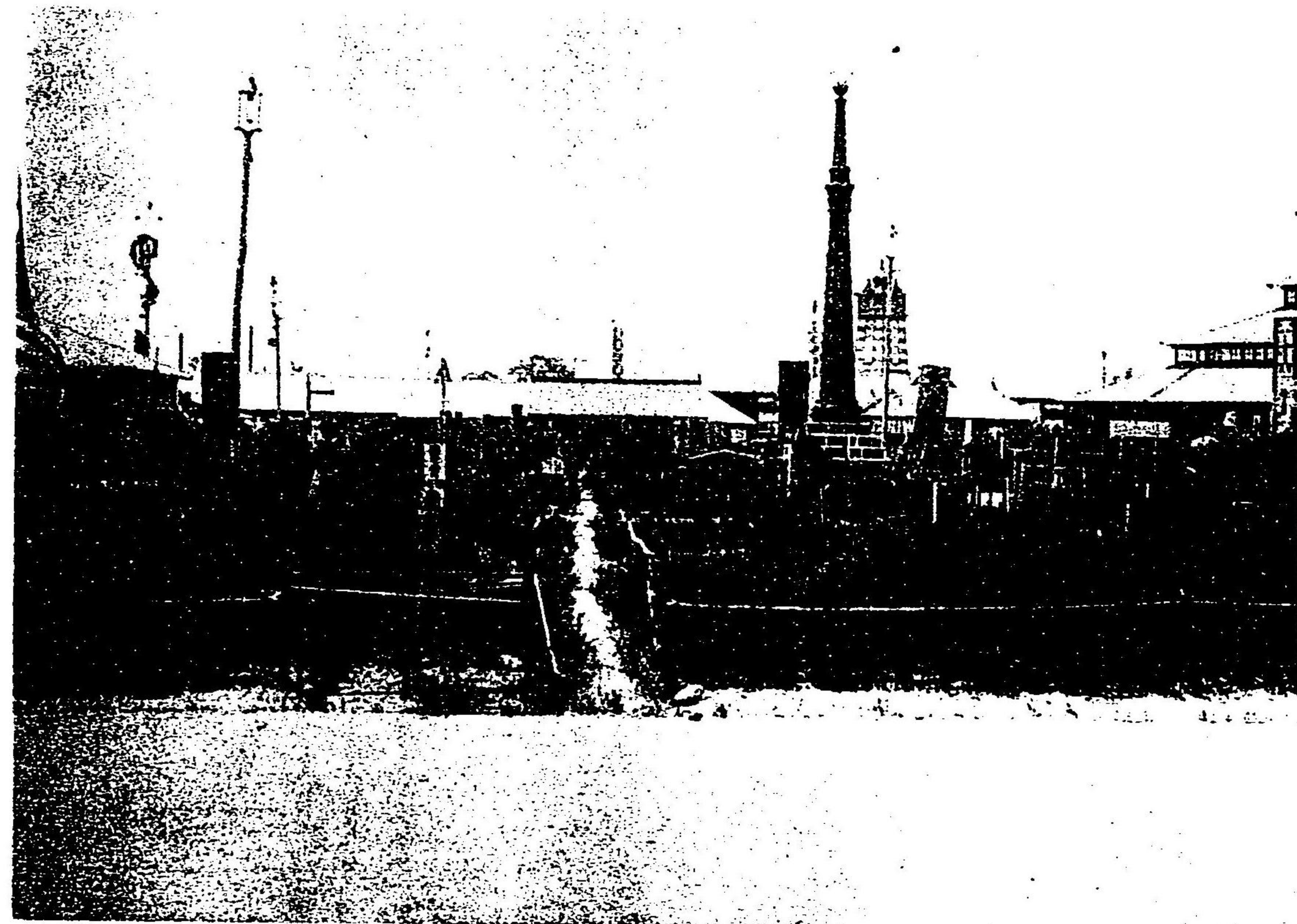
荷造リ法ヲ改良セシ點

理由 從來ノ苗木荷造方ハ掘取りタレハ百本ヲ以テ一把トナシ筵ニテ包送シ來リシカ樟苗ニアリテハ明治二十六年度ヨリ葉ヲ摘ミテ送苗スル事トナシ其他以上荷造法ノ所ニ記載ノ如ク荷造リシテ送苗スル事ニ改良シ大ニ枯損ヲ減シ植栽後最モ成績ノ佳良ナルニ至レリ

以上ノ外東京府池田次郎吉出品ニ係ル獨逸松、オレゴン、佛國海岸松等ノ苗木ハ外國樹種ニ出ツルモノナリト雖トモ苗質甚タ好良ニシテ以テ山地ニ植栽スヘキニ適シ且ツ其試育ノ美績ヤ推稱スルニ足ルナリ

其他兵庫縣ノ桐苗標苗ノ出品ニ於テ一二ノ見ルヘキモノナキニアラス何レモ將來益々留意シテ育成上ノ好果ヲ收メンコトヲ切望ニ堪ヘサルナリ

官廳出品 若干ノ出品アリト雖トモ寧ロ標本ニ屬スヘキモノナルカ故爰ニ之ヲ評記セス大林區署及ヒ御料局所管中ニハ歳々造林ノ事最モ盛大ナルモノアリ從テ苗木種子等ニ關シ幾多ノ出品スヘキモノアルニモ拘ハラス今回は等育成採取ニ係ル一ノ出品ヲ見サリシハ甚タ遺憾ナリ庶幾クハ後回ニ於テハ多數ナル出品ヲ以テ大ニ他ノ參考資料ニ供セラル、ニ至ラシ事ヲ望ム



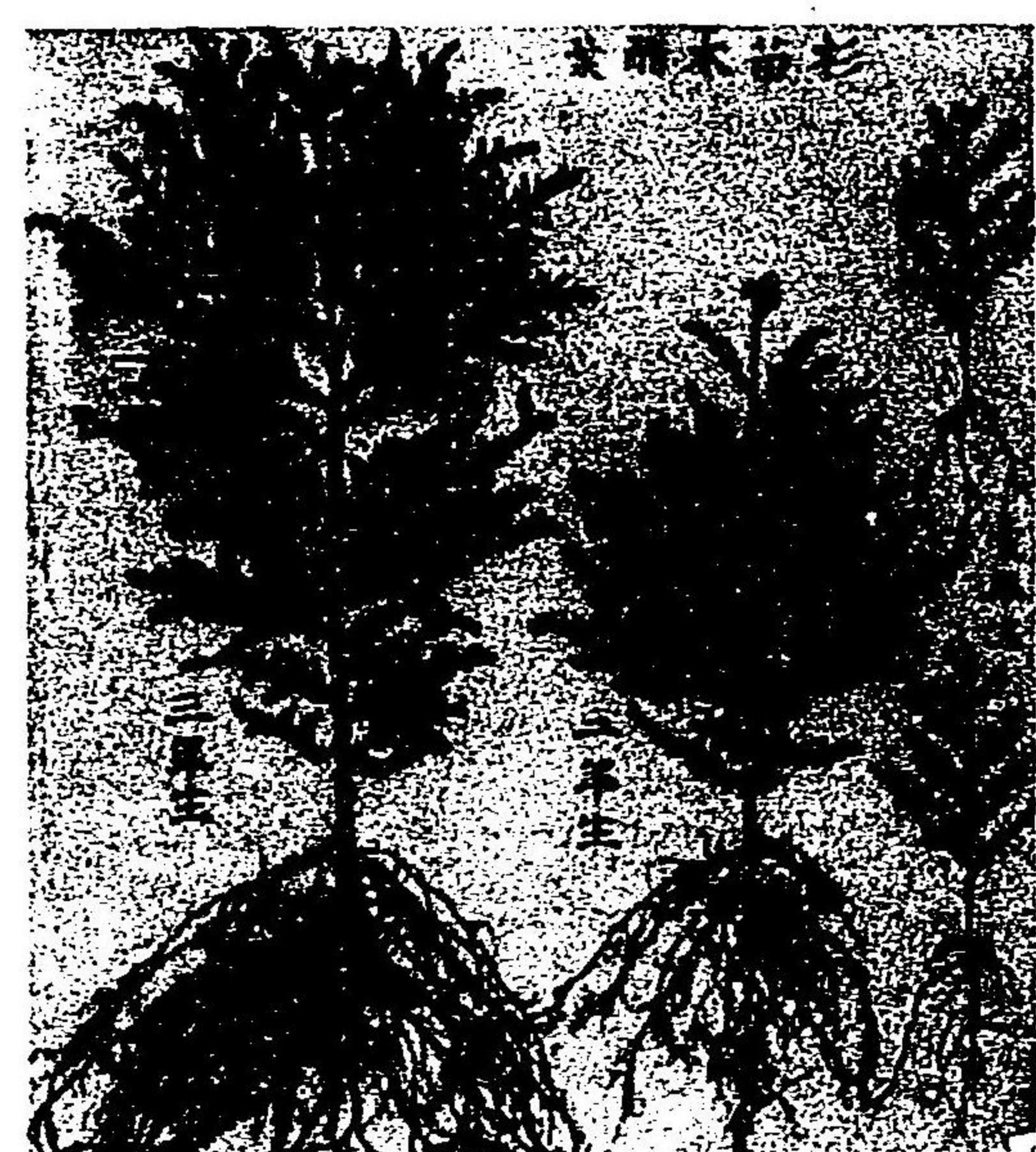
(一其) 景光ノ圃苗品出外館



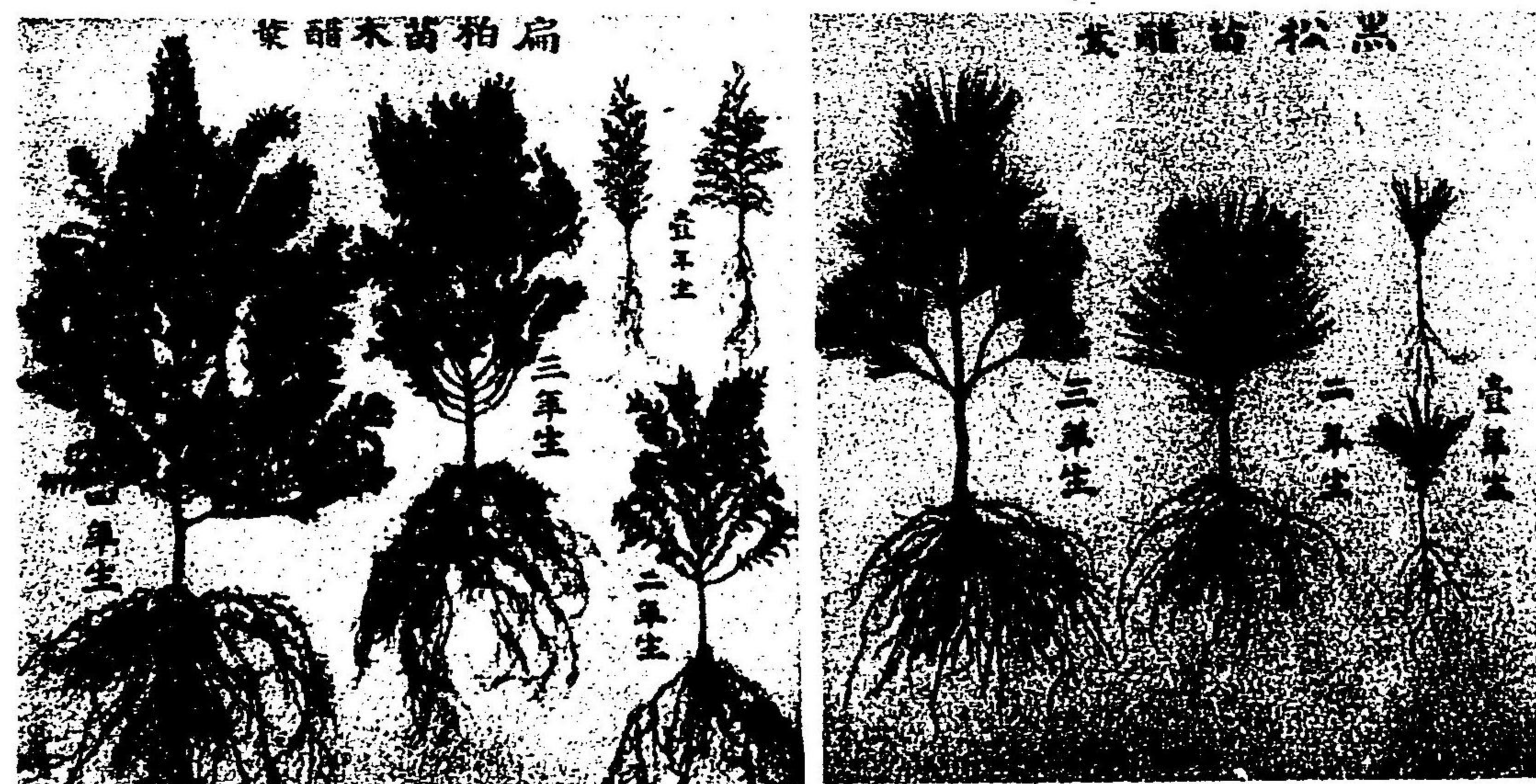
(二其) 上同  
品出合組良改苗種檜杉郡野吉縣良奈



品出署區林大野長圃苗松葉落



上 同



品出衛兵郎八井土縣重三本標葉醋木苗柏扁

## 第九編 動植物ノ標本及圖畫

動物ニ關スルモノ 審査官理學博士 佐々木忠次郎 報告

植物ニ關スルモノ 同 林學博士 白澤 保美 報告

### 森林有害及有益動植物并ニ被害狀態ノ標本及圖畫

凡ソ實業上ノ進歩ニハ實際的調査學術的研究共ニ必要ニシテ殊ニ現今我邦林業ノ如キ學術應用ノ未タ幼稚ナル域ヲ免カレサルニ於テハ最モ要急ノコトニ屬スルナリ元來博覽會ノ如キニアリテハ自家ノ產出品若シクハ製造品ヲ公衆ニ示シ以テ顧客ヲ招致シ販路ヲ擴張セントスルハ本來ノ目的ナルヘシト雖トモ然レトモ亦官廳學者其他世ノ先達ヲ以テ任スルノ人土カ自己ノ研究若クハ調査ノ結果ヲ公示シテ世人ヲ裨益スルカ如キ高尙ナル目的ノ出品ニ對シテハ特ニ之ヲ歡迎セサルヲ得ス

林業上前記後段ニ屬スル出品ノ種類一ニシテ足ラスト雖トモ本項ニ屬スル標本及圖畫ノ類ハ則チ其一ナリトス今回出品セシモノハ樹木ノ圖畫、脂葉、材鑑、動物ノ標本并ニ鳥獸、昆蟲、細菌、蔓草類等ニシテ種類トシテハ畧ホ網羅セルカ如シト雖トモ其點數ノ甚タ多カラサリシハ稍々遺憾トスル所ナリ

森林動物ノ出品ハ栃木、兵庫、高知、岐阜及島根ノ五縣ニシテ出品人十一人ナリ然レトモ其出品

ハ多クハ單ニ標本トシテハ見ルニ足ルヘシト雖トモ森林ニ對スル關係發育ノ狀態若クハ加害ノ狀態等ヲ研究シタルモノニアラスシテ完全ナル標本ト云フヘカラス希クハ爾來森林ニ關係アル昆蟲類、鳥類、哺乳動物ヲ初メトシ其他森林ニ關係ノ諸動物ヲ蒐集シ之ニ對シテ前記ノ有害有益ノ區別發育及加害ノ狀態ハ勿論尙進テ寄生蟲、寄生菌等ノ有無其他有害動物ノ豫防、驅除ノ方法、有益動物ノ保護、増殖ノ方法等ヲ研究スルモノ、輩出シテ林業ノ發展上ニ大ニ貢獻スル所アラランコトヲ切望ス

森林植物標本ノ出品ハ岐阜、巖手、福島、奈良、鳥取、廣島、宮崎及沖繩ノ八縣ニシテ出品人十九人アリタリ然レトモ其一ニヲ除クノ外ハ系統的ニ類別シタルモノナキノミナラス製作及陳列ノ如キモ見ルニ足ルヘキモノナキハ甚タ遺憾トスル所ナリ是亦次回ニハ其製作ニ意匠ヲ凝ラシ整然タル類別ノ許ニ蒐集シタル完全ナル學術的ノ出品ヲ見ルニ至ランコトヲ切望スル所ナリ

今回出品ノ點數人員并ニ授賞數ヲ左ニ示シ尙重モノノニ就キ細評ヲ試ミントス  
動物ニ關スル府縣別出品點數出品人員及授賞數一覽表

府縣別	出品點數	出品人員	授賞數				計	備考
			金牌	銀牌	一等賞	二等賞		
栃木	八	二					一	
兵庫	八	三					一	
合計	一六	五					二	

府縣別	出品點數	出品人員	授賞數				計	備考
			金牌	銀牌	一等賞	二等賞		
岐阜	九	四					二	
島根	〇	一					一	
高知	八	一					一	
合計	一七	六					四	

植物ニ關スル府縣別出品點數出品人員及授賞數一覽表

府縣別	出品點數	出品人員	授賞數				計	備考
			金牌	銀牌	一等賞	二等賞		
埼玉	六	六					一	
奈良	二	二					一	
滋賀	四	二					一	
岐阜	一	一					一	
長野	一	一					一	
巖手	二	二					一	
青森	二	二					一	
鳥取	一	一					一	
島根	一	一					一	
廣島	三	一					一	
合計	二六	二六					一	



香川	—	—	—	—	—	—	—
宮崎	—	—	—	—	—	—	—
沖繩	—	—	—	—	—	—	—
合計	三〇	二五	—	—	—	六	八

兵庫縣 同縣ノ出品ハ鳥獸ノ剝製ニシテ専ラ海外輸出向ノモノナリトス殊ニ小島長清ノ出品ノ如キハ其點數九十點ニ近ク其製法巧妙ニシテ海外ニ輸出スルコト年々數萬圓ニ達スルニ至リテハ斯業上ニ貢獻スル處少カラサルノミナラス教育上狩獵上亦大ニ參考トナスヲ得ヘシ今其鳥名及解説書ヲ抄録スレハ次ノ如シ

- |        |       |      |       |
|--------|-------|------|-------|
| 鶴雉雄    | 鶴雉雌   | 雉子雄  | 雉子雌   |
| 鴛鴦雄    | 高麗雉子雄 | 鷓白黑毛 | 同カシワ毛 |
| 都鳥     | 大鷹    | 中鷹   | 小鷹    |
| 青五位    | 星五位   | 雉五位  | 鴉     |
| 深山鴉    | 尾長鳥   | 土鳩   | 白鳩    |
| 赤鳩     | 雉子鳩   | 大尺鳩  | 中尺鳩   |
| 大ソリバシ鳩 | 山鳩    | 虎ツグ  | カケス   |
| 玉シギ    | 田シギ   | 黍鳩   | 鼠鳩    |
| ゴマシギ   | 水鳩    | 草鳩   | 濱鳩    |

- |      |                          |              |      |
|------|--------------------------|--------------|------|
| サル鳩  | 尾白鳩                      | 赤連雀          | 黄連雀  |
| 岩燕   | アイサシ                     | ケリ           | ヨシヅイ |
| 鶉    | 柏 <small>チヨマ一名</small> 鶉 | シナエ一名<br>ヤツ鶉 | ヒヨドリ |
| 黑鶉   | 磯鶉雄                      | 磯鶉雌          | イカル  |
| 棕鳥   | シメ                       | 順千鳥          | 島棕   |
| 川蟬   | 鶉                        | 白文鳥          | ダ文鳥  |
| 白十四松 | 茶十四松                     | 黒十四松         | カナリヤ |
| 赤鶉   | 黒鶉                       | アリスイ         | 雀鶉   |
| 川原ヒツ | ホジロ                      | ホアカ          | 雀    |
| アラジ  | クロジ                      | マヒバリ         | アトリ  |
| 野駒   | ヨシキリ                     | カシラ          | 田ヒバリ |
| メバチ  | 紅マイコ                     | マヒコ          | マヒワ  |
| メジロ  | 鶯                        | 赤ハキ          | 雀雄   |
| 雀雌   | 駒鳥                       | 土鳩           |      |

製造地 兵庫縣神戸市榮町小島長清出品剝製鳥解説書抄録  
 道市久保町九十四番邸東洋館等ノ直轄製造處ヲ有シ愛知縣名古屋市南瓦町二十三番戸ニ

於テ東部一手買入處ヲ設ケ中國、四國、九州等樞要ノ地ニ代理店ヲ置キ製品ヲ買收ス此取引先キ全國通シテ數百箇所尙ホ臺灣、朝鮮、支那及南洋諸島へ人ヲ派シ製造セシムルコトアリ原料 專ラ全國到ル號ノ山野ニ天然生育セル大小ノ諸鳥狩獵者之ヲ捕獲シタルヲ買集シ或ハ飼育鳥等ニシテ尙ホ支那、朝鮮、南洋諸島ヨリ輸入シ用フルコトアリ

製造用品 製造臺机、小刀、花鋏、亞砒散藥、筆、針、石膏末、綿紙、絲等ナリ

製造方法 狩獵者ヨリ買入タル死鳥ヲ机ノ上ニ置キ左手之ヲ押ヘ右手ニ小刀ヲ持シ先ツ腹部ノ皮ヲ少許切り此切口ヨリ丸ノ儘肉ヲ出シ(少許ノ切口ヨリ大ナル肉ヲ出スハ一種ノ技術ナリ)皮計トシ皮ニ附著セル油分ヲ取り除キ(皮ニ油分アレハ防腐藥ノ效弱ク忽チ腐敗ス)此皮ノ乾カサルトキ防腐劑ナル亞砒散藥ヲ筆ニテ全皮ニ塗り付其鳥ノ形大ノ綿ヲ作リ腹部ニ詰込ミ兩足ヲ交叉シ之ヲ絲ニテ括リ切開ノ箇所ヲ縫合シ胴ノ左右ヨリ羽毛ヲ害セサル様前翼ヲ押ヘ付ケ紙輪ヲ入レ羽毛ノ開散ヲ防キ後之ヲ乾燥ス是レ即チ剝製鳥ナリ

沿革 明治初年貿易業ニ從事セシ以來常ニ廢物利用ニ心ヲ留メタリシカ歐洲各國人ハ翫弄ニ裝飾ニ主トシテ實物標本ヲ好ムト聞キ本品ヲ製出セント思ヒシモ當時未タ開ケス製造法ヲ知得スルニ道ナク久シク苦心焦慮ノ結果漸ク佛人某ヨリ本品製造法ノ傳習ヲ受ケ銳意製出ニ勤メタルニ職工各々熟練セサルヨリ製品粗惡ニシテ外人ノ嗜好ニ適セス爲メニ大蹉跌ヲ受ケシモ不屈不撓專心職人ノ養成ヲ謀リ遂ニ妙技ノ職工ヲ作り製造輸出セシニ大ニ需要者ニ歡迎サレ爾後職人ヲ全國各地ニ派遣シテ至ル處本品製造ヲ勸誘シ製品ノ

増額ヲ謀リ隨テ海外輸出ノ多大ヲ見ル今日アルニ至レリ

製造品ノ數量、價格及其販路 數量價格何レモ其年ニヨリ多少アリ拙店取扱ニ係ル本品ノ輸出額ハ多キ年ハ價格拾萬圓以上少キ年ト雖トモ壹萬圓ヲ下ラス製造及販賣期ハ狩獵期限中ニテ毎年十月ヨリ翌年四月迄ヲ一期トス販路ハ佛國ヲ第一トシ獨、英、米之ニ次ク其他海外各國ヨリノ注文ニ應シ輸出セリ

效用 古來廢物ニ歸セシ諸鳥ノ毛皮ヲ製造シ海外へ輸出シ毎年幾拾萬圓ノ外資流入ヲ謀ルハ即チ國家裨益ノ一端ニテ其肉ハ依然食料ニ嚮キ或ハ罐詰トナスヲ以テ一トシテ廢物トナルコトナク一舉兩得ノ製品ナリ又需要地ニアリテハ之ニ目玉ヲ入レ本製トナシ以テ教育用標本翫弄品及裝飾用品トス就中西洋各國ニ於テ本品ヲ婦人帽子ノ飾トナシ頗ル貴重賞愛ヲ極ムト云ヘリ故ニ本品ノ需要最モ多ク前途益々有望ナリ

審査請求主眼 本品ハ實物ニ替リナキ様製造セルヲ第一トス羽毛順ナラス體形實物ニ比シ大ニ過キ小ニ失シ或ハ羽毛一局部ニ偏集シ又ハ毛剝ケアリ蟲入り等ハ何レモ製造上ノ缺點ナリ我國今ヤ漸ク本品製造家多數トナリ隨テ製出額モ莫大ニシテ廢物利用ノ價格毎年幾拾萬圓ニ上リシハ大ニ悦フヘキコトナレトモ近時粗製濫造ノ弊ニ傾キ海外需要地ノ信用ヲ落スニ至レリ實ニ慨嘆ニ堪ヘス依テ自分ハ數年前ヨリ銳意熱心各製造家ヲ説キ粗製ノ將來ニ大害タルコトヲ嚴告シ大ニ製造上ノ改善ヲ謀リ拙店取扱ニ係ル製品ハ外人トノ取引上身親ラ粗製品タラサルコトノ大責任ヲ帶ヒ拙店ノレツテ貼付シ輸出ヲ試ミ

シニ幸ニシテ需要地ノ信認ヲ博シ爾後洋文ニテ注文ヲ受クルニ至リ尙ホ内地元居留地外人商館トノ取引モ粗製品ナリセハ損害賠償スヘキ保證付ノ取引トシ商館更ニ品改メナク續々輸出スルニ未タ曾テ一回ノ苦情ヲ受ケス専ラ信用上ノ取引トナリシハ豈ニ只自分一小店ノ光榮ノミナラス實ニ國家ノタメ大ニ悦フ處ナリ爾後益々本品製造ニ意ヲ注キ愈々妙技ヲ盡シ品位ヲ高メ價格ノ暴落ヲ恢復シ販路ノ擴張ヲ謀リ製出輸出共ニ多大ノ増額ヲ得シモノト致々汲々且夕怠ル處ナシ

奈良縣 同縣ノ出品ハ材鑑ノ標本少カラス殊ニ吉野杉材鑑ノ如キハ林業上參考ニ資スルヲ得ヘシ而シテ薄木祜藏ノ出品ハ其樹種少カラス且其效用ノ異ナルニ從テ分類ヲナセルカ如キハ稱揚スルニ足ルト雖トモ惜ムラクハ其形狀不適當ニシテ製作亦可ナラス然レトモ多數ノ樹種ヲ集メタルハ其勞多トスヘシ左ニ參照ノ爲メ同人ノ解説書ヲ抄出ス

奈良縣宇陀郡宇賀志村薄木祜藏解説書抄録

本品 土木建築并ニ工業用材漢藥果樹并ニ雜木古材ノ五項ニ大別シ猶各特種ノ效用ヲ有スルモノハ特ニ下欄ヘ掲記シタリ 但名稱ハ其地方ニ稱フル儘ヲ記載シタリ

土木建築并ニ工業用材

- 一 シクキ
- 一 ヨノミ 椀等ノクリモノヲ造ルニ適ス
- 一 ヲヤナキ
- 一 ムク 荷棒ヲ造ルニ良材ナリ
- 一 ヤマムク 荷棒ヲ造ルニ適スル材質ナリ
- 一 椴 板材ニスレハ色澤美ニシテ最モ佳ナリ

木履ヲ造ルニ良好ナル材質

- 一 子ム
- 一 チサ 傘ノ轆轤ニ適質ナリ
- 一 ゴム 薪炭材ニスレハ成長速ナル故頗ル經濟ナリ
- 一 メマツ
- 一 ニカキ
- 一 アスカ
- 一 ヒメツツジ
- 一 ハハタラ 燐寸軸ニ適シ需要廣シ
- 一 マイタ
- 一 杉 需要枚舉ニ遑アラス
- 一 サヤコ
- 一 楨
- 一 トコロ
- 一 ヤブニツキ
- 一 ヒイラギ
- 一 チヨヤナギ

- 一 コゴメ
- 一 サルタ
- 一 松 需要最モ廣シ
- 一 五葉松
- 一 檜 需要最モ廣シ
- 一 柳
- 一 ヤマホウ 椀等ノクリモノニ適ス
- 一 カンボク 藥種トナル
- 一 モチ 皮ヨリトリモチト稱スルモノヲ製出シ蠅ヲ捕殺シ需要廣シ
- 一 椴 皮ヨリ染物原料ヲ製出シ幹ハ柱ニ造レハ最モ佳ナリ
- 一 アカベ
- 一 アセボ 皮ハ染料トナル沸煮シテ其汁ヲ害蟲驅除用ニ用フ頗ル功能アリ
- 一 ヤマチベ
- 一 タテ 荷ヒ棒トナル
- 一 シタコジキ
- 一 修始樹
- 一 ムロ 船艦製造ニ適材ナリ

- 一 クサキ
- 一 イス 櫛用材トナル
- 一 ビヤクシン
- 一 カシワ 皮ハ染料原料ナリ
- 一 ヤマサシ
- 一 アカシバ
- 一 楠 樟腦ヲ採リ其他需要廣シ
- 一 リヨホウ
- 一 イタヤ
- 一 チャチン 木屐材ニ需要廣シ
- 一 櫻 木地類ニ適ス
- 一 ニシツバキ
- 一 ユヅリバ
- 一 コウバツ
- 一 ビシヤコ
- 一 黄エンジュ
- 一 エンジュ
- 一 桐 薪、木炭、需要最モ廣シ
- 一 ムク 櫛材トナル
- 一 ムロ 水桶ニスレハ耐久ナリ木片ヲ蒸焼シテ蚊ヲ驅除ス
- 一 ウルシ 效用費セス
- 一 ニレ 皮ハ染料トナル
- 一 センダン
- 一 アコヤカキ
- 一 桑 戸柵面板ニ使用シテ最モ佳ナリ
- 一 ニハトコ
- 一 ト子リコ イボタロヲ生スイボタロハ物品ノ色澤ヲ出ス
- 一 椿
- 一 柳
- 一 タモン
- 一 アカ子ジ
- 一 アヤ子リ
- 一 ミスキ 櫛寸軸トモナル
- 一 シキビ

- 一 サイモリ
- 一 白フナ 操物ニ適ス
- 一 檜 用途最モ廣シ
- 一 アカツゲ 印刻材ニ適ス
- 一 白ツゲ 同
- 一 青ツゲ 同
- 一 ウツゲ 同
- 一 シデ 櫛寸ノ軸ニ適ス
- 一 ハコキ 同
- 一 タニアサ 同
- 一 ウリキ 同
- 一 ヤナシ 果樹類 但建築工業用材ニ適スルモノハ特ニ其效用ヲ記ス
- 一 ミツナゴ
- 一 ケンボナシ
- 一 カラナツメ
- 一 ヤマナシ
- 一 楓 用途枚舉ニ不遑
- 一 コウバツ
- 一 ヒロ
- 一 ハコヤ
- 一 コブシ
- 一 ミズキ
- 一 サナヤゴ
- 一 ハナゴ
- 一 コメナ
- 一 ホイチヨサクラ
- 一 ムラス、メ
- 一 ツクバ子
- 一 タカリゴミ
- 一 シヒ
- 一 ナツメ

- 一 ナハシログミ
- 一 ヤマモ、
- 一 エツキ
- 一 スモ、
- 一 サ、クリ
- 一 サンシヨ
- 一 クルミ
- 一 ジャクロ
- 一 カヤ
- 一 トチ

漢藥種

- 一 トベラ
- 一 モクケ
- 一 子ツミキ
- 一 コイシヤウ
- 一 トンキンニッキ
- 一 ウヤク

水種ニ製シ特ニ久シキニ  
堪ユルノ效アリ

- 一 アンズ
- 一 アンラジユ
- 一 モ、
- 一 ユウ
- 一 梨
- 一 リンゴ
- 一 栗
- 一 柿
- 一 ギンナン (銀杏)
- 一 ミカン

洋種  
土中又ハ土付ノ處ニ使用シテ特ニ效アリ  
産額最モ多シ

- 一 レンギョウ
- 一 クチナシ
- 一 サンシヨ
- 一 木香花
- 一 ムクロシ
- 一 フシ

- 一 コカ子イニジュ
- 一 唐クチナシ
- 一 ト子リコ
- 一 イボタン
- 一 サンザン
- 一 イチジク
- 一 カミナリサ、ギ
- 一 ロウバイ
- 一 格南天
- 一 リウガンニク

藤類

- 一 モクツ
- 一 マタ、ビ
- 一 アキビ
- 一 サルトリハラ
- 一 ホソフヂ
- 一 ラニフヂ

- 一 ハセウルシ
- 一 ゴシユ
- 一 キワダ
- 一 ニハトコ
- 一 ヤマサンシヨ
- 一 白ロウバイ
- 一 ボタン
- 一 ボダイジュ
- 一 イボタ
- 一 クコ

- 一 フヂ
- 一 シラクチフヂ
- 一 アカフヂ
- 一 ワタフヂ
- 一 クマフヂ
- 一 クロガ子フヂ

一イバラボタン

一葛藤 根ハ葛ヲ製出シ 蔓ハ織物ヲ製スルコトヲ得

雜木

一シンジユ

一ウメモトキ

一シロキ

一ホソ

薪炭ニ需要最モ多シ

一ハキ

一モクセイ

一ミツハ

一白雲水

一マンリヨ

一イセビシヤゴ

一コウメ

一リウカキウメ

一ビジローヤナギ

一マガタマ

一ムベ

一コモチ

一ヒトツバ

一カイトーサクラ

一サル

一ハリノキ 木履用材

一フ克蘭キ 葉ハ染料トナル

一タニンボ 藥種

一シグ子

一モクセ

一カツラ

一ハナノキ

一メタラ

一紫コブシ

一ニシキギ

一ハス

一ヤツデ

一カンボク

一シユロ

一白茶山吹

一ハニシ

一南天

一タルマ

一トペラガシ

一アヂサイ

一ユヅリハ

一クサキ

一コトウ

一スヲギ

一モクレンソ

一クハヅミ

一茶ノ木

一シナ

一ニデ

一スヽカケ

一ハゼウルシ

一ベヽノキ

一カラマツ

一タラヨ

一サツキ

一ヲカタマ

一月季花

一エンコウスギ

一テンツキ

一ハイノ木

一ニンシン木

一ラーアホカシ

一アブラキリ

一モチツヽシ

- 一タマユ
- 一サビタ 多クパイブヲ製ス
- 一トロ、バキ 皮ヨリ製紙用ノ糊ヲ製出ス
- 一アソフキ
- 一將軍木
- 一コムラサキ
- 一ハコ子ウツキ
- 一ミツマタ
- 一子ズミモチ
- 一イヌマキ
- 一イブキスギ
- 一サンゴジユ
- 一クロシ
- 一サイカシ
- 一白シッコ
- 一アヲキ
- 一ビクダン 香料トナル
- 一イト
- 一ハイビク板
- 一草イス
- 一ナキ
- 一アスナル
- 一コノテカシワ
- 一ボヤキ
- 一アラ、ギ
- 一マサキ
- 一楮 皮ハ紙ヲ製ス産額多ク

岐<sup>△</sup>阜<sup>△</sup> 由來同縣ハ昆蟲ノ研究盛ナル所ニシテ本部中其出品ヲ見タルハ獨リ同縣ノミ而シテ今回可兒郡農會ノ出品ニ係ル松毛蟲、松蜂及之ニ附帶セル益蟲ノ如キ又養老郡昆蟲學會ノ出品セル穀斗科植物ノ害蟲及益蟲ノ如キ其出品數多カラスト雖トモ害蟲ノ發育及加害狀態

ヲ表示シテ遺憾ナク加之害蟲ニ添フルニ害蟲撲滅ニ有效ナル寄生蟲、寄生菌ヲ以テセルハ害蟲及益蟲標本トシテ其用意ノ周到ナルヲ見ルニ足ル殊ニ前者ノ出品ハ其化成ノ順序ヨリ加害ノ狀態迄一トシテ漏ス所ナク其有益ナル參考タルノミナラス標本トシテ殆ント完全ニ近シト云フヘシ今左ニ解説書ヲ抄録シテ參考ニ資ス

又坪井伊助出品ノ竹材標本ハ原種變種及其他ノ變形物ヲ併セテ合計一百種ノ多キニ及ヒ本邦産竹材ノ種類ヲ知得スルニ便ナルノミナラス同人多年蒐集ノ苦心ヲ認ムルヲ得加フルニ之ヲ館外ニ植栽シテ其現物并ニ生育ノ現狀ヲ觀覽セシメタルハ陳列上ノ一大進歩ニシテ其熱心洵ニ多トスヘシ殊ニ數十年來竹ニ關スル實驗及ヒ調査研究ハ最モ世人ノ參考ニ資スヘキ好材料ニシテ此等篤志ノ人士ノ益々輩出センコトヲ望ム今同人カ出品ニ付テ檢スルニ建築用器具用其他ノ裝飾用ニ供スル竹種ノミナラス造林若シクハ保護等ニ關スル標本其他人爲又ハ天然ノ變形物ヲモ栽培シ以テ普ク竹ニ對スル研究ノ資料ヲ提供セリ而シテ之レ等百種ノ竹ヲ分類スルトキハ概テ左ノ如シ

左ニ記載セル種類トハ禾本科ニ屬スル苦竹屬、矢竹屬、笹屬、鳳凰竹屬中ノ一種ト認メ得ラル、モノヲ掲ケ變種欄中ニ掲ケシモノハ必スシモ植物學上ニ謂フ處ノ變種ノミヲ掲ケシニ非スシテ一竹林中偶然ニ生セシ珍奇ノモノ或ハ未タ種、變種ノ判明セサルモノ等ヲモ此分類中ニ加ヘタリ而シテ是等造林ノ方法ハ第四回内國勸業博覽會審査報告中ニ詳説セラレタルヲ以テ茲ニ再録セス

竹ノ種類

またけ  
豊後笹  
寒竹  
すゞ竹

はちく  
矢竹  
鳳凰竹  
ねざ

江南竹  
業平竹  
臺山竹  
寒山竹

四方竹  
女竹  
くまざ

以上十五種

變種

千鳥斑竹  
佛面竹  
金明竹  
實竹  
斑紋四方竹  
布袋竹  
麒麟竹  
豊後斑竹  
稚兒笹  
神代竹

雨斑竹  
龜甲竹  
碧玉間黄金竹  
似黒竹  
四季竹  
縞葉ノ苦竹  
布麒麟竹  
養老竹  
翁笹  
翁寒竹

夫婦竹  
星野白皮竹  
金明苦竹  
皺竹  
紺縞笹  
夜刃竹  
なよたけ  
大名竹  
通絲竹  
鳳翔竹

飛布斑竹  
尾張白皮竹  
松島實竹  
日向斑竹  
鳥取黒竹  
箱根竹  
斑紋寒山竹  
姫嫡笹  
翁通絲竹  
鳳尾竹

すおふ竹  
淺黄縞笹  
支那斑竹  
幣軸竹

小隈笹  
曙笹  
金山竹  
母子根竹

伊豫籠  
金竹  
筋布黒竹  
小寺笹

かむろざ  
土佐斑竹  
違ヒ布黒竹  
黒竹

以上五十六種

人爲ニ依リ變形シタルモノ

羅漢杖竹  
人爲横根鞭

人爲平竹  
人爲起根鞭

人爲三角竹

人爲四角竹

以上六種

菌類ノ寄生其他ノ原因ニヨリ變形シタルモノ

根曲リ若竹  
雪やけ苦竹  
節自然枯

根曲リ淡竹  
雪やけ淡竹  
斑紋 江南

苦竹うきす  
煤竹自然枯  
臥龍竹

淡竹うきす  
蔓自然枯

以上十一種

造林法ニ關シタル標本

竹苗

筍植竹

川越シ法

低地植竹法

移植經過標本

輸送中保生日數試驗標本

自然枯實生



早出江南竹

以上八種

保護法ニ關スル標本

雪よけ法

以上一種

開花自然枯ノ標本

淡竹ノ自然枯

雲斑竹ノ自然枯

黒竹ノ自然枯

以上三種

以上百種ノ蒐集ハ實ニ勉メタリト云フ可シ而シテ其栽培ノ方法ヲ研究シ良種繁殖ヲ企圖スルカ如キハ目下之カ研究者未タ多カラサルノ折柄其公益實ニ大ナリト云フヘシ同人カ第四回内國勸業博覽會ニ於テ褒狀ヲ得今回亦一等賞ヲ受領セシコト偶然ニ非ラサルナリ尙ホ其解説書中本出品ノ目的ヲ抄録スレハ次ノ如シ

岐阜縣揖斐郡本郷村坪井伊助出品竹材標本解説書抄録

審査請求ノ主眼

(一) 礫質砂性ノ土地ニ於テハ鬚根ノ伸張短ク且ツ毛根ノ發生少ナキヲ以テ風雪ノ爲メニ害ヲ被ムルコト尠ナシトセス故ニ斯クノ如キ土地ニハ粘土ヲ撒布シテ砂礫間ヲ填充セシメ一方ニハ其被害ヲ防キ他方ニハ造林ヲ容易ナラシメタルコト

(二) 竹木混合林ニ於テハ樹木ヲ三四年間漸次伐採シ且ツ毎年七月雜草ヲ刈除シテ竹材ヲ保護愛撫シ樹木ヲシテ無益ニ營養分ヲ吸收セシムルハ竹林ノ經濟ニ反スルコトヲ證明シタルコト

(三) 竹木混交林ニシテ樹木多ク竹却テ少ナキトキ單ニ樹木ノミヲ伐採シテ竹林ヲ造ラントセハ少數ノ竹竿ハ風ノ爲メニ動搖シテ根ノ伸張力ヲ弱クシ又日光直射ノ爲メ竹幹ヲ弱クシ且ツ其固有ノ色ヲ淡紅色ナラシメ大ニ發筍ノ度ヲ減スルモノナルヲ以テ此場合ニハ樹竹ヲ擧テ皆伐シ更ニ新竹ヲ發生セシムルノ有利ニシテ且造林ヲ速カナラシムルコトヲ實驗シタルコト

(四) 始メテ造林セントスル時竹幹ヲ存シタル儘雨中ニ移植スルヲ良法トナスコトハ日本竹譜其他口碑ニ喧傳スル所ナリト雖トモ粘土質ノ土地ニ於テ此法ヲ施行セハ濕潤ノ爲メニ反ツテ鞭根ヲ腐敗セシメ發筍セサルコト多シ出品人ハ多年ノ經驗ニ於テ新タニ造林スルノ場合ニハ竹幹ハ之レヲ採伐シテ用材ニ供シ單ニ其株ノミヲ掘リテ晴天ニ之レヲ移植シ若シ乾燥ニ過クルノ厭忌アルトキハ水ヲ撒布シ且ツ根ノ附近ニ麥稈類ヲ蔽フテ過度乾燥ヲ豫防スレハ必ス活著ヲ誤ラスシテ早ク林相ヲ呈スルヲ發見シタルコト

(五) 古來竹ノ移植ハ五月十三日ヲ以テ最好時期ナリト稱スルモ出品人實驗ニヨレハ江南竹ハ三月中淡竹ハ四月中苦竹ハ五月中ヲ良シトス之レ已ニ發筍ノ時期ナルヲ以テ鞭根ノ腐敗ニ先シ新竿ヲ得ルヲ以テ活著ヲ誤ラサルモノナルコト

(六) 竹根ヲ以テ苗ヲ造ルニハ冬季鞭根ノ切口ニ墨ヲ塗リテ植ウルヲ可トスル旨或書ニ散見シタリシモ冬季鞭根ヲ植ウレハ多ク其切口ヨリ腐敗シ易クシテ發筍スルコト少ナク加フルニ其幹軟弱ニシテ生育不良ナリ故ニ竹根ヲ以テ造林セントセハ前項ニ記載シタル時期ヲ撰ミテ鞭根ヲ横臥セシメ其上ニ一二寸厚サノ土ヲ被ヒ麥稈等ヲ撒布シテ過度ノ乾燥若クハ急劇ナル寒暑ノ爲メニ枯死又ハ腐朽ヲ防キ漸ク新竿トナリタルトキハ三四枝以上ヲ切斷シテ風ノ爲メニ動搖セラレ、ノ害ヲ避ケシムルノ良法タルヲ實驗シタルコト

(七) 新タニ造林セントスル場合ニ於テハ一反歩ノ面積ニ何程ノ種株ヲ要スルヤハ出品人ノ經驗ニ於テハ約一百箇ノ種株ヲ以テ適度ナルヲ知レリ徒ラニ多キヲ植ウレハ兩三年ノ間ハ林相可ナルカ如キモ已ニ四五年目ニ至レハ鞭根錯雜交叉シテ竹幹細小トナリ又之ニ反シテ餘リニ少數ノ種株ヲ植ウルトキハ風ノ爲メニ搖亂スル所トナリ發育不良ナルコトヲ實驗シタルコト

(八) 新タニ造林セントセハ先ツ其地質ヲ能ク調査シ肥沃ナル土地ニハ苦竹、江南竹ノ如キ大竿トナルヘキモノヲ種植シ瘠地ニハ鈎竿又ハ洋杖等トナルカ如キ種類或ハ白皮竹ノ如キモノヲ栽植スルハ經濟上最モ注意スヘキコトナルヲ以テ特ニ實驗セシコト

(九) 竹ハ其土地ノ肥瘠ヲ論セス凡テ地下三尺ヨリ一丈マテ位ニ清水アレハ肥料ヲ要セスシテ能ク發育スルモ若シ三尺ヨリ近ク水氣アルトキハ鞭根ヲ腐敗セシメテ害ヲ與フ又

新竿ノ頃霖雨ノタメ地上ニ水ノ湧出スルカ如キ地勢ニアリテハ排水溝ヲ設ケテ之レヲ他ニ誘出スルニ非ラサレハ大ニ其發育ヲ害スルモノナルコトヲ實驗シタルコト

(十) 廣漠タル原野ニ於テ新タニ造林セントセハ先ツ其地勢ニ應シ防風ノタメ松、杉等ノ樹木ヲ植ルヲ必要トス之レ其風害ヲ被ムル方面ノ竹ハ風ニ抵抗センカ爲メニ新竿ノ節自然ニ凸クナリ用材トシテ其品質劣悪ナルモノトナルコトヲ實驗シ得タルコト

(十一) 常ニ水害ヲ被リ竹ノ枯死シ易キ土地ニ在テハ反別一畝歩毎ニ方一間高三尺位ノ盛土ヲ二三箇所ニ設クルヲ可トス之レ水害ニヨリ平地ノ竹根悉ク腐敗スルモ盛土ノ部ナシタルコト

(十二) 濕地ニ造林セントセハ四間目位ニ幅適宜ノ排水溝ヲ設クルハ經營上必要缺クヘカラサルコト

(十三) 石礫乾燥ノ土地ニ造林セントセハ其移植スヘキ株數ニ應シ三尺位ノ穴ヲ掘リ之レニ客土ヲ入レ移植スルトキハ乾燥ノ爲メニ枯死スルノ害ヲ除キ得ヘキコト

(十四) 竹林ノ土質乾燥ノ地ナルトキハ藁、麥稈、雜草等ヲ平地ト稱シテ地上全面ニ撒布シ又濕地ナルトキハ鹿ノ子置ト稱シテ點々各所ニ散置スヘシ之レハ過度ノ乾燥ヲ防キテ濕氣ヲ保持シ一ハ乾燥ナラシムルノ利益アリ且之等藁、麥稈ノ類ハ安全ナル竹林ノ好肥料ナルヲ實驗シタルコト

(十五) 竹ハ四切り三置ト唱ヘ四年子ヲ伐採スルヲ可トス故ニ發筍後七月中黒竹ハ朱墨其  
他ノ竹ハ墨ニテ干支ヲ書シ以テ其發生ノ年ヲ知ラシメ且ツ之ヲ書スルニハ亂雜ニ流レ  
ス必ス或一方面ヨリシ竹林ノ一方ニ立チテ其年ノ發生竹ヲ及フ限リ一目シ得ヘキ様書  
スルハ伐採ノ際非常ニ便利ヲ感スルモノニシテ作業上必要ナルコト

(十六) 古書ニ蕎麥、穀、麥、稈、等ハ竹類ニ有害ナリト記スルモノアルモ出品人ハ多年之ヲ實  
驗ニ徴シテ毫モ何等ノ害アルヲ認メサルノミナラス却テ廉價ナル好肥料ナルヲ知リシ  
コト

(十七) 筍發生ノ頃卷葉ノ頭ヨリ白キ粉狀ノモノ出ルアルヲ見ル之レ裸蟲ノ侵入シタルモ  
ノナリ此際利刀ヲ以テ輕ク其部分ヲ削リ採リ現蟲ヲ捕殺スヘシ若シ其時期ヲ誤リ少シ  
ニテモ害蟲ノ筍身ニ蝕入スルアレハ腐敗スルモノナルヲ以テ直ニ掘リ取り食料ニ供ス  
ヘシ又筍ノ側面ヨリ蝕入スルモノハ假令其筍生育ヲ持續スルモ決シテ完全ノ發育ヲナ  
サルモノナルヲ以テ之等モ亦掘リテ食用ニ供シ現蟲ハ必ス捕殺シテ後日ノ害ヲ除去  
スヘシ又新竿ノ節部ニ於テ異狀ヲ呈スルモノハ多ク害蟲ノ被害ナルヲ以テ梢頭ヨリ漸  
次切り降りテ現蟲ヲ殺スヘシ該蟲地ニ下リテ蛹ト成リ終ニ蛾トナリタルモノハ亞砒酸  
五匁ニ黒砂糖三十匁ヲ酒ニ溶解シ此液ヲ所々ノ竹幹ニ塗抹シテ之ヲ誘殺スヘシ又筍ニ  
別ニ何等ノ異狀ヲ見サルモ發生俄カニ止ムルモノアルヲ見シ之ハ針金蟲ト稱スル米搗  
蟲ノ幼蟲其根部ヲ侵シタルモノナルヲ以テ筍ハ食用ニ供シ現蟲ハ捕殺スヘシ此等竹類

ノ害蟲驅除法ハ何人モ未タ之ヲ講シタルモノアルヲ聞カス出品人ハ多年驅除豫防ニ力  
ヲ致シ大ニ發明スル所アリタリ現今ニ於テハ自己ノ竹林中ニ此被害ヲ見サルニ至レリ  
因テ其産額ヲ増加スルニ至リシコト

(十八) 兎害并ニ盜難ヲ豫防スルカ爲メニ石灰ヲ水ニ溶解シテ筍ニ塗布スルヲ可トス此ノ  
如クスレハ兎ハ其異様ナルニ驚キテ之ヲ食害セス又塗抹シタル石灰ハ容易ニ脱落セサ  
ルヲ以テ盜難ヲ防除シ得ヘキコトヲ實驗シタルコト

(十九) 松島ノ實竹ヲ移植研究シテ其竹相ニヨリ別ニ實竹ナル異種ノモノアルニ非ス唯タ  
鞭根ノ隆起シタルモノナルヲ發見シ普通ノ竹林ニ於テ其鞭根ニ人工ヲ加ヘ實竹ヲ得ル  
ニ至リシヲ實驗シタルコト

(二十) 人爲ヲ以テ竹ノ生育シタルモノヲ方形トシ或ハ三角形トシ以テ竹ノ用途ヲ廣メタ  
ル事

(二十一) 溝渠ヲ隔テタル他ノ一方へ竹ヲ移植セントスル場合ニ於テ鞭根ヲ割竹ノ上ニ横  
臥セシメ其根先ニ竹筒ニ土ヲ入レタルヲ嵌メ漸々之ヲ延引シテ容易ニ溝渠ヲ超越シ他  
ノ一方ニ其竹ノ蔓延ヲ自由ナラシメ以テ移植ノ勞費ヲ節約スルノ法ヲ發見シタルコト  
(二十二) 平坦ノ竹林ニ於テ長キ鞭根ヲ得ル能ハサルモ出品人ハ人工ヲ加ヘテ之ヲ作り隨  
意ノ長サニ延長セシムルノ方法ヲ發明シ以テ其用途ヲ擴メタルコト

(二十三) 新ニ山林原野ヲ開墾シテ竹林ヲ造リタルトキハ其初年餘リニ廣漠ニ失シ却テ雜

草ノ繁茂ヲ容易ナラシムルカ故ニ斯クノ如キハ先ツ芑科植物ヲ其株間ニ播種シ其花時ニ際シ之レヲ刈リ取り一日間乾燥シテ各所ニ埋メ二年目四月ニ至リ竹園中ヲ耕耘シ竹根ノ伸張シタル尖端ヲ見計ラヒ之レニ符標ヲ爲シ其所ニ前年ノ如ク復タ芑科植物ヲ肥料トシテ埋メ込ムトキハ竹ノ生育良好ニシテ早ク林相ヲ爲スニ至リ作業上極メテ利益ナルヲ實驗シタルコト

(二十四) 世間需用ノ最モ多キ苦竹、淡竹ノ如キモ之ニ淘汰ヲ加ヘテ其善良ナル種類ヲ保育シ不良ナルモノヲ伐採スルハ最モ造林上經濟上必要ナル事業ニシテ而カモ最モ效果多キ事ナリ然ルニ世人未タ之レニ著眼シテ撰伐スル者アルヲ見ス出品人ハ夙ニ茲ニ意ヲ用ヒ林中根曲竹或ハ竿ノ表皮ニ堅線ノ皺アルモノ或ハ比較的ニ竹幹ノ下方ヨリ枝ノ生スルモノ等ヲ伐採シ表皮滑カニシテ節部低ク上部ニ僅少ノ枝アルモノノミヲ保育シ大ニ竹林ヲ改良シテ模範ヲ近隣ニ示シタルコト

(二十五) 竹ニ「うさす」ト稱シ幹質粗ニシテ何等ノ用材トナス能ハス唯燃料トナスヨリ外ナキモノアリ世人未タ之レカ原因ヲ探知シタルモノアルヲ聞カス出品人ハ幾多研究ノ結果林中鬚根錯雜混交シテ土壤稀少トナリ營養不充分ノタメ斯クノ如キ不健全ナルモノヲ生スルヲ知り淡竹ニ就テハ未タ完全ナル成蹟ヲ得ル能ハスト雖トモ苦竹ニ於テハ之ヲ肥沃ナル畑地ニ移植シテ栽培セハ僅カニ五六年ヲ出テスシテ舊ニ復シ發筍スルヲ證シ得タルコト

(二十六) 斑紋江南竹ハ夏季ニ其他ノ斑竹類ハ降霜期ニ斑紋ヲ生シ且ツ江南竹、寒山竹、夜叉竹ハ雲紋竹ノ如ク普遍ナル能ハスシテ其土地氣候等ニ依リテ斑紋ヲ生セサルコトヲ研究シタルコト

(二十七) 岐阜縣飛驒國及ヒ東北地方ノ人士ハ寒氣ノ爲メニ竹類ハ其地方ニ生育スル能ハスト稱スト雖トモ出品人ハ各地視察ノ結果岐阜縣飛驒國大野郡高山町ニ於テモ小竹ノ生育シツ、アルヲ見タリ又青森縣青森市柳町田川氏ノ邸ニ淡竹ノ細竿アルヲ知レリ且ツ巖手縣盛岡市肴町巡查番所ノ邊リニ業平竹ノ在ルヲ實見シテ決シテ竹カ該地方ノ寒氣ノ爲メニ生育セサルニ非ラスシテ積雪ノ爲メニ壓迫セラレ終ニ大竿ニ至ル能ハス隨ツテ竹林カ一般ニ行ハレサルモノナルヲ知レリ若シ此等ノ地方ニシテ竹卷ノ法ヲ施シ雪防ヲナサハ彼ノ石川、福井ノ各縣并ニ山陰諸國ノ如ク竹林ノ利益ヲ得ルニ至ルコトヲ知リタルコト

(二十八) 草履、雪踏、下駄等ノ疊ニ南部表ト稱シテ使用セル竹皮ハ福岡縣筑後國八代郡星野村産ノ白皮竹ヲ以テ第一ナリト唱フルモ出品人ハ比較栽培ノ結果愛知縣尾張國東春日井郡産ノ白皮竹ヲ以テ之レニ優レルモノナルコトヲ知リ得タルコト

(二十九) 佐賀ノ「ちん竹」鹿兒島ノ「金竹」王佐ノ「土用竹」神戸市生田神社ノ「高麗竹」天和國達磨寺ノ「大師竹」美濃國海津郡八幡神社ノ「株竹」靜岡地方ノ「ニカコ竹」名古屋地方ノ「鳳尾竹」等ハ或ハ奇蹟的ノ話説ヲ附スルアルモ研究ノ結果孰レモ皆異名同種ノモノナルコトヲ知リ得

タルコト

(三十) 竹類ノ移植ハ發筍期ヲ以テ最モ適當ナルコトヲ示サン爲メニ種々研究ノ結果淡竹ノ筍ノ四尺以上伸長シタルモノヲ移植シ其發育ノ状態ヲ示シ之レヲ立證セシコト

(三十一) 嵯峨竹或ハ薄雲竹ト稱シ苦竹又ハ淡竹類ニ雲ノ如キ淡黒色ノ附著シタルヲ世人大ヒニ愛翫シテ之レヲ生花器等ニ用フル者アルモ此雲紋ハ密生ノ竹林ヲ秋期過度ニ間伐シ降霜ノ頃日光ヲ直射セシムレハ漸次表皮ニ淡黒色ヲ呈セシメ得ルコトヲ實驗シタルコト

(三十二) 明治二十九年九月滋賀縣近江國琵琶湖ノ水量大ヒニ嵩ミ爲メニ其附近ノ竹林多ク枯死シタルト岐阜縣下揖斐川沿岸ノ竹林ニ於ケル沈澱土ノ爲メニ腐敗シタルヲ見テ低地竹林法ヲ發明シ且ツ實驗シタルコト

(三十三) 目今全國各所至ル處ノ淡竹林大ヒニ花咲キ實ヲ結ハスシテ枯死スルモノアリ是等ハ自然枯ト稱スルヲ可トスヘキモくまざ、屬ノ竹類ハ花咲キタル後チ實ヲ結フヲ以テ此ハ自然枯ト區別シテ自然糲ト稱スルノ適當ナルヲ知り得タルコト

(三十四) 古來一概ニ自然枯ト稱スト雖トモ其種類數アリテ彼ノ三雄蕈ノ花開キ結實セサル自然枯ハ之レヲ豫防スルノ法ナキモ節自然枯、煤自然枯、蔓自然枯ノ三種ハ傳染的ノモノニシテ之レカ驅除法アルヲ知り得タルコト

(三十五) 淡竹類自然枯ハ三十年或ハ六十年ニシテ花咲キ枯死スル由日本竹譜等ニ記載シ

アルモ出品人ノ古記録等ニ依リテ調査シタル處ニ於テハ目今全國至ル所ニ蔓延シツ、アル自然糲ノ如キハ天明以後始メテノモノニシテ今ヲ去ルコト一百年以前ナルコトヲ知り決シテ規則正シク三數ヲ以テ進ムモノニ非ラサルコトヲ知りタルコト

(三十六) 自然枯ハ竹根交叉錯雜シテ營養不充分トナリタル爲メニ生スルモノ、如ク傳フルモ畑地等ニ在ル竹苗ニモ往々自然枯ニ罹ルモノアルヲ見ル故ニ自然枯ハ單ニ營養不良ヨリ來リタルモノニ非ラサルヲ知り得タルコト

(三十七) 自然枯ハ皆傳染性ノモノ、由古説ニアリト雖トモ同シ鞭根ヨリ生シタル竹幹ニテ或ルモノハ健全ニ或ルモノハ病的トナリ甚タシキハ一竿ニシテ半面ノ枝葉ハ健全ニシテ他ノ半面ノ枝葉ハ同病ニ罹レルモノアルヲ以テ見レハ必ラスシモ傳染性ナリト云フヲ得サルヲ知りタルコト

(三十八) 自然枯ノ兆候ハ秋期土用ノ頃ヨリ葉ニ淡紅色ヲ呈シテ蒼ヲ生シ初冬頃枝頭ニ三莖ノ花ヲ開ラキ寒中ハ一時之レヲ中絶シテ翌年三月頃ニ至リ亦滿枝開花シ初夏ノ頃先ツ枝ヨリ漸次竿ニ及ヒテ枯死スルニ至ル又其枯死シタル竹林ヲ皆伐スレハ翌年細小ノ竹發生スルモ亦漸次自然枯ニ罹リテ枯死スルモノナルコトヲ知り得タルコト

(三十九) 古來竹ニ雌雄ノ別アリト稱シ竹竿最下ノ枝一條ノミナルヲ雄トナシ二條アルヲ雌ト唱ヘ雌ハ能ク筍子ヲ發生スト稱スルモ普通ノ竹ハ一條ノ鞭根ニ所謂雌雄混生スルモノニシテ彼ノ鳳凰竹、すゑ竹等ノ如ク各根塊ヨリ發生スルモノニ非ラサルヲ以テ決

シテ何レノ竿カ能ク筍子ヲ發生シ得ルヤノ如キハ知り得難キ所ナリ然シ低根竹ハ上根竹ヨリ勢力旺盛ナルヲ以テ筍子ノ際ニ其尖頭ノ細キヲ避ケテ巨大ナルモノノミヲ選ミテ之レヲ保育セハ種竹ニ適スルコトヲ知り得タルコト

(四十) 米國人ウエーヤチャイルドノ依囑ニヨリ最モ輕便ニシテ永ク輸送ノ日數ヲ經過スルモ枯死セサル法ヲ百方試驗シテ其結果株ヲ函詰メトナセハ三十有餘日ヲ保生セシメ得ルコトヲ實驗シタルコト

(四十一) 前各項研究ノ實績ヲ示サンカ爲メ第二部第十類ニ於テ竹林ニ關スル施業ノ額面ヲ出品シ造林ノ經過竹林ノ保護造苗ノ方法自然枯ノ發生經過ヲ一目ノ下ニ明カニシ第二部第十一類ニ於テ筍梢切鎌ヲ出品シテ竹林ノ作業上ニ裨益セントシ猶ホ同部ニ(六月以後)養蟲并ヒニ養蟲器ヲ出品シ之レニ被害ノ狀況圖及害蟲ノ標本ヲ添出シテ世人ノ參考ニ資シタルカ如キハ本出品物ト相關聯シテ出品人カ竹林ノ改良ヲ圖リ其培養法ヲ講究シタルノ結果ナルヲ以テ該出品物モ併セテ審査セラレ度キ事

(四十二) 竹類ハ殆ント東洋ノ特產物ニシテ殊ニ温帶圈ニ位スル我日本國ニハ其種類ノ多キ他國ノ容易ニ比肩スル能ハサル處ナリ然ルニ我國ニ於テ未タ之レヲ比較栽培ヲナシ以テ學者ノ研究ニ資セントスルモノアルヲ見ス彼ノ歐米ノ學者ニ在テハ遠ク資料ヲ南洋諸島ヨリ延テ東洋ノ諸國ニ求メ熱心之レカ研究ニ從事スルモノアルハ出品人ノ平素遺憾トスル所ニシテ出品人カ多年東奔西走之レカ講究ニ力ヲ盡シ比較栽培以テ學者ノ

研究ニ資シ又一方ニ在テハ其栽培法ヲ講究シテ品質ヲ改良シ本邦特有ノ竹材ヲ多量ニ產出シ且ツ其用途ヲ擴張センコトハ出品人カ日夜注意ヲ怠ラサル所ナリ要スルニ出品人カ本出品ノ趣旨ハ竹ノ產出費ヲ節減シ且ツ諸般ノ用途ニ適合セシメ本邦ノ特產物タル竹材ノ供給ヲ豊カナラシメントスルニアリ故ニ本出品ノ趣旨ハ竹ノ種類ヲ紹介スルニアラスシテ其栽培法并ニ用途ヲ内外ニ知ラシメ併セテ斯業發達ノ資ニ供セントスルニアルヲ以テ特ニ此點ノ審査ヲ請求セントス

岐阜縣可兒郡可兒郡農會長水谷弓夫出品害蟲標本マツケムシ解説書抄録

發生經過 鱗翅類蛾ニ屬シ松樹ノ一大害蟲タリ其發生甚シキトキハ松林ハ素ヨリ針葉樹ハ凡テ其害ヲ被ルニ至リ滿山枯木ト爲スコトアリ年一回ノ發生ニシテ冬期ハ幼蟲時期ニシテ樹皮ノ間ニ潜伏シ翌春出テ、松葉ヲ食害シ四眠四起ノ後八月上旬繭ヲ造リ蛹ト爲リ成蟲ト變ス老成ノ幼蟲ハ頗ル大ニシテ誤テ該蟲或ハ繭ニ手ヲ觸ル、トキハ爲メニ害毒ヲ被ルコトアリ

驅除方法 幼蟲ノ時期共同シテ之ヲ捕殺スヘシ又剪ニテ切ルモ頗ル簡便ナル驅除法トスコトアリ 寄生蜂ハ努メテ之ヲ保護スヘシ又暫時ニシテ微菌ノ發生蔓延スルトキハ一時ニ斃死スルコトアリ

標本順序 一、卵塊 二、二眠起ノ幼蟲 三、三眠起ノ幼蟲 四、老成ノモノ 五、蛹 六、繭 七、成蟲雄蛾 八、同雌蛾 九、寄生蜂 十、寄生蜂ノ爲メ斃レタル幼蟲 十一、微菌ノ爲メ斃レタル

ル幼蟲 十二被害木ヲ示セリ  
效用 害蟲ノ發生經過被害ノ狀況ヲ一函中ニ納メ一日衆人ニ害蟲ノ恐ルヘキ益蟲ノ必要ヲ知ラシメ昆蟲講話ニ用ヒ時期ノ如何ニ關セズ發生經過ヲ見ルヲ得一般人民ノ念頭ニ昆蟲志想ヲ注入スル等效用擧テ數フヘカラス  
審査請求ノ主眼 卵塊ヨリ成蟲ニ至ル發生經過ヲ一モ洩サス加フルニ益蟲即チ寄生蜂并ニ該蟲ノ爲メ斃レタル幼蟲及微菌ノタメ斃レタル幼蟲迄有ラユル該蟲ト關係ヲ有スルモノハ凡テ之ヲ加ヘ森林ノ一大害蟲ニシテ被害最モ多キヲ以テ森林害蟲トシテ他ニ其比ヲ見ス標本トスル最モ必要アリ是等審査請求主眼ナリ  
巖手縣 朝倉景弼ノ出品材鑑百三十九種ハ其製作一特色ヲ有シ材質調査上著シキ缺點ナシト雖モ概シテ其原材料ノ適良ナラサルハ惜ムヘシ然レトモ其採集ノ勞ハ多トセサルヘカラサルナリ  
鳥取縣 石谷源藏ノ出品材鑑ハ其製作識者ノ満足ヲ得ル能ハスト雖トモ其樹種百五十種ノ多數ヲ集メタル勞少シトセス且ツ之ヲ以テ其如何ナル樹種カ同縣下ニ生育セルカヲ知ルヲ得ヘシ殊ニ各樹種ニ付キ其材種效用ヲ調査セルハ大ニ賞スルニ足ルナリ左ニ參照ノ爲メ同人ノ解説書ヲ抄出ス

鳥取縣 八頭郡智頭村石谷源藏出品木材標本解説書抄録  
製造品ノ種類及效用

材鑑ノ序列ハ種類ノ如何ヲ問ハス木ノ名稱ニヨリいろは順ニ第一號第五百十號ニ及フ故ニ樹種ノ解説モ材鑑ノ順序ニ依リ之ヲ叙ス

いぬつけ、常綠灌木ニシテ材ノ大ナルモノハ印材トシ小ナルモノハ夏蠶ノ簇ニ代用ス  
いもぎ、落葉喬木ニシテ材ハ白色ナリ燐寸ノ軸木トナシ又削テ箸トナシ又木履ノ甲材トナス

すまゑ、落葉灌木ニシテ農家資テ薪材トナス

本號ハすノ部ニ入ルヘキヲ材鑑ノ組立ヲ誤リ第三次ニ列シタルヲ以テ暫ク茲ニ掲ク材鑑ノ順序ニ符ス

いたぎ、落葉喬木ニシテ材ハ書机ノ板材トナスノ外薪炭ノ資料ニ供ス

いやなぎ、落葉喬木ニシテ材質柔軟ナリ俗ニ之ヲ骨繼ト云フ木實ヲ編ミ患部ヲ卷クノ用ニ供ス

いばた、落葉灌木ナリ樹身ノ蟲ハ肺病患者ヘ服用セシメ特效アリト云フ

いわどり、落葉灌木ナリ農家資テ薪材トナス

いちよゝ、落葉喬木ニシテ材質緻密滑澤ニシテ製紙乾燥板トナシ又器具材若クハ漆器ノ木地トナシ其實ハ食料ニ供ス

いねび、落葉喬木ニシテ材ハ建築材及ヒ薪材トナス

いわやまづ、落葉灌木ニシテ春期薄紫ノ花ヲ開キ賞翫スヘシ

ば、常緑喬木ニシテ材質堅緻ナリ多クハ庭園樹トナス  
 はなのき、落葉喬木ニシテ材質緻密強靱ナリ棒材トナシ其葉及ヒ皮ハ抹香ノ原料トナリ  
 又皮ヲ染料ニ供ス  
 はなさくら、落葉喬木ニシテ材質緻密ニシテ彫刻材及ヒ鏡工材又ハ建築材トナリ又皮ハ  
 テ曲モノヲ綴ルニ用フ  
 はん、落葉喬木ニシテ材ハ下駄ノ齒木又ハ薪材トナス成長速カニシテ土質ヲ撰マス能ク  
 成育ス故ニ山野瘠地ニ植ウルトキハ數年ナラスシテ土地ヲ肥沃ナラシメ又山林ノ火防  
 ニ效アリ皮ハ以テ染料トナス  
 はのき、常緑喬木ニシテ材ハ建築材又ハ棒材トナス  
 はざんきよ、落葉喬木ナリ夏時實ヲ結ヒ食料ニ供ス  
 ながき、落葉喬木ニシテ材ハ建築用トシ葉ハ殺蟲效アリ殊ニ藍ノ葉蟲ヲ驅除スルニ適ス  
 ぼだいじゆ、落葉喬木ニシテ葉面ニ實ヲ結フ資テ數珠ニ綴リ佛者之ヲ賞用ス  
 はをのき、落葉喬木ニシテ材質麗澤多クハ建具用又ハ棒材トナシ皮ハ厚朴ト稱スル藥品  
 ナリ  
 とべら、常緑灌木ニシテ材質ハ堅シ多クハ庭園樹トナス  
 とねりこ、落葉喬木ニシテ棒材トナシ山間ノ職工資テ杓子ヲ製ス  
 ぞろ、落葉喬木ニシテ材質純白燐寸軸木ニ適シ其匏屑ハ編組原料トナシ海外貿易品トナ

リ又木履甲及ヒ平茸ヲ造ル原料ニ供スヘシ  
 どが、常緑喬木ニシテ材ハ建築用材トナスヘシ  
 ども、落葉喬木ニシテ材質緻密製紙ノ乾燥板又ハ建具材及ヒ挽キ物トナシ木理皺縮スル  
 モノハ建築材トシテ賞用セラレ其實ハ食料ニ供シトチ餅ヲ作ル凶荒用トシテ數十年間  
 貯藏スルコトヲ得  
 ちしや、落葉喬木ニシテ材質強堅ナリ材ノ大ナルモノハ棒材及ヒ牛鞍トシ小ナルモノハ  
 巻曲シテ種々ノ用途ニ供ス  
 りよ、落葉喬木ニシテ材ハ建築材又ハ薪トナス春期軟葉ヲ採テ食料ニ供シ其乾燥シタ  
 ルモノハ凶年用トシテハ數年貯藏スルコトヲ得  
 ぬるで、落葉喬木ニシテ材質柔軟膨多クハ木履ノ甲材トナシ大ナルモノハ火鉢ヲ製ス秋  
 期葉ニ五倍子ヲ生ス  
 お、ばちしや、落葉喬木ニシテ材ハ堅ク棒材及ヒ鏡工用トナス  
 お、なら、落葉喬木ナリ此木ハ雪塊ノ附著セサル特質アルヲ以テ雪山中山野ヲ跋涉スルト  
 キ此木ヲ以テ足輪ヲ製ス又櫓ヲ造ル適材ナリ其他薪炭材トシ椎茸及ヒ栗茸ヲ造ル原料  
 トナレリ  
 を、だら、落葉喬木ニシテ材質輕ク棒材トシ又ハ木履甲トナス  
 ね、ばいたぎ、落葉喬木ニシテ材白シ故ニ箸及木履甲トナス



かし、常緑喬木ニシテ材質頗ル堅硬ナリ多クハ車輪、衝杵、舟楫、槌、鋸類ノ柄トナリ炭ニ製シ火力強ク又椎茸ノ原料トナス

かゝるで、落葉喬木ニシテ材ハ建築銃砲ノ臺木及ヒ器具材トナス

かつら、落葉喬木ニシテ材ハ神像ヲ造リ又鍍工ニ適シ近時ハ建築材トナス木質雪氷ノ附著セサル特效アリト云フ

かしを、落葉喬木ナリ薪炭材トナス互寒ニ當リ此木ノ杖ヲ用フレハ手指ノ凍ルヲ免ルト稱シ俗間採テ杖ヲ製ス

かうぞ、落葉灌木ニシテ樹皮ハ製紙ノ原料ナリ

かいぞを、落葉喬木ニシテ秋期實ヲ食シ又庭園樹トシテ其花ヲ賞ス

かしか、落葉喬木ニシテ材能ク水濕ニ堪ヘ建築材及土工ニ適ス俗之ヲ眠リ木ト唱フ日中ハ葉ヲ開キ夜間ハ葉ヲ閉ツ山樵ノ輩常ニ勞働時間ノ目標トス

かき、落葉喬木ニシテ材質麗妍ナリ爐縁又ハ建築材、器具材トシ其果實ハ食料ニ供ス

からかさみづき、落葉喬木ニシテ材白ク鱗寸材、白箸及ヒ棒材トナシ或ハ銃砲ノ臺木ニ供スルコトアリ

かや、常緑喬木ニシテ材水濕ニ堪ヘ基將基ノ盤ニ適シ又浴槽ノ材トナス其實ハ以テ油ヲ搾ルヘシ

かしわ、落葉喬木ニシテ材質堅ク薪炭ノ好材ナリ樹皮ヲ剥キテ漁網用ノ澁汁ヲ製ス

たにしで、落葉喬木ニシテ材質堅ク薪材ニ適シ又造葦ノ原料ニ供ス

おにくわ、落葉喬木ニシテ材ハ薪材トナス

たにまいみ、落葉灌木ニシテ秋期赤色ノ實ヲ結フ之レヲ殺蟲ノ效アリ碎粉シテ人畜ノ虱ヲ驅除スルニ用フ

だつ、落葉灌木ニシテ材ハ丸木ノ儘鳥ノ泊リ木ニ適シ花ハ藥品トナル

たら、落葉灌木ニシテ全身針ヲ生ス肥沃ナル土地ヲ好ミ生長シ春期葉芽ヲ資リ食料トナシ根皮ハ亦餅ニ製シ食料ニ供スヘシ

そーどめうつき、落葉灌木ナリ採テ薪材トナス

つばき、常緑喬木ニシテ材質堅ク印材、器具材、木槌ノ料ニ供シ實ヨリ油ヲ搾ル

つきく、落葉灌木ナリ薪材ノ外用ナシ

ねづみまの、常緑喬木ニシテ材質堅硬能ク水濕ニ堪ヘ浴槽ニ用ヒ耐久ノ功アリ其實ハ藥品ニ供ス

なゝかま、落葉喬木ナリ薪炭ノ料トナス

なつめ、落葉灌木ナリ秋期果熟ス食料トナシ又大棗ト稱スル藥品トナル

なし、落葉喬木ニシテ材ハ建築用材トナリ果實ハ食料ニ供ス

ながはやなぎ、落葉喬木ニシテ材白ク鱗寸材又ハ組板材ニ適ス

むく、落葉喬木ナリ材ハ棒トシテ貴用セラレ葉ハ彫刻物ノ艶出シニ用フ

ひくげ、落葉灌木ニシテ細梢ハ採テ行李ヲ編ミ皮ハ晒製シテ(イサキト云フ)純白トナシ用途多シ  
ひくろーしゆ、落葉喬木ニシテ材質堅ク棒材及ヒ足駄トナシ實ヨリ油ヲ採リ之レヲ金箱  
ノ墨取リニ用ヒ效アリ

うしのひたぬ、落葉灌木ニシテ材質強靱以テ玄翁ノ柄トナシ又ハ結束ノ帶トナスヘシ  
うるし、落葉喬木ニシテ材黄色ヲ帶ヒ建築材及桶樽トナスニ適ス液汁ハ即チ漆ナリ

うらじろ、落葉喬木ニシテ材堅ク建築材及薪炭トナス

うつぎ、落葉灌木ニシテ材質稍々堅ク印材及柳行李ノ縁木トシ又ハ指物用ノ釘ニ代用ス  
うりき、落葉喬木ナリ材ヲ薄片ニ割キテ編ミ笠トナシ山間ノ人ハ常ニ之レヲ冠用ス山中  
ニ入ルニ便ナリ

のぶ、落葉喬木ニシテ材白ク燐寸材トシ又下駄ノ材料トナル根皮ハ剥キテ漁網ノ澁汁ト  
ナスト云フ

くさぎ、落葉灌木ニシテ春期葉ヲ採テ食料ニ供ス其干燥シタルモノハ凶年用トシテ數年  
貯藏スル事ヲ得

くす、常緑喬木ニシテ材ハ建築用及ヒ器具材トナリ樹脂ヲ搾リ樟腦ヲ製ス

くそぶ、落葉喬木ニシテ材白ク箸及ヒ下駄ノ原料トナス

くわりん、落葉喬木ニシテ材質堅緻麗妍ナリ居室ノ飾リ木又ハ器具材トナス

くるみ、落葉喬木ニシテ材ハ多ク鴨居ニ用ヒ又銃砲ノ臺木トシ實ハ食シ樹皮ハ染料トナ

ル

くり、落葉喬木ニシテ材ハ水濕ニ堪ヘ建築用(柱土)ニ適シ鐵道枕木及鑿工材トシ又ハ椎茸

栗茸ヲ造ル原料トナリ實ハ甘味ニシテ食料ニ供ス

くわ、落葉喬木ニシテ材ハ建築用及器具材トシ葉ハ蠶育用ノ原料ニシテ又桑白皮ト云フ

藥品ヲ得

ぐみ、常緑灌木ニシテ材ハ堅ク印材ニ供システッキヲ製シ及ヒ玄翁ノ柄ニ適ス

くぬぎ、落葉喬木ニシテ材質重硬ニシテ最モ薪炭材ニ適シ皮ハ藥品又ハ染料トナル

くろまつ、常緑喬木ニシテ建築材及ヒ土中工事用ニ適シ又燃料トシテ瓦及ヒ陶器物ノ窯

ニ用フ

やまなし、落葉喬木ニシテ材ハ建築材ニ供シ其皮ハ染料トナス

やまつげ、落葉灌木ニシテ材質緻密黄色ヲ帶ヒ彫刻材ニ適ス

やぶにっけい、常緑喬木ニシテ樟ニ彷彿タル香氣アリ根皮ヲ以テ肉桂代用ノ油ヲ搾ル

やまざり、落葉喬木ニシテ燐寸材、木屐甲及ヒ障子ノ組子ニ用ヒ大ナルモノハ火鉢ヲ製ス

やまかいどう、落葉灌木ニシテ専ラ薪用トナス

やまはせ、落葉喬木ニシテ材ハ黄色ヲ帶ヒ工作用ニ適シ其實ハ蠟ヲ取り葉ハ染料ニ供ス

まいみ、常緑灌木ニシテ材質緻密彫刻材ニ適シ其實ハ殺蟲藥トナスヘシ

まき、常緑喬木ニシテ材ハ杉檜ニ亞テ建築及器具ノ材用ニ富ム

けやき、落葉喬木ニシテ材質堅緻建築材、艦船材ヲ主トシ茶盆、器具、鍍工等ノ用材トシ需要廣ク其皮ハ曲ケテ箕ヲ造ル

けんぼなし、落葉喬木ニシテ材ハ建築材トナシ實ハ酒毒ヲ消スノ效アリ俗間之ヲ服用ス  
ふくぎ、落葉灌木ニシテ一種ノ香氣アリ材ハ小楊枝トナシ皮ハ蒸藥劑トシテ打身及ヒ牛馬ノ足ノ痛ニ效アリ實ヨリ油ヲ採リ及劍ノ鏑ヲ禦クト云フ

ふじき、落葉喬木ニシテ材能ク水濕ニ堪ヘ棒材トナシ又鐵ノ臺木トシテ朽チサル效アリ  
ふな、落葉喬木ニシテ其材ヲ以テ棒材、木履ノ齒、木鍍工用材トナシ又挽キ物トナシ其他ハ薪炭ニ供ス

ふくらし、常綠灌木ニシテ材ハ專ラ薪炭材トナシ葉ハ染料トナス  
こが、常綠喬木ニシテ材ハ建築用及薪炭材トナス

こしらき、落葉喬木ニシテ材色白ク實ヨリ油ヲ搾ル其量ノ多キコト他ニ比類ナシト云フ  
こなら、落葉喬木ニシテ專ラ薪炭材ニ供シ又椎茸、栗茸ヲ造ル原料トシ皮ハ染料トス

こせぎ、落葉灌木ニシテ材質堅ク且ツ直長スルヲ以テ杖ヲ製スルニ適ス  
こようまつ、常綠喬木ニシテ材質并松ニ優リ建築材トナシ又俗間浴槽材ニ用フ

こぶし、落葉喬木ニシテ材ハ筏師ノ用フル水棹トシ又割テ箸トナシ其花ヨリ生附子ト稱スル藥品ヲ製シ又香水ヲ採ル  
こうばん、落葉喬木ニシテ材ハ堅ク薄紅色ヲ帶ヒ彫刻材及算珠ノ原料ニ供ス

あわふき、落葉喬木ニシテ材ハ鍍工材及ヒ薪材トナス

あかまつ、常綠喬木ニシテ材質黒松ニ勝リ主ニ建築材トシ又土中埋樋等ニ適シ燒窯ノ燃料トナス

あさどり、落葉灌木ニシテ葉ハ採テ茶ノ代用トシ飲料ニ供ス

あせび、常綠灌木ニシテ葉ニ苦味ヲ有シ殺蟲液ヲ製シ殊ニ菜類ノ蟲ヲ殺スニ適ス

あをき、常綠喬木ニシテ材ハ船舷ノ摺板及爐縁ニ用ヒ其他建築材トナス

あさじ、落葉喬木ニシテ其材ハ障子ノ組子ニ用ヒ其皮ハ繩ニ絢ヒ彈力アリ濕濡ニ逢フモ耐久ノ力アリ

あかめがしは、落葉喬木ニシテ材質柔軟薪材トナスノミ唯ニ葉及ヒ皮ヲ服用セハ腫物ヲ治スト云ヒ俗間之ヲ用フ

あわがら、落葉喬木ニシテ材能ク水濕ニ堪ヘ打杭ニ適シ又薪材トナス

あをばだ、落葉喬木ニシテ材ハ銃砲ノ臺木及ヒ薪材トナス

あべ、落葉喬木ニシテ材質堅硬專ラ薪炭ニ供シ樹皮ハ瓶栓トナリ又椎茸ヲ造ル原料トナル  
あさかい、常綠喬木ニシテ果實ヨリ油ヲ搾ル婦女ノ頭髮ニ用ヒテ效アリ核ハ殺蟲藥トナス

あすひ、常綠喬木ニシテ材能ク水濕ニ堪ヘ建築材及ヒ塗物ノ木地又曲ケモノヲ製ス

あづさ、方言木サ、ゲト稱ス落葉喬木ニシテ人家ノ邸内ニ植エ避雷ノ效アリト稱ス  
 さいかち、落葉喬木ニシテ其材ハ器具材及ヒ薪材トナシ葉ハ食料トナス  
 さいちん、落葉喬木ニシテ材質赤色ヲ帶ヒ俗間之ヲ土臺用材トナシ又下駄トナス  
 さっかんか、常緑喬木ナリ庭園樹トシテ其花ヲ賞ス  
 さるすべり、落葉喬木ニシテ材質堅硬米搗杵ノ頭トナシ又彫刻材、鑿工材等ニ用フ  
 さはら、常緑喬木ニシテ材質檜ニ似テ劣ル建築及ヒ器具ノ材料トナス  
 さなぎ、落葉喬木ニシテ材ハ火付キ悪キヲ以テ燃料ニ適セス皮ハ製紙用ノ糊トナス  
 さんしよー、落葉灌木ニシテ材ハ鑿工材及ヒ連木ニ用ヒ葉實トモニ食料ニ供ス  
 さかき、常緑喬木ニシテ材質温雅ナリ箸トナシ又建築材ニ供ス  
 さくろ、落葉灌木ニシテ庭園ニ植ウ其花ヲ賞シ其實ヲ食ヒ又石榴根皮ト稱スル藥品トナス  
 きりう、落葉灌木ニシテ材白ク行李ヲ組ムノ原料タリ故ニ俗之ヲ行李柳ト稱ス  
 きはだ、落葉喬木ニシテ材ハ障子ノ組子及ヒ木履甲トナシ皮ハ黄蘗ト稱スル最モ苦味アル藥品トナリ又染料トナル  
 きり、落葉喬木ニシテ材質美麗輕妙ニシテ諸般ノ器具材トナリ下駄木履ノ原料ニ供ス  
 きこく、落葉灌木ニシテ柑類ノ砧木及生搗トナス  
 ゆづりは、常緑喬木ニシテ材ハ鑿工材トナシ其葉ヲ黒焼トナシ飲用セハ酒毒ヲ消スノ效アリト云フ

ゆす、常緑灌木ニシテ材質硬ク截リモノ、臺板トシ其實ハ食膳ニ用ヒ其子實ハ藥品トナル  
 めづら、落葉喬木ニシテ材能ク水濕ニ堪ヘ棒材又ハ建築物ノ土臺トナス  
 みづめ、落葉喬木ニシテ材質緻密建築用及傘ノ柄又ハ鑿工用トス  
 みづき、落葉喬木ナリ其材ヲ以テ箸ヲ製シ又薪材トナス  
 しひ、常緑喬木ニシテ材ハ鑿工及ヒ建築材トナシ椎茸製造ノ原料トナリ實ハ食スヘシ  
 しなのがきの木、落葉喬木ニシテ材質美麗ニシテ黒條アリ建築材及粧飾用材トナシ其實ヨリ澁ヲ取り又乾製シテ食料ニ供ス  
 しゆる、常緑喬木ニシテ材ハ稀ニ奇工ノ造作材トナリ髭皮ハ剝テ箒又ハ繩トシテ需要廣ク葉モ亦蠅打器トナス  
 しやくなげ、常緑灌木ニシテ材質堅ク印材トナスヘシ美花ヲ開キ庭園ニ植エテ賞玩ス  
 しで、落葉喬木ナリ薪材ニ適シ又椎茸ヲ造ル原料ニハ此木ヲ推シテ第一トス  
 しやん、常緑灌木ニシテ其材ハ器具原料トナリ枝葉ハ佛祭ノ供物トナリ又葉ヲ染料ニ供ス  
 えんじゆ、落葉喬木ニシテ材質頗ル堅硬建築材、器具材及田白ノ齒木ニ適ス  
 るのき、落葉喬木ニシテ材ハ棒材、牛鞍及組板トナシ又平茸ヲ造ル原料タリ

ひのき、常緑喬木ニシテ材質美妍水濕ニ堪へ建築材トシテ重用セラレ又諸器具ノ原料タリ近來鉋屑ヲ編物ニ用ヒ樹皮ハ屋根ヲ葺クヘシ  
 ひやくじつこの、落葉喬木ニシテ材質堅ク初秋花ヲ開キ其多少ヲトシテ年ノ豊凶ヲ識ルト云フ  
 ひは、常緑喬木ニシテ材質堅ク夏期ニ實ヲ結フ食膳ニ供スヘシ又葉ハ燒キテ畜牛ニ用ヒ下痢ヲ止ム

ひとつば、落葉灌木ニシテ材ハ主ニ薪材トナス  
 ひい、常緑灌木ニシテ材ハ彎曲シテ牛ノ鼻木ニ製シ其實ヨリ油ヲ搾ル  
 ひるらぎ、常緑灌木ニシテ材質堅硬ナリ彫刻材及算珠トナシ人家ノ庭園ニ之ヲ栽ユ  
 もち、常緑喬木ニシテ材ハ建築材トナシ皮ハ剥キテ鞆ヲ製造スヘシ  
 も、落葉灌木ニシテ材ノ大ナルモノハ人家ノ裝飾材トナリ實ハ食料トシ核子ハ桃仁ト稱スル藥品トナル  
 もつこく、常緑喬木材ハ赤色ヲ帯ヒ器具ノ材料トナリ其庭園樹トシテ貴ハル  
 もくせい、常緑喬木ニシテ材質堅ク彫刻材ニ適シ又ハ庭園樹トシテ貴ハル  
 もみ、常緑喬木ニシテ材ハ板ニ製シ函類ヲ作り又製紙用ノ原料ニ供ス  
 せんだ、落葉喬木ニシテ材ハ器具ノ用材トナリ又薪材トナス  
 すいめいちご、落葉灌木ニシテ其材ハ印材トナシ實ハ食料ニ供ス

すも、落葉喬木ニシテ材用ハ桃ニ同シ實ハ之レヲ食ス  
 すかし、落葉喬木ニシテ建築材又ハ器具材ニ供ス  
 すぎ、常緑喬木ニシテ建築材船材、橋梁材、器具材、樽類、電柱、屋根板等用途廣ク樹皮ハ以テ屋根ヲ葺キ又雨樋トナス葉ハ抹香ノ原料トナル  
 審査要求ノ主眼

樹木ノ材質及ヒ效要ヲ調査シ利用ヲ宏擴シ森林ノ價値ヲ進メントスルヲ以テ主眼トス  
 廣島縣△△ 同縣山縣郡吉坂村外十九箇村ノ出品材鑑ハ建築土木用材薪炭材ヲ合セテ樹種百三十餘點ノ多キニ達シ其製作ハ柱目、板目、皮切口ノ四面ヲ表シ其大サ亦適當ニシテ能ク研究調査ノ參考ニ適スルヲ認ム  
 宮崎縣△△ 同縣縣農會出品ノ材鑑ハ一雙ノ屏風ニ仕立テタルモノニシテ無趣味ナル材鑑ヲ示スニ於テ其出品及陳列上ノ意匠多少賞スヘキ點ナキニアラスト雖トモ其製作未タ完全ナリト稱スルヲ得然レトモ同縣下ニ於ケル九十有餘種ノ材ヲ採取シテ其林相及效用并ニ有用材ニアリテハ其産額ヲ調査セルカ如キハ森林植物學研究ノ參考トナシ得ヘキノミナラス木材取引上ニ向テモ亦利益ヲ與フルコト少カラス

宮崎縣農會出品本材標本説明抄録

一本出品ノ目的

本縣森林ノ反別ハ四萬七千七百九十四町歩ノ多キニ達シ隨テ生産スル樹種ノ如キモ枚舉

ニ違アラス然レトモ由來交通不便ノ土地ナルカ故ニ未タ産出材種ノ如何ナルモノナルヤヲ知ラサル者多シ依テ永久ノ林相ヲナスモノ及一時若シクハ一局部ノ林相ヲナスモノト二種ニ區別シ主要ノ樹種九十六種ヲ配列シテ材鑑トナス本縣主産樹木ノ大體ヲ世ニ紹介セントスルニ外ナラサルナリ

一 配列樹種類并ニ説明

永久ノ林相ヲナスモノ

番號	樹種名	漢名	日向方言
一	ビロウ	蒲葵	
二	シユロ	棕櫚	
三	クス	樟	
四	タブノ一種	アカタブ	
五	タブノ一種	シロタブ	
六	アオガシ	アマガシ	
七	シロダモ	キダタブ	

説

明

産地廣カラス宮崎郡青島ニ純林アリ葉ハ笠及團扇ヲ製シ材ハ家具材ニ用フ  
 産出區域廣キモ森林ヲナスモノナク畦畔ニ植ウル専ラ皮ヲ利用シ重ニ管内ニ於テ需要ス三十三年度輸出ハ貳千圓ニ不過  
 亂伐ノ結果純林ヲナス所少キモ老樟群生スル所少ナカラス三十三年度輸出樟腦參萬八千五百九拾貳圓腦油參千四百圓  
 空アルモノ刀木理ノ美ナルモノハ建築材ニ用ヒラルモ重ニ薪炭用トス  
 同  
 薪炭ノ外未タ利用ノ途ナシ  
 種實ヨリ油ヲ製シ材ハ薪炭トス以上四種ノ材ハ鐵道枕木トシテ保存ノ度目下試驗中

八	ニッケイ	肉桂樹	ニッケイタブ
九	ヤブニッケイ	天笠桂	センコウタブ (ニッケイタブ)
一〇	シヒ	柯樹	コウシヒ
一一	シリブカシ		シリブカ
一二	マテバシヒ		スダジヒ
一三	アカバシ	血楮	
一四	クロガシ	桐	
一五	イチキ	櫓楳	イチ
一六	ウラジロガシ		ハボン
一七	ツクバ子カシ		
一八	シラカシ	新楮	
一九	アセビ		ヨ子シバ
二〇	ヤマシキミ		ハナシバ (又ハナノキ)
二一	サカキ		

皮ヲ利用スルモ産出多カラス人家ノ周圍ニ植栽スルニ不過  
 薪炭外未タ利用ノ途ナシ  
 管内タブカシノ類ニ次ク實ハ食用トシ材ハ薪炭トス三十三年輸出壹萬六千圓又椎茸製造原木ニ用ヒラル産出多カラス薪炭ノ外未タ利用ノ途ナシ  
 柯ニ同シ  
 産出最モ多ク良材ハ櫓木トシ又器具材ニ多ク用ヒラル薪炭トシテ管内産出ノ上位ニアリ  
 薪炭トシテ良好ナルノ外未タ利用ノ途ナシ  
 重ニ櫓木櫓腕ニ用フ三十三年輸出額八萬七千餘圓  
 良材ハ「イチキ」ニ次クノ櫓木ナリ薪炭トシテ良好ナリ  
 椎茸製造原木ニ用ヒ他ハ薪炭用トス  
 良材ハ櫓木又ハ器具材ニ用ヒラル薪炭トシテ多ク賞用セラル  
 葉ハ殺蟲用トシテ材ハ薪炭トス  
 種實香料トシテ多ク需要アリ材ハ薪炭トス  
 薪炭ノ外未タ利用ノ途ナシ

二二	ツガ	榲	管内各所ニ産出シ良材ニ富ム三十三年度四千九百圓ヲ輸出ス
二三	モミ	樅	同上
二四	スギ	杉	三十三年度輸出參萬貳千九百九拾八圓
二五	カヤ	榿	管内南部ニ産スルモノ重ニ船用トシ北部ニ産スルハ建築用ニ賞用セラル三十三年輸出拾七萬五千圓
二六	イヌカヤ	粗榿	産出多カラサル材質水濕ニ耐フルヲ以テ桶類ニ賞用セラル
二七	ブナ	栲	管内ノ最高所ヲ占ム薪炭ノ外利用ノ途ナシ
二八	イヌブナ	同上	
二九	アラ、ギ	水松	産出多カラス裝飾用ニ供セラル

一時若シクハ一局部ノ林相ヲナスモノ

説 明

一	クロマツ	黒松	管内産出最モ多ク三十三年輸出四拾參萬參拾四百八拾圓
二	タラヨウ	ノコギリ	
三	モチノキ	細葉冬青	樹皮ヨリ「モチ」ヲ製シ需要多シ
四	フクラモチ	ス、メチ	

五	ヤマモ、	楊梅	樹皮ヲ利用ス
六	ユヅリハ	ツルノハ	下等薪炭ノ外利用ノ途ナシ
七	ケンボナシ	枳椇	種實ヲ食ス材ハ利用ノ途ナシ
八	イス	蚊母樹	樹皮ヨリ木灰ヲ製シ廣ク賞用セラル材ハ木炭トシテ血糶ニ次ク
九	ヤマハゼ	ハデ	
一〇	イヌビワ	ヤマビワ	下等薪炭ノ外未タ利用ノ途ナシ
一一	クサギ	臭桐梧	
一二	カチノキ	梶	製紙用トシテ需要廣シ三十三年紙類ノ管外ニ輸出セシモノ拾六萬壹千餘圓
一三	センダン	棟	成長早キヲ以テ樹蔭ニ要スル所ニ植エラル
一四	チシヤノキ		薪炭ノ外未タ利用ノ途ナシ
一五	クソ	桑	管内ニハ大材ナシ建築材、器具材等ニ賞用セラル
一六	イヌツグ		器具材ニ使用セラル
一七	ウルシ	漆	輓近ノ植栽ニ係ルヲ以テ産出少ナシ
一八	エノキ	榎	良材ハ建築ニ用ヒラレ他ハ薪炭トナス

一九	ムクエノキ	椶	ムク	良材ハ建築ニ用セラレ他ハ薪炭トナス
二〇	エンジュ	槐	クロエンジュ	産出多カラス家具材ニ賞用セラル
二一	イヌエンジュ		シロエンジュ	同上
二二	ノリウツギ	波疏	ノリノキ	製紙用ニ非常ニ多ク需要セラル
二三	ツバキ	山茶	カタシ	種實ヨリ油ヲ製シ「カタシ」油ト稱シ賞用セラル材 ハ器具材トシ又薪炭トシテ良好ナリ
二四	サンクワ	茶梅	ヒメカタシ	同上
二五	ヤマガキ	程柿		薪炭ノ外未タ利用ノ途ナシ
二六	クヌキ	櫟		椎茸製造原木トシテ賞用セラル三十二年椎茸ノ輸出 參拾八萬圓二分ノ一ハ本材ヲ原木トセシモノナリ
二七	コナラ	枹	マハサコ	薪炭トシテ又廣ク需要セラル
二八	子ム	合歡	コウカ	良材ハ建築材ニ用ヒラレ他ハ下等薪炭タルニ不過
二九	アカマツ	赤松		黒松ニ亞キ産出多ク諸種ノ用ニ供セラル
三〇	ヌルテ	鹽麩子	フシノキ 又(キダス)	産出少ナク五倍子ヲ取ルニ不過
三一	シデ		マゾヤ	椎茸製造原木トシテ廣ク賞用セラル管内北部人士ハ 櫟枹ヨリ重被セリ
三二	イヌシデ		タケゾヤ (シラソヤ)	薪炭トシテ良好ナラス

三三	ソロ		ソヤ	薪炭ノ外未タ利用ノ途ナシ
三四	サワシバ		ニタク	良材ハ弓ノ身ニ用ヒラル
三五	マユミ	衛弟		下等薪炭ノ外用途ナシ
三六	イヌマユミ			葉ヨリ藥品ヲ製ス
三七	サルスベリ			良材ハ板類トシテ需要アリ
三八	アキニレ	楡	ニレノキ	下駄材トシテ需要多シ
三九	タラ	椴木	クマダラ	茨ハ石鹼ノ代用トシテ賞セラル
四〇	イヌタラ	五加	アキダラ	種實ヨリ油ヲ製スル外管内ニ於テ需要ナシ
四一	サイカチ	皂莢		薪炭ノ外利用ノ途ナシ
四二	アオギリ	梧桐	アオペラ	諸用ニ供ス産出亦不少
四三	エゴ	齊敦果	コヤス	同上
四四	ケヤキ	櫟		種實ハ食セラル産出最モ少ナシ
四五	キリ	白桐		
四六	クルミ	胡桃		



四七	サワクルミ	タニクルミ	材ハ下駄用トシテ需要アリ
四八	クリ	栗	種實ハ食セラレ材ハ諸用ニ供ス
四九	アカメカシワ	楸	赤松ト共ニ最モ陽地ニ生スルモ未タ利用ノ途ナシ
五〇	ヤマザクラ	櫻	良材ハ建築材ニ用ヒラレ他ハ薪炭トス
五一	フサバクラ		葉ヨリ藥品ヲ製シ材ハ楊枝トシテ廣ク賞用セララル
五二	クロモジ	烏樟	薪炭ノ外未タ利用ノ途ナシ
五三	イタヤカエデ	カエデ	諸種ノ器具材ニ用ヒラル
五四	ホノノキ	厚朴	樹皮ハ染料ニ供セラレ材ハ下等薪炭トス
五五	キワダ	黄蘗	種實ハ食セラレ材ハ器具トシテ需要セララル
五六	イテウ	公孫樹	材ハ建築用トシテ需要アリ
五七	カツラ	桂	種實ハ食ヒラレ材ハ下等薪炭トス
五八	トチ	七葉樹	薪炭ノ外未タ利用ノ途ナシ
五九	ニガキ	黄棟樹	良材ハ鐵道枕木ニ需要セラレ他ハ薪炭用トス
六〇	シホヂ	鹽地	

六一	ナラカシワ	オノナラキ	椎茸製造原木トナルモ良好ナラス重ニ薪炭トス
六二	カシワ	榎	
六三	マカンバ	カバキ	賞花用トシテ庭園ニ植エラル
六四	シヤナゲ	シヤクナン	
六五	ヒメコマツ	姫子松	建築用トシテ需要セララル、モ産出多カラス
六六	ツ、ジ		本縣ハ有名ナル霧島ツ、ジノ本場ナリ重ニ賞花用トシテ大材ハ建築用トス

其他鳥根縣米原市之助ノ鳥獸標品百餘點、栃木縣金子文治郎ノ同標本數點共ニ其製作佳良且ツ海外貿易ニ資スルコト少カラサル等賞スヘキモノ少カラス且ツ沖繩縣出品材鑑、福島縣河原田盛美ノ材鑑百種等見ルニ足ルモノアリ

官廳出品 標本出品トシテハ山林局ヨリ樹木種子ノ出品アリ特ニ松柏科植物ノ種子ニハ球果ヲモ併セテ出品シ其類集品質共ニ當ヲ得タルモノニシテ是レ亦一ノ好標本タルヲ失ハス其他石川大林區署ヨリ楓、水松、扁柏、みずめ、羅漢柏等ノ種子及ヒ苗木ノ出品アリト雖トモ是レ其材鑑并ニ製材品等ト共ニ併セ示シタル標本ニ過キスシテ必スシモ其品質ニ特長アルニアラサルナリ熊本大林區署出品ノ杉、挿穂ト同地方ノ杉造林ハ専ラ之ニ依ルモノニシテ挿穂ニ適當ナル枝條及ヒ其製方ヲ示シタルモノナリト雖トモ之ニ附スルニ説明ノ十分ナラサリシ

カタメ特ニ注意ヲ惹クコト少カリシハ大ニ惜ムヘシトス材鑑ノ出品ハ其數少カラス或ハ懸ケ額様ニ仕立テ或ハ衝立トナシ或ハ書籍狀ニ作り大小長短種々ノ意匠ヲ盡シテ示シタルハ材鑑ノ如キ趣味少キモノニ對シ人目ヲ惹ク上ニ於テ甚タ可ナリトナサ、ル可カラス就中山林局出品ニ係ル本邦有用木竹材鑑ノ如キハ全國各地ノ所産ニ涉リテ其數實ニ二百餘種ノ多キニ上リ毎種ニ材ノ柃目、板目、横断面及ヒ樹皮ヲ示シ加フルニ其附葉ヲモ添附シ且一種毎ニ樹種名羅匈名及效用ノ一斑ヲ示セル解説ヲ附シ建築用器具用及裝飾用等其主ナル用途別ニ依テ之ヲ排列シタルモノニシテ其類集ノ周到ナル其材質及製作ノ適良ナル寔ニ有益ナル出品ニシテ好良ナル材鑑トナサ、ル可カラサルナリ其陳列モ巧ミナラサルニアラスト雖トモ若シ學術的類別ニ依ルカ植物帶類別ニ依リテ配列シタンニハ一層ノ賞讚ヲ博スルニ至リシナラン左ニ其樹名等ヲ抄録シテ參考ニ資ス

山林局出品本邦産有用材鑑説明抄録

品名(學名)	産地	效用
わかしづき Pinus Densiflora, S. et Z.	安房國清澄山	此樹ハ温帯ニ生スル常緑喬木ニシテ材ハ建築材土工材ニ用ヒラル
くろくま Pinus Thunbergii, Parl.	安房國清澄山	此樹ハ暖帯ニ生スル常緑喬木ニシテ材ハ橋梁土臺土工用枕ニ用ヒラル
りんかくま Pinus Luchuensis, Mayr.	琉球那覇區地方	此樹ハ熱帯ニ産スル常緑喬木ニシテ建築用ニ供セラレ赤松ヨリ上品ナリ
ひめくま Pinus Parviflora, S. et Z.	駿河國富士山	此樹ハ温帯ニ生スル常緑喬木ニシテ材ハ天井ノ竿打、長押、柃尖、障子等總テ乾燥セル所ニ用ヒラル
からま Larix Leptolepis, Gord.	駿河國富士山	此樹ハ温帯ニ生スル落葉喬木ニシテ材ハ柱、長押等ノ裝飾ヲ兼ヌル建築用ニ供セラレ又船艦、橋梁、電柱鐵道枕木等ニ使用セララル
たうひ Picea Hondoensis, Mayr.	駿河國富士山	此樹ハ寒帯ニ生スル常緑喬木ニシテ材ハ建築材ニ供セラレ又薄片トナシ篩ノ外圍ニ作り又器具材ニ供セララル
あかあざま Picea Glehnii, Mast.	根室國花咲郡落石村字 ラン子ベツ官林	此樹ハ寒帯ニ生スル常緑喬木ニシテ建築材ニ供セララル
あざま Picea Ajaiensis, Fisch.	根室國花咲郡落石村字 ラン子ベツ官林	此樹ハ寒帯ニ生スル常緑喬木ニシテ北海道ニテハ建築用材ニ賞用セララル

ツギナ  
Tsuga  
Sieboldi, Carr.

安房國清澄山

此樹ハ暖帯ノ終ヨリ温帯ノ中頃迄生スル常緑喬木ニシテ材ハ柱材、土臺等ニ用ヒ又敷居、鴨居、屋根板等ニ作リ又薪材ニ用フ

ツギナガ  
Tsuga  
Diversifolia, Maxim.

駿河國富士山

此樹ハ温帯ノ中部ヨリ寒帯ノ中部迄ニ生スル常緑喬木ニシテ材ノ效用ハ「ツガ」ニ同シ

ツギナガ  
Pseudo Japonica,  
Shidosawa.

伊勢國多氣郡萩原村字栗谷

此樹ハ温帯ニ生スル常緑喬木ニシテ材ハ建築材トシテ用ヒラル米國産「オレゴン・パイン」ノ材ト甚タ相似タリ

タケノキ  
Abies  
Homolepis, S. et Z.

下野國日光山

此樹ハ温帯ニ生スル常緑喬木ニシテ材ハ板材ニ供セラ

アビ  
Abies  
Firra, S. et Z.

安房國清澄山

此樹ハ暖帯ノ終ヨリ温帯ノ始ニ生スル常緑喬木ニシテ材ハ建築用ニ供セラレ天井板、白木臺、障子ノ小枿、茶函等ニ用ヒラル

アビ  
Abies  
Umbellata, Mayr.

甲斐國北都留郡丹波山村泉水谷

此樹ハ温帯ニ生スル常緑喬木ニシテ材ハ板材トシテ用ヒラル

アビ  
Abies  
Veitchii, Lindl.

駿河國富士山

此樹ハ寒帯ニ生スル常緑喬木ニシテ材ハ建築用ニ供セラレ戸障子ノ枿、屋根板、飾ノ枿トシテ用ヒラル

アビ  
Abies  
Mariesii, Mast.

陸奥國八甲田山

此樹ハ寒帯ニ生スル常緑喬木ニシテ材ハ建築材船材及器具材トシテ用ヒラル

アビ  
Abies  
Sachalinensis, Mast.

石狩國札幌郡山鼻村字圓山官林

此樹ハ寒帯ニ生スル常緑喬木ニシテ材ハ北海道ニ於テハ内地ノ杉ノ如ク最モ普通ニ用ヒラレ建築材船材及器具材ニ供セラル

カシ  
Sciadopitys  
Verticillata, S. et Z.

紀伊國高野山

此樹ハ暖温帯ニ生スル常緑喬木ニシテ材ハ船材、建築材、橋梁材及風呂桶、水槽等ヲ作ルニ用ヒラル

カシ  
Cryptomeria  
Japonica, Don.

大和國吉野郡

此樹ハ暖温帯ニ在ル常緑喬木ニシテ材ハ建築用其他所用廣シ

カシ  
Thuja  
Japonica, Maxim.

下野國日光山

此樹ハ温帯ニ在ル常緑喬木ニシテ材ハ天井板、曲物等ヲ作ルニ用ヒラル

カシ  
Thuja  
Dolabrata, S. et Z.

陸奥國北津輕郡奥内村字内眞部

此樹ハ温帯ニ在ル常緑喬木ニシテ建築材又ハ家屋ノ土臺トナス此他曲物ヲ作ルニ用ヒラル

カシ  
Chamaecyparis  
Ohntosa, S. et Z.

紀伊國高野山

此樹ハ暖温帯ニ在ル常緑喬木ニシテ材ハ建築其他各種ノ用材ニ用ヒラル

カシ  
Chamaecyparis  
Pisifera, S. et Z.

安房國清澄山

此樹ハ暖温帯ニ在ル常緑喬木ニシテ材ハ桶材ニ用ヒラ

カシ  
Juniperus  
Rigida, S. et Z.

甲斐國北都留郡小菅村

此樹ハ暖温兩帯ニ生スル常緑喬木ニシテ材ハ柱棚及器具ヲ作ルニ用ヒラル

カシ  
Podocarpus  
Nageia, R. Br.

土佐國高知地方

此樹ハ暖帯ノ中央ヨリ熱帯ニ生スル常緑喬木ニシテ材ハ家具及器具ニ作リ又皮付ノ儘磨キテ床柱トシテ用ヒラル、コトアリ

カシ  
Cephalotaxus  
Pedunculata  
S. et Z. Var. Fastigiata Carr.

土佐國高知地方

此樹ハ暖帯及熱帯ノ終リニ生スル常緑喬木ニシテ材ハ桶材及家屋板ニ供セラル

シユラ  
Ginkgo  
Biloba, L.

武藏國東京市

此樹ハ前世界ノ遺物ニシテ野生スルモノ無シ只神社佛閣又ハ宅地ニ植ラル落葉喬木ニシテ材ハ裝飾用ニ供セラル又指物、挽物及彫刻用ニ供セラル

カサガヤ  
Cephalotaxus  
Drupacea, S. et Z.

安房國清澄山

此樹ハ本邦至ル所ニ産スル常緑喬木ニシテ材ハ小細工用鋸鑿用ニ供セラル

カサノオ  
Torreya Nucleata,  
S. et Z.

安房國清澄山

此樹ハ暖帯ニ在ル常緑喬木ニシテ建築造船用及器具用ニ供セラル

カサノオ  
Taxus  
Ospitata, S. et Z.

石狩國札幌郡山鼻村字  
野幌官林

此樹ハ寒温兩帯ニ生スル常緑喬木ニシテ材ハ裝飾用ニ供セラレ又笏、箸、狀圓等ヲ作ルニ用ヒラル

ツバキ  
Trachycarpus  
Fxcelsa (Thunb) Wendl.

武藏國川崎地方

此樹ハ暖帯ニ生スル常緑喬木ニシテ材ハ柱及欄干等ニ用ヒラル

コノハ  
Livistonia  
Chinensis, Br.

小笠原島父島

此樹ハ熱帯ニ生スル常緑喬木ニシテ材ハ床柱、丸火鉢等ニ用ヒラル

カサノオ  
Betula  
Maximowicziana, Rgl.

飛騨國吉城郡坂上村

此樹ハ温帯ニ生スル落葉喬木ニシテ材ノ用途ハ畧ホシ

カサノオ  
Betula  
Grossa, S. et Z.

石狩國札幌郡山鼻村字  
圓山官林

此樹ハ温帯ニ生スル落葉喬木ニシテ材ハ建築用及器具鑿作用ニ供セラル

カサノオ  
Betula  
Urnifolia, S. et Z.

甲斐國北都留郡丹波山  
村泉山谷

此樹ハ温帯ニ生スル落葉喬木ニシテ材ノ用途ハ畧ホミ

カサノオ  
Betula Kinnami, Chama  
Var. Nipponica, Maxim.

石狩國札幌郡山鼻村字  
圓山官林

此樹ハ温帯ニ生スル落葉喬木ニシテ材ノ用途ハ畧ホシ

カサノオ  
Betula alba L.  
Var. Vulgaris, DC.

陸奥國八甲田山

此樹ハ温帯ノ末ヨリ寒帯ニ跨リ陽燥地ニ生スル落葉喬木ニシテ材ハ指物、挽物其他ノ器具ヲ作ルニ用ヒラル

カサノオ  
Betula alba L.  
Var. Communis, Rgl.

石狩國札幌郡山鼻村字  
圓山官林

此樹ハ温帯ニ生スル落葉喬木ニシテ材ノ用途畧ホシ

カサノオ  
Betula Bhojpatra  
Wall. Var. Typica, Rgl.

甲斐國北都留郡丹波山  
村泉水谷

此樹ハ温帯ニ生スル落葉喬木ニシテ材ハ小機械用材トシテ血樫材ニ代用セラレ盆類、木硯、傘柄、杖、櫛等ヲ作ルニ用ヒラル

カサノオ  
Alnus  
Glutinosa, Willd.

大和國吉野郡上北山村

此樹ハ寒温兩帯ニ生スル落葉喬木ニシテ材ノ用途ハ畧ホハんのきニ同シ

カサノオ  
Alnus  
Firma, S. et Z.

伊勢國多氣郡萩原村字  
栗谷

此樹ハ温帯ノ南方及暖帯ニ多ク生スル落葉喬木ニシテ材ハ鋸作用ニ供セラル

カサノオ  
Alnus  
Japonica, S. et Z.

石狩國札幌郡山鼻村字  
圓山官林

此樹ハ暖帯ノ終リヨリ温帯全部ノ極低濕地ニ生スル落葉喬木ニシテ材ハ器具材及薪材ニ用ヒラル

カサノオ  
Alnus Viridis,  
DC. Var. Sibirica, Rgl.

石狩國札幌郡山鼻村字  
圓山官林

此樹ハ寒帯ニ生スル落葉喬木ニシテ材ノ用途ハ畧ホヤ

カサノオ  
Alnus Incana, Willd.  
Var. Glauca, Ait.

石狩國札幌郡山鼻村字  
圓山官林

此樹ハ暖帯ノ終リヨリ温帯ノ全部ニ生スル落葉喬木ニシテ材ノ用途ハ畧ホ「ハンノキ」ニ等シ

- 駿河國富士山  
Saxifraga Yedoensis, Maxim.
  - 安房國清澄山  
Carpinus Laxiflora, Bl.
  - 石狩國札幌郡山鼻村字圓山官林  
Carpinus Cordata, Bl.
  - 飛騨國吉城郡坂上村  
Carpinus Japonica, Bl.
  - 石狩國札幌郡山鼻村字圓山官林  
Ostrya Japonica, Sargent.
  - 安房國清澄山  
Quercus Acuta, Thunb.
  - 石狩國札幌郡山鼻村字圓山官林  
Quercus Dentata, Thunb.
  - 安房國清澄山  
Quercus Gilva, Bl.
  - 石狩國札幌郡山鼻村字圓山官林  
Quercus Grosseserrata, Bl.
- 此樹ハ温帯ニ生スル落葉喬木ニシテ材ハ杖、傘柄等ヲ作ルニ用ヒラル又外ニ奇雅ナルニ因リ床柱トシテ用ヒラル又稚茸育成ノ用材ト爲ス
- 此樹ハ暖帯ノ終リヨリ温帯ノ中央以南ノ適潤沃地ニ多ク生スル落葉喬木ニシテ材ハ床柱、洋杖其他各種ノ器具機械類ヲ製スルニ用ヒラル又稚茸用材ト爲ス
- 此樹ハ暖帯ノ終リヨリ温帯ノ中央以南ニ生スル落葉喬木ニシテ材ハ丸太ノ儘皮ヲ剥キ磨キテ床柱ニ用ヒ又洋傘ノ柄、洋杖其他器具ヲ作ルニ用ヒラル
- 此樹ハ暖帯ヨリ温帯ニ跨リテ生スル落葉喬木ニシテ材ハ農具ノ柄ヲ作リ又薪材ニ供シ又香茸育成ノ用材トス
- 此樹ハ温帯ニ生スル落葉喬木ニシテ材ハ櫛ヲ作り建築材トシテ敷居ニ供シ此他櫛等ヲ作ルニ用ヒラル
- 此樹ハ暖帯ニ生スル常緑喬木ニシテ材ハ人力車、荷車其他器械ニ用ヒ又下駄ノ齒、船ノ櫂、油ノ縮木及農具ノ柄ヲ作ルニ用ヒラル
- 此樹ハ寒温兩帶ノ陽燥ナル深地ニ生スル落葉喬木ニシテ材ハ建築材トシテ礎、鐵道枕木、船艦等ニ用ヒ及器具、器械、麥酒樽其他薪炭用材ニ用ヒラル
- 此樹ハ暖帯ニ生スル常緑喬木ニシテ材ハ船ノ櫂、槍ノ柄及鋤ノ柄ヲ作ルニ用ヒラル
- 此樹ハ温帯ニ生スル落葉喬木ニシテ材ハ建築材、工業用材及麥酒樽材ニ用ヒラル

- 安房國清澄山  
Quercus Glauca, Thunb.
  - 安房國清澄山  
Quercus Myrsinaefolia, Bl.
  - 石狩國札幌郡山鼻村字圓山官林  
Quercus Crispula, Bl.
  - 武藏國住原郡駒場  
Quercus Vibrayana, Fr. et Sav.
  - 安房國清澄山  
Quercus Glandulifera, Bl.
  - 安房國清澄山  
Quercus Sessilifolia, Bl.
  - 土佐國高知地方  
Quercus Phyllireoides, A. Gr.
  - 安房國清澄山  
Pasania Cuspidata, Oerst.
  - 薩摩國鹿兒島地方  
Pasania Glabra, Oerst.
- 此樹ハ暖帯ニ生スル常緑喬木ニシテ材ハ車輪用及ヒ農具用ニ供セラル
- 此樹ハ暖帯ニ生スル常緑喬木ニシテ材ノ用途ハ畧ホシラカシニ同シ
- 此樹ハ寒温兩帶ノ平野若クハ低濕地ニ生スル落葉喬木ニシテ材ハ麥酒樽ヲ作ルニ用ヒラル
- 此樹ハ暖帯ニ生スル常緑喬木ニシテ材ハ體操器械類、槍柄等ヲ作ルニ用ヒラル
- 此樹ハ暖帯北部及温帯ノ陽燥地ニ生スル落葉喬木ニシテ材ハ雪車、函、椅子等ヲ作ルニ用ヒラル
- 此樹ハ暖帯ニ生スル常緑喬木ニシテ材ハ器具ヲ作ルニ用ヒラル
- 此樹ハ暖帯ノ中部ヨリ以南ニ生スル常緑喬木ニシテ材ハ櫛、櫓頭ヲ作ルニ用ヒラル
- 此樹ハ暖帯ノ陰濕地ニ生スル常緑喬木ニシテ材ハ諸器械用材トナシ又椽板其他建築材ニ供セラル
- 此樹ハ暖帯ニ生スル常緑喬木ニシテ材ハ船ノ櫂又ハ薪炭ニ供セラル

サトバシロ  
Pasania  
Edulis, Makino sp. nov.

土佐國高知地方

此樹ハ暖帯ニ生スル常緑喬木ニシテ材ハ農具ノ柄其他船ノ櫓トシテ用ヒラル

カシノキ  
Castanea Vulgaris, Lam.  
Var. Japonica, DC.

飛騨國吉城郡坂上村

此樹ハ暖帯ノ終リヨリ温帯ニ生スル落葉喬木ニシテ材ハ家屋ノ礎木、枕木其他井桁溝渠ノ流シ又ハ湯殿等ニ用ヒラル板材トシテ屋根板ニ用ヒラル

クヌギ  
Fagus Sylvatica, L.  
Var. Sieboldi, Maxim.

駿河國富士山

此樹ハ温帯ノ主林木ニシテ陰濕地ニ生スル落葉喬木ナリ材ハ器具用材、下駄ノ齒又藥液ヲ滲入シテ鐵道枕木ニ用ヒラル

クヌギ  
Fagus Japonica, Maxim.

甲斐國北都留郡丹波山村泉水谷

此樹ハ温帯ノ下部ニ生スル落葉喬木ニシテ材ノ用途ハぶなニ同シ

クヌギ  
Fagus Sieboldiana, Maxim.  
Var. Cordiformis (Maxim.) Makino.

飛騨國吉城郡坂上村

此樹ハ温帯ニ生スル落葉喬木ニシテ材ハ銃砲ノ臺、炬燵、函類、盆等ヲ作ルニ用ヒラル

クヌギ  
Fagus Sieboldiana, Maxim.

石狩國札幌郡山鼻村字圓山官林

此樹ハ温帯低濕ノ沃地ニ生スル落葉喬木ニシテ材ハ小銃ノ臺木其他器具材ニ用ヒラル

クヌギ  
Pterocarya Rhoifolia, S. et Z.

駿河國富士山

此樹ハ温帯ニ生スル落葉喬木ニシテ材ハ下駄及燐寸用材ニ供セラル

クヌギ  
Platycaarya Strobilacea, S. et Z.

武藏國住原郡駒場

此樹ハ暖帯ニ生スル落葉喬木ニシテ下駄及燐寸用材ニ供セラル

クヌギ  
Myrica Rubra, S. et Z.

安房國清澄山

此樹ハ暖帯ニ生スル常緑喬木ニシテ材ハ小器具ヲ作ルニ用ヒラル

クヌギ  
Salix Pterotii, Mig.

飛騨國吉城郡坂上村

此樹ハ暖帯ヨリ寒帯迄生スル落葉喬木ニシテ材ノ效用ハしだれやなぎニ同シ

クヌギ  
Salix Purpurea, L.

石狩國札幌郡山鼻村字圓山官林

此樹ハ温帯ニ生スル落葉喬木ニシテ材ハ牙杖トナシ又火藥製造用ノ木炭ヲ製スルニ用ヒラル

クヌギ  
Salix halyonica, L.

武藏國東京

此樹ハ野生ナク多ク路傍庭園ニ栽植セラル、落葉喬木ニシテ材ハ張板函類其他器具ヲ作ルニ用ヒラル

クヌギ  
Salix Caprea, L.

石狩國札幌郡山鼻村字圓山官林

此樹ハ温帯ニ生スル落葉喬木ニシテ材ハ函類、截板其他小細工用ニ供セラル

クヌギ  
Salix Urabianana, Yon, Seemann.

飛騨國吉城郡坂上村

此樹ハ温帯ニ生スル樹種ニシテ材ハ燐寸軸木其他ノ用ニ供セラル

クヌギ  
Salix cardiophylla, Trantv. et Mey.

石狩國札幌郡山鼻村字圓山官林

此樹ハ温帯ニ生スル落葉喬木ニシテ材ハ截板、函類、燐寸軸木ヲ作ルニ用ヒラル

クヌギ  
Salix halyonica, L.  
Var. Pygmaea, Anders.

飛騨國吉城郡坂上村

此樹ハ温帯ニ生スル落葉喬木ニシテ材ノ效用ハ畧ホ「しだれやなぎ」ニ同シ

クヌギ  
Salix Frioparva, Fr. et Sav.

飛騨國吉城郡坂上村

此樹ハ暖帯ノ終リニ多ク生スル落葉喬木ニシテ材ハ截板、函類、燐寸軸木ヲ作ルニ用ヒラル

クヌギ  
Populus tremula, L. var. Villosa, Wessn.

飛騨國吉城郡坂上村

此樹ハ温帯ニ生スル落葉喬木ニシテ材ハ建築用材、旅客用大行李、函ヲ作り又鋸作用、彫刻用、燐寸用及薄片用ニ供セラル

Populus balsamifera,  
L., Var. Suaveolens, Londt.

石狩國札幌郡山鼻村字  
圓山官林

此樹ハ温帯ニ生スル落葉喬木ニシテ材ノ用途ハ畧ホ「やまならし」ト同シ

Morus  
Indica, L.

小笠原父島

此樹ハ小笠原島ニ生スル落葉喬木ニシテ材ハ柱、梁及器具材又ハ板建築材ニ供セラル

Ficus  
Wightiana, Benth.

薩摩國鹿児島地方

此樹ハ暖帯ノ終リ又ハ熱帯ニ生スル常緑闊葉木ニシテ材ノ用途ハ畧ホ「がづる」ニ同シ

Ficus Retusa, L.  
Var. Nivida, Miq.

薩摩國鹿児島地方

此樹ハ熱帯ニ生スル常緑喬木ニシテ材ハ挽物細工、塗物下地又ハ砂糖樽ヲ作ルニ用ヒラル

Ulmus  
Parvifolia, Jacq.

飛騨國吉城郡坂上村

此樹ハ暖帯ノ終リヨリ温帯ニ生スル落葉喬木ニシテ材ハ車ノ心軸、梶棒ヲ作ルニ用ヒラル

Ulmus campestris, Sm.  
Var. Vulgaris, Planch.

飛騨國吉城郡坂上村

此樹ハ温帯ニ生スル落葉喬木ニシテ材ハ盆類其他器具ヲ作ルニ用ヒラル

Ulmus campestris, Sm.  
Var. Laevis, Planch.

石狩國札幌郡山鼻村字  
圓山官林

此樹ハ温帯及寒帯ノ始メニ生スル落葉喬木ニシテ材ハ大入車ノ軸、斧柄、椀操、製盆、獨樂其他ノ器具ヲ作ルニ用ヒラル

Ulmus campestris, Sm.  
Var. Major, P.

飛騨國吉城郡坂上村

此樹ハ温帯ニ生スル常緑喬木ニシテ材ノ用途ハ「はるにれ」ニ同シ

Ulmus Montana, Sm.  
Var. Typica, Maxim.

甲斐國北都留郡丹波山村泉水谷

此樹ハ温帯ニ生スル落葉喬木ニシテ材ノ用途ハ畧ホ「おびょうにれ」ニ同シ

Ulmus Montana, Sm.  
Var. Laciniata, Trautv.

石狩國札幌郡山鼻村字  
圓山官林

此樹ハ温帯ニ生スル落葉喬木ニシテ材ハ器具ヲ作ルニ用ヒラル

Zelkova  
Acuminata, Pl.

武藏國東京

此樹ハ暖温兩帶ニ跨リ生スル落葉喬木ニシテ材ハ建築船艦裝飾及器具材トシテ重用セラル

Celtis  
Sinensis, Pers.

飛騨國吉城郡坂上村

此樹ハ温帯ノ南部ヨリ熱帯ノ終リ迄平野地ニ生スル落葉喬木ニシテ材ハ荷鞍其他ノ器具ヲ作ルニ用ヒラル

Aphananthe  
Aspera, Planch.

飛騨國吉城郡坂上村

此樹ハ暖帯及温帯ノ南部ニ生スル落葉喬木ニシテ材ハ天秤棒或ハ斧鉞ノ柄トナスニ適ス

Cinnamomum  
Camphora, Nees.

紀伊國尾鷲地方

此樹ハ暖帯及熱帯ノ終リニ生スル常緑喬木ニシテ材ハ船艦材、建築材及器具材ニ供セラレ又樟腦製造ノ原料トセラル

Cinnamomum  
Loureirii, Nees.

安房國清澄山

此樹ハ享保年間漢種ヲ傳ヘタルモノニシテ本邦固有ノモノナラス常緑喬木ニシテ材ハ小器具ヲ作ルニ用ヒラル

Cinnamomum  
Pedunculatum, Nees.

安房國清澄山

此樹ハ暖帯ニ生スル常緑喬木ニシテ材ハ鋸作用ニ供セラレ

Nachus  
Thunbergii, S. et Z.

安房國清澄山

此樹ハ暖帯及熱帯ノ終リニ生スル常緑喬木ニシテ材ハ器具材、彫刻材及土器用材ニ供セラル

Actinodaphne  
Acuminata, Meisn.

安房國清澄山

此樹ハ暖帯ニ産スル常緑喬木ニシテ材ハ器具ヲ作ルニ用ヒラル

かんのあ  
Actinodaphne  
Lanceifolia, Meisn.

安房國清澄山

此樹ハ暖帯ニ生スル常緑喬木ニシテ材ハ橋ノ楔、跛ノ  
胴其他ノ小器具ヲ作ルニ用ヒラル

しんごも  
Litsaea  
Glaucæ, Sieb.

越中國婦負郡細入村庵  
谷

此樹ハ暖帯ニ生スル常緑喬木ニシテ材ハ小細工用ニ供  
セラル

かなくねのあ  
Lindera  
Umbellata, Thunb.

大和國吉野郡

此樹ハ暖温兩帯ニ生スル落葉喬木ニシテ材ハ木釘及器  
具ヲ作ルニ用ヒラル

こまじ  
Magnolia  
Kobus, DC.

石狩國札幌郡山鼻村字  
圓山官林

此樹ハ寒温兩帯ニ生スル落葉喬木ニシテ材ノ用途ハ畧  
ホ「は」のきニ同シ

はりのあ  
Magnolia  
Hypoleuca, S. et Z.

石狩國札幌郡山鼻村字  
圓山官林

此樹ハ寒温兩帯ノ稍々濕地ニ生スル落葉喬木ニシテ材  
ハ板材、下駄ノ齒材及器具材トシ又絲枿、刀劍ノ鞘、  
製炭用ニ供セラル

あがたのあ  
Michelia  
Compressa, Maxim.

安房國清澄山

此樹ハ寒帯ニ生スル常緑喬木ニシテ材ハ小器具ヲ作ル  
ニ用ヒラル

しんご  
Ilicium  
Anisatum, L.

安房國清澄山

此樹ハ暖帯ニ生スル常緑喬木ニシテ材ハ鎌作用ニ供セ  
ラル

あしとしみ  
Ilicium  
Anisatum, L. ?

甲斐國北都留郡丹波山  
村泉水谷

此樹ハ温帯ニ生スル落葉喬木ニシテ材ハ器具ヲ作ルニ  
用ヒラル

あかしのあ  
Tyrochodendron  
Aralioides, S. et Z.

甲斐國北都留郡丹波山  
村泉水谷

此樹ハ温暖兩帯ニ生スル常緑喬木ニシテ材ハ鎌作用ニ  
供セラル

ふかしへん  
Euphalea  
Polyantha, S. et Z.

安房國清澄山

此樹ハ温帯ニ生スル落葉喬木ニシテ材ハ棒竿ノ類其他  
器具ヲ作ルニ用ヒラル

かひあ  
Cercidiphyllum  
japonicum, S. et Z.

駿河國富士山

此樹ハ温帯ノ低濕地ニ生スル落葉喬木ニシテ材ハ家屋  
橋梁、船其他ノ建築材、圖板裁板及器具類ヲ作ルニ用  
ヒラル

シゴ  
Distylium  
Racemosum, S. et Z.

薩摩國鹿兒島地方

此樹ハ暖帯ニ生スル常緑喬木ニシテ材ハ屋柱、櫛、箸  
樂器等ヲ作ルニ用ヒラル

あしあし  
Pinus  
Miyabei, Sargent.

石狩國札幌郡山鼻村字  
圓山官林

此樹ハ温帯ニ生スル落葉喬木ニシテ材ハ鎌作用ニ供セ  
ラル

あし  
Pinus  
Sinensis, Lindl.

飛騨國吉城郡坂上村

此樹ハ温帯ニ生スル落葉喬木ニシテ材ハ機業、匣函等ヲ作  
ルニ用ヒラル

あしあし  
Pinus Aneuparia, Gaertn.  
Var. Japonica, Maxim.

石狩國札幌郡山鼻村字  
圓山官林

此樹ハ寒帯ニ生スル落葉喬木ニシテ材ハ鎌作用ニ供セ  
ラル又槌ヲ作ルニ用ヒラル

あしあし  
Pinus  
Foringo, Sieb.

甲斐國北都留郡丹波山  
村泉水谷

此樹ハ温帯ニ生スル落葉喬木ニシテ材ハ小器具ヲ作ル  
ニ用ヒラル

あしあし  
Pinus Aria, Ehrh.  
Var. Kamronensis, Wall.

甲斐國北都留郡丹波山  
村泉水谷

此樹ハ温帯ニ生スル落葉喬木ニシテ材ハ小器具ヲ作ル  
ニ用ヒラル

あし  
Prunus  
Munne, S. et Z.

飛騨國吉城郡坂上村

此樹ハ暖帯ニ在ル落葉喬木ナレトモ本邦ニ野生ナシ材  
ハ櫛、盆其他鎌作用ニ供セラル



Prunus Siori, Fr. Schim.

石狩國札幌郡山鼻村字  
圓山官林

此樹ハ温帶ニ生スル落葉喬木ニシテ材ハ盆類、小細工  
板木、鉋、衝棒等ヲ作ルニ用ヒラル

Prunus Buergeriana, Miq.

石狩國札幌郡山鼻村字  
圓山官林

此樹ハ温帶ニ生スル落葉喬木ニシテ材ハ小器具ヲ作ル  
ニ用ヒラル

Prunus Maximowiczii, Rupr.

石狩國札幌郡山鼻村字  
圓山官林

此樹ハ温帶ニ生スル落葉喬木ニシテ材ハ小細工用ニ供  
セラル

Prunus Pinedo-Cerasus Lindl. Var. Spontanea, Maxim.

石狩國札幌郡山鼻村字  
圓山官林

此樹ハ温帶ニ生スル落葉喬木ニシテ材ハ應用甚タ廣  
ク板木、器具類、盆、椀、定木等ニ用ヒラル

Prunus Spinulosa, S. et Z.

安房國清澄山

此樹ハ暖帶ニ生スル常綠喬木ニシテ材ハ小細工用ニ供  
セラル

Prunus Grayana, Maxim.

飛騨國吉城郡坂上村

此樹ハ温帶ニ生スル落葉喬木ニシテ材ハ鑢作用、版木  
用ニ供セラレ又盆類ヲ作ルニ用ヒラル

Prunus Incisa, Thunb.

駿河國富士山

此樹ハ温帶ニ生スル落葉喬木ニシテ材ハ小器具ヲ作ル  
ニ用ヒラル

Prunus Cerasoides Maxim. P. Apetala, Fr. et Sav.

甲斐國北都留郡丹波山  
村泉水谷

此樹ハ温帶ニ生スル落葉喬木ニシテ材ハ小器具ヲ作ル  
ニ用ヒラル

Kriobotrya Japonica, Lindl.

飛騨國吉城郡坂上村

此樹ハ暖帶ニ生スル常綠喬木ニシテ材ハ木刀、棒其他  
小細工ヲ作ルニ用ヒラル

Sophora Platycarpa, Maxim.

武藏國荏原郡駒場

此樹ハ暖帶及温帶ニ生スル落葉喬木ニシテ材ハ天秤  
棒、其他ノ器具ヲ作ルニ用ヒラル

Cladrastis Amurensis B. et H. Var. Floribunda, Maxim.

石狩國札幌郡山鼻村字  
圓山官林

此樹ハ温帶ニ生スル落葉喬木ニシテ材ハ裝飾用材ニ供  
セラレ其他ノ器具ヲ作ルニ用ヒラル

Gleditschia Japonica, Miq.

安房國清澄山

此樹ハ暖帶ニ生スル落葉喬木ニシテ材ハ小細工用又ハ  
函類ヲ作ルニ用ヒラル

Albizia Julibrissin, Boiv.

安房國清澄山

此樹ハ暖帶ヨリ温帶ノ南部ニ生スル落葉喬木ニシテ材  
ハ下駄ノ齒、馬ノ鞍并ニ車輪ノ骨其他鑢作用材、机等  
ノ小細工材ニ供セラル

Robinia Pseudacacia, L.

武藏國東京

此樹ハ温帶ニ生スル落葉喬木ナレトモ本邦固有ノモノ  
ニアラス材ハ鑢作用ニ供セラル

Zanthoxylum Alanthoides, S. et Z.

安房國清澄山

此樹ハ温帶ニ生スル落葉喬木ニシテ材ハ木屐其他器具  
ヲ作ルニ用フ

Phellodendron Amurense, Rnpf.

駿河國富士山

此樹ハ温帶ノ稍々湿地ニ生スル落葉喬木ニシテ材ハ器  
具ヲ作ルニ用ヒラル

Ailanthus glandulosa, Desf.

武藏國荏原郡駒場

此樹ハ温帶ニ生スル落葉ノ喬木ニシテ支那ノ原産ナリ  
材ハ函等ヲ作ルニ用ヒラル

Pterasin Quassoides, Benn.

石狩國札幌郡山鼻村字  
圓山官林

此樹ハ温帶ニ生スル落葉喬木ニシテ材ハ函、農具、木屐  
等ヲ作ルニ用ヒラル



ちりはだかへや  
Acer  
Rufinerve, S. et Z.

甲斐國北都留郡丹波山村泉水谷

此樹ハ温帯ニ生スル落葉喬木ニシテ器具ヲ作ルニ用ヒラル

やまじば  
Acer  
Carpinifolium, S. et Z.

駿河國富士山

此樹ハ温帯ニ生スル落葉喬木ニシテ材ハ裝飾材及器具材ニ供セラル

みつじかへや  
Acer  
Cissifolium, C. Koch.

飛騨國吉城郡坂上村

此樹ハ温帯ニ生スル落葉喬木ニシテ材ハ裝飾材及器具材ニ供セラル

やまじかへや  
Acer  
Distylum, S. et Z.

甲斐國北都留郡丹波山村泉水谷

此樹ハ寒温兩帯ニ生スル落葉喬木ニシテ材ハ裝飾材及器具材ニ供セラル

かへや  
Acer  
Palmatum, Thunb.

石狩國札幌郡山鼻村字圓山官林

此樹ハ温帯ニ生スル落葉喬木ニシテ材ハ裝飾用及鐵砲ノ臺、机、函等ヲ作ルニ用ヒラル

こみねかへや  
Acer  
Mieranthum, S. et Z.

甲斐國北都留郡丹波山村泉水谷

此樹ハ温帯ニ生スル落葉喬木ニシテ材ハ器具ヲ作ルニ用ヒラル

やまじかへや  
Acer  
Nikoense, Maxim.

飛騨國吉城郡坂上村

此樹ハ温帯ニ生スル落葉喬木ニシテ材ハ器具ヲ作ルニ用ヒラル

こみねかへや  
Acer  
Sieboldianum, Miq.  
Var. Microphyllum, Maxim.

飛騨國吉城郡坂上村

此樹ハ温帯ニ生スル落葉喬木ニシテ材ハ裝飾材及器具材ニ供セラル

やまじかへや  
Aesculus  
Turbinata, Bl.

大和國吉野郡上北山村古川

此樹ハ温帯ノ地ニ生スル落葉喬木ニシテ材ハ裝飾用材及彫刻用材ニ供セラル

ひくふこ  
Sapindus  
Mukurosi, Gaertn.

安房國清澄山

此樹ハ温帯ニ生スル落葉喬木ニシテ材ハ櫛棒其他諸器具ヲ作ルニ用ヒラル

やまじかへや  
Melosma  
Myriantha, S. et Z.

飛騨國吉城郡坂上村

此樹ハ温帯ニ生スル落葉喬木ナリ

けんぼなし  
Eovenia  
Duleis, Thunb.

飛騨國吉城郡坂上村

此樹ハ温帯ニ生スル落葉喬木ニシテ材ハ盆類、火鉢、文房具、櫛等ヲ作ルニ用ヒラル

やまじかへや  
Yilia cordata, Mill.  
Var. Japonica, Miq.

石狩國札幌郡山鼻村字圓山官林

此樹ハ温帯ニ生スル落葉喬木ニシテ材ハ彫刻用及小細工用ニ供セラル

やまじかへや  
Yilia  
Miqueliana, Maxim.

石狩國札幌郡山鼻村字圓山官林

此樹ハ温帯ニ生スル落葉喬木ニシテ材ハ彫刻材及器具材ニ供セラル

やまじかへや  
Yilia Miqueliana, Maxim.  
Fol. Rotundioribus, Maxim.

飛騨國吉城郡坂上村

此樹ハ温帯ニ生スル落葉喬木ニシテ材ハ彫刻用及小細工用ニ供セラル

やまじかへや  
Sterculia  
Patanifolia, L.

武藏國作原郡駒場

此樹ハ暖帯ニ生スル落葉喬木ニシテ材ハ琴瑟、匣函類ヲ作ルニ用ヒラル

やまじかへや  
Ficus  
Sasanqua (Thunb), Nois.

土佐國高知地名

此樹ハ暖帯ニ生スル常緑喬木ニシテ材ハ鍍作用及櫛材用ニ供セラル

やまじかへや  
Clethra  
Parlinervis, S. et Z.

駿河國富士山

此樹ハ温帯ニ生スル落葉喬木ニシテ材ハ鍍作用ニ供セラル又床柱ニ用ヒラル、事アリ

カシバ  
Calophyllum  
Inophyllum, L.

琉球那覇區地方

此樹ハ熱帯ニ生スル常緑喬木ニシテ材ハ裝飾用及器具材トシテ用ヒラル

シロカ  
Idesia  
Polycarpa, Maxim.

安房國清澄山

此樹ハ温帯ニ生スル落葉喬木ニシテ材ハ小細工用ニ供セラル

ヒメカ  
Eurya  
Japonica, Thunb.

安房國清澄山

此樹ハ暖帯ニ生スル常緑喬木ニシテ材ハ小細工用ニ供セラル

ヒメカ  
Eurya Ochnacea Szysz.  
Oleyera Japonica, Thunb.

安房國清澄山

此樹ハ暖帯ニ生スル常緑喬木ニシテ材ハ鏡作用及ヒ小細工用ニ供セラル

ヒメカ  
Sewertia  
Pseudocannella, Maxim.

駿河國富士山

此樹ハ温帯ニ生スル落葉喬木ニシテ器具ヲ作ルニ用ヒラレ又建築用ニ供セラル

ヒメカ  
Sewartia  
Monadelphæ, S. et Z.

駿河國富士山

此樹ハ温帯ニ生スル落葉喬木ニシテ材ハ小器具ヲ作り又鏡作用或ハ床柱トシテ用ヒラル

ヒメカ  
Elaeagnus  
Macrophylla, Thunb.

安房國清澄山

此樹ハ暖帯ニ生スル落葉喬木ニシテ材ハ器具ヲ作ルニ用ヒラル

ヒメカ  
Acanthopanax  
Ricinifolium, S. et Z.

石狩國札幌郡山鼻村字  
圓山官林

此樹ハ温帯ニ生スル落葉喬木ニシテ材ハ建築裝飾用及小細工用ニ供セラル

ヒメカ  
Acanthopanax  
Acutatum, Seem.

甲斐國北都留郡丹波山  
村泉水谷

此樹ハ温帯ニ生スル落葉喬木ニシテ材ハ箸及木履ヲ作ルニ用ヒラル

ヒメカ  
Acanthopanax  
Seiadiophylloides, Fr. et Sav.

石狩國札幌郡山鼻村字  
圓山官林

此樹ハ温帯ニ生スル落葉喬木ニシテ材ハ函類、木履、箸等ヲ作ルニ用ヒラル

ヒメカ  
Dendropanax  
Japonicum, Seem.

安房國清澄山

此樹ハ温帯ニ生スル落葉喬木ニシテ材ハ器具ヲ作ルニ用ヒラル

ヒメカ  
Aralia  
Sinensis, Fr.

駿河國富士山

此樹ハ温帯ニ生スル落葉灌木ナリ

ヒメカ  
Cornus  
Officinalis, S. et Z.

安房國清澄山

此樹ハ温帯ニ生スル落葉喬木ニシテ材ハ器具材ニ用ヒラル

ヒメカ  
Cornus  
Ignorata, C. Koch.

安房國清澄山

此樹ハ温帯ニ生スル落葉喬木ニシテ材ハ農具ノ柄、下駄等ヲ作ルニ用ヒラル

ヒメカ  
Cornus  
Macrophylla, Wall.

駿河國富士山

此樹ハ温帯ニ生スル落葉喬木ニシテ下駄、箸等ヲ作ルニ用ヒラル

ヒメカ  
Cornus  
Kousa, Euerig.

飛騨國吉城郡坂上村

此樹ハ温帯ニ生スル落葉喬木ニシテ材ハ砲臺其他櫛ノ代用トセラル

ヒメカ  
Picris  
Japonica, D. Don.

甲斐國北都留郡丹波山  
村泉水谷

此樹ハ暖帯ニ生スル常緑小喬木ニシテ器具ヲ作ルニ用ヒラル

ヒメカ  
Andromeda  
(auriculata), Miq.

甲斐國北都留郡丹波山  
村泉水谷

此樹ハ温帯ニ生スル落葉喬木ニシテ材ハ器具ヲ作ルニ用ヒラル

か  
Diospyros  
Kaki, L. f.

飛騨國吉城郡坂上村

此樹ハ温帯ニ生スル落葉喬木ニシテ材ハ裝飾材及挽物  
材トシテ用ヒラル

か  
Diospyros  
Lotus, L.

安房國清澄山

此樹ハ温帯ニ生スル落葉喬木ニシテ材ハ机案、匣函ノ  
類ヲ製シ又鏡作用ニ供セラル

か  
Symplecos  
Prunifolia, S. et Z.

安房國清澄山

此樹ハ暖帯ニ生スル常緑喬木ニシテ材ハ器具ヲ作ルニ  
用ヒラル

か  
Syrax  
Japonica, S. et Z.

安房國清澄山

此樹ハ温帯ニ生スル落葉喬木ニシテ材ハ杖ヲ作り又傘  
ノ轆轤ヲ作ルニ用ヒラル

か  
Syrax  
Obassia, S. et Z.

石狩國札幌郡山鼻村字  
圓山官林

此樹ハ温帯ニ生スル落葉喬木ニシテ材ハ鏡作用ニ供セ  
ラル

か  
Halesia  
Hispidum, Sa. B. et H.

甲斐國北都留郡丹波山  
村泉水谷

此樹ハ温帯ニ生スル落葉喬木ニシテ材ハ器具ヲ作ルニ  
用ヒラル

か  
Osmanthus  
Aquifolium, B. et H.

安房國清澄山

此樹ハ暖温兩帯ニ生スル常緑喬木ニシテ材ハ算球、將  
棋、三弦ノ撥及駒ヲ作ルニ用ヒラレ大材ハ板ヲ作り又  
諸器具ヲ鏡作スルニ用ヒラル

か  
Ligustrum  
Itoke, Sieb.

安房國清澄山

此樹ハ温帯ニ生スル落葉小喬木ニシテ材ハ杖或ハ鞭ヲ  
作ルニ用ヒラル

か  
Fraxinus  
Longicaulis, S. et Z.

石狩國札幌郡山鼻村字  
圓山官林

此樹ハ温帯ニ生スル落葉喬木ニシテ材ハ木槌其他ノ器  
具ヲ作ルニ用ヒラル

か  
Fraxinus  
Sieboldiana, Bl.

飛騨國吉城郡坂上村

此樹ハ温帯ノ低濕地ニ生スル落葉喬木ニシテ材ハ建築  
裝飾及器具等ニ用ヒラル

か  
Fraxinus Bongana, DC.  
Var. pubinervis, Vgr.

飛騨國吉城郡坂上村

此樹ハ温帯ニ生スル落葉喬木ニシテ材ハ銃砲臺及鎗ノ  
柄等ニ用ヒラル

か  
Fraxinus  
Mands Horieca, Rupr.

石狩國札幌郡山鼻村字  
圓山官林

此樹ハ温帯ニ生スル落葉喬木ニシテ材ハ鐵道枕木及器  
具ヲ作ルニ用ヒラル

か  
Syringa Amurensis, Rupr.  
Var. Japonica, Maxim.

石狩國札幌郡山鼻村字  
圓山官林

此樹ハ温帯ニ生スル落葉喬木ニシテ材ハ小細工ニ供セ  
ラル

か  
Ehretia  
Acuminata, L. Jp.

薩摩國鹿兒島地方

此樹ハ暖帯ニ生スル落葉喬木ニシテ材ハ裝飾用及器具  
用ニ供セラル

か  
Paulownia  
Tomentosa, H. Jpn.

武藏國住原郡駒場

此樹ハ暖温兩帯ノ肥沃平地ニ生スル落葉喬木ニシテ材  
ハ函材、箆筒、長持、火藥炭等ヲ作ルニ用ヒラル

か  
Catalpa  
Kaempferi, S. et Z.

飛騨國吉城郡坂上村

此樹ハ温帯ニ生スル落葉喬木ニシテ材ハ木履其他器具  
ヲ作ルニ用ヒラル

か  
Viburnum  
Odoratissimum, Ker.

安房國清澄山

此樹ハ暖帯ニ生スル常緑喬木ニシテ材ハ器具ヲ作ルニ  
用ヒラル

か  
Staubicus  
Racemosus, L.

安房國清澄山

此樹ハ温帯ニ生スル落葉喬木ニシテ材ハ小細工用ニ供  
セラル

山林局出品本邦産有竹材類説明抄録

品名	産地	效	用
Phyllostachys Nitida, Riv.	日向國西諸縣郡飯野村	此竹ハ暖帶ヲ郷土トシ紀伊、薩摩、大隅地方ニ最も能ク生長シ材ハ花瓶、筆筒、盆柄、杓等ニ用ヒラル	
Phyllostachys Heterocycla, Carr.	武藏國東京地方	此竹ハ暖帶ヲ郷土トシ材ハ杖等ニ用ヒラル	
Phyllostachys Quiloi, Riv.	安房國清澄山	此竹ハ暖帶ヲ郷土トシ本州ノ南部及九州ニ多ク材ハ椀、承、罌、桶ノ籠、籠、傘骨等ヲ作ルニ用ヒラル	
Phyllostachys Bambusoides, S. et Z. Formosa, ?	薩摩國屋久島	此竹ハ暖帶ヲ郷土トシ筑後ニ最も多シ材ノ用途ハ器ホ「またけ」ニ同シク籜ハ草履表ニ賞用セラル	
Phyllostachys Aurea, Riv.	安房國清澄山	此竹ハ暖帶ヲ郷土トシ日向地方ニ最も多ク材ハ杖、傘ノ柄、釣竿等ニ用ヒラル	
Phyllostachys Bambusoides, S. et Z. var. Martiana, Makino.	武藏國東京地方	此竹ハ暖帶ヲ郷土トシ庭園裝飾用ニ供セラル	
Phyllostachys Vindiglanseana.	土佐國高知地方	此竹ハ暖帶ヲ郷土トシ淡路、阿波、土佐等ニ多シ材ハ花瓶、筆筒、裝飾用材ニ供セラル	
Phyllostachys Nigra, Munro.	土佐國高知地方	此竹ハ暖帶ヲ郷土トシ山城地方ニ多ク材ハ箒、杖、傘、扇骨、机案、書架其他裝飾ニ用ヒラル	
Phyllostachys puberula Munro, var. Boyana Makino.	攝津國大阪地方	此竹ハ温帶ヲ郷土トシ丹波、丹後、近江等ニ多ク材ハ茶釜、茶臺、文房具、筆管、杖等ヲ作ルニ用ヒラル	
Phyllostachys Nigra, Munro.	安藝國廣島地方	此竹ハ暖帶ヲ郷土トシ用途ハ器ホ「くろちく」ニ同シ	
Phyllostachys Komasasa, Munro.	安房國清澄山	此竹ハ暖帶ヲ郷土トシ房州清澄山ニ多ク材ハ籠ヲ編ムニ用ヒラル	
Arundinaria Japonica.	安房國清澄山	此竹ハ本邦ニ於テ最も普通ノ竹ニシテ房州及箱根邊ヨリ多ク産出ス材ハ團扇、籠籠類、釣竿、壁骨等ニ用ヒラル	
Arundinaria O. Riv. var. Chino, Makino.	相模國箱根山	此竹ハ相州、房州、豆州等ニ多ク生シ材ハ烟管、筆管、團扇、簾、籠等ヲ作ルニ用ヒラル	
Arundinaria Hindsii, Munro.	武藏國東京地方	此竹ハ所々ノ庭園ノ裝飾用ニ植栽セラル	
Arundinaria Hindsii, Munro.	武藏國東京地方	此竹ハ暖帶ヲ郷土トスルモ各地ニ於テ庭園裝飾用ニ植栽セラル	
Arundinaria Sinoni, Riv.	武藏國荏原郡駒場	此竹ハ多ク庭園ニ植栽セラレ材ハ庭園裝飾用竹戸ニ用ヒラル	

やしやだけ  
Arundinaria  
Narihira Makino, Var.?

越前國

此竹ハ越前地方ニ多ク材ノ用途ハ「なりひらだけ」ニ同シ

しかくだけ  
Arundinaria  
Quadrianguevis, Makino.

武藏國東京地方

此竹ハ本邦中部以南ノ地ニ多ク材ハ杖等ニ用ヒラル

あしやぐ  
Arundinaria  
Fooksik Makino.

土佐國高知地方

竹ハ暖帯ヲ郷土トスルモ本邦固有ノモノニアラスシテ庭園裝飾用ニ植栽セラル

かんちやく  
Arundinaria  
Hindsii.

安房國清澄山

此竹ハ人家ノ周圍ニ植エラレ又垣根トセララル、モノニテ其用途ハ畧ホ「くろちく」ニ同シク筍ハ味美ナリ

やだけ  
Phyllostachys  
Bambusoideae.

安房國清澄山

此竹ハ本邦到ル處ニ生シ材ハ箭、釣竿、茶篩、團扇、筆管等ヲ作ルニ用ヒラル

すだねよし  
Arundinaria Virabilis Makino.  
Var. Tanakae Makino.

伊豫國上浮穴郡谷峯村  
大字露峯字廉山

此竹ハ暖帯ヲ郷土トシ伊豫、豊後ニ多シ材ハ籬ヲ編ムニ用ヒラル

あしやぐ  
Sasa Paniculata Forma  
Nebulosa Makino. et Shibata.

加賀國金澤地方

此竹ハ石川縣下ニ在リ裝飾用ニ供セラル

しやこかんさく  
Sasa Paniculata Forma  
Nebulosa Makino. et Shibata.

越前國南條郡堺村

此竹ハ温帯ヲ郷土トシ北海道後志國積丹地方ニ多シ材ハ烟管、筆管等ニ用ヒラル

すいたけ  
Sasa Porealis,  
Makino. et Shibata.

信濃國長野地方

此竹ハ本邦内到处ニ生シ材ハ籠、籬、行李、文匣、花籃、帽子、敷物等ヲ編ムニ用ヒラル

ねむがりたけ  
Sasa Paniculata  
Makino. et Shibata.

石狩國札幌郡山鼻村字  
野幌官林

此竹ハ温帯ヲ郷土トシ奥羽地方、越後、北海道等ニ多ク材ハ烟管、筆管等ニ用ヒラル

くさくさ  
Bambusa  
Veitchii.

信濃國長野地方

此竹ハ本邦内地ニ普ク生ス葉ハ館屋ニテ用ヒ又庭園裝飾ノタメ植エラル

くさくさ  
Sasa Albo-marginata  
Makino. et Shibata.

石狩國札幌郡山鼻村字  
野幌官林

此竹ハ庭園ノ裝飾ニ植栽セラル

くさくさ  
Bambusa Nana. Boxb.  
Var. Normalis, Makino.

駿河國静岡地方

此竹ハ暖帯ヲ郷土トシ四國、九州ニ多ク材ハ傘柄、杖等ニ用ヒラル

其他同局出品本邦森林樹木圖譜ノ如キモ亦太タ好良ナルモノニシテ百五十種ノ林木ニ就テ各其材部(板目、柱目、皮部、枝葉、實、花及花實)ノ解剖圖等ヲ彩色石版ニテ寫生シ之ニ分科及主ナル產地、材ノ用途并ニ花期、結實期等ニ至ルマテ詳細ナル解説ヲ附シタルモノニシテ斯學上有要ナルハ勿論其圖畫ノ精巧著色ノ鮮美ナル殆ント歐米諸國ニ於ケル此種ノ出版ニ比スルモ些ノ遜色ナキヲ認メタリ

同局出品清國産材鑑ハ未タ其種類ヲ盡シタリトハ云ヒ雖シトモ之ニ依テ其重ナル材種用途等ノ一般ヲ知ルニ足ルヘシ又同局出品ノ韓國木材加工品及ヒ樹皮標本等ハ其數太タ少シト雖トモ之ニ依テ同國森林主副産物利用ノ一端ヲ察知スルニ足ルヘシ左ニ清國材鑑説明ヲ抄録シテ參考ニ資ス

山林局出品清國木材々鑑標本説明抄録

品名	產地	效用
紅松料板 邦名五葉松	鴨綠江	本品ハ材質帶褐色ニシテ美觀アリ軟質ニシテ稍々脆シ多クハ板トナシ家屋ノ戸、支那船用材又ハ桌子、函類ヲ作り其他中等以下ノ棺材ニ供スル等用途頗ル廣シ價格ハ清國天津ニ於テ日本貨ニテ七圓六拾錢
紅松板 又松木八分板	鴨綠江	本品ハ紅松料板ヲ厚サ八分ノ板ニ挽割リタルモノニシテ價格ハ清國天津ニ於テ日本貨八拾貳錢參厘
杉松板 又白松邦名白松ノ一種ナリ	鴨綠江	本品ハ材質白色柔軟本邦ノ樅材ニ似タリ多クハ丸太ノ長材トシテ販賣セラレ長八尺ヨリ四十尺ニ涉リ家屋窓其他ノ建築用材及卓子、函等ノ材ニ供セラル價格ハ清國天津ニ於テ二枚ニテ日本貨五拾九錢
楸木丸太 邦名胡桃	鴨綠江	本品ハ材質堅緻吾胡桃材ト異ナルコトナシ丸太材トシテ販賣セララル、モノハ之ヲ楸墩子又ハ楸單墩ト云フ挽割リテ板トナシ卓子、箆筒又ハ函等器具材ニ供セラル價格ハ清國天津ニ於テ日本貨五圓拾四錢
楸木板	鴨綠江	楸木ヲ厚サ一寸ニ挽割リタルモノ之ヲ楸木寸板ト稱シ價格ハ清國天津ニ於テ日本貨ニテ壹圓六錢
楸木板 (甲乙)	鴨綠江	楸木板ニ同シ材質緻密我邦ノ桂ニ似タリ之ヲ市場ニテ楸木八分板ト稱ス元來丸太材ニテ市場ニテ輸入セラレタルモノヲ板材ニ挽割リタルモノナリ價格ハ清國天津ニ於テ日本貨ニテ八拾五錢(乙ハ七拾五錢ナリ)
山楡板	鴨綠江	楸木板ニ同シ材質堅硬車輛ノ輻材ニ用ヒ又卓子、函等ノ器具材ニ供セララル價格ハ清國天津ニ於テ日本貨ニテ壹圓六拾貳錢(乙ハ壹圓四拾六錢)

楸木 邦名廣葉杉	福建省	本品ノ材質ハ本邦ノ杉材ニ酷似シ香氣アリ棺材ニ供シ又家屋ノ支柱、桶其他器具材ニ用ヒラル造材名稱ハ根段ト稱シ幹材ノ最下部ニシテ根ニ近キ部分ナリ柴材ノ造材法ニ數種アリ何レモ丸太材ニシテ其長短ニヨリテ區々ノ名稱ヲ有ス桶材(長十二尺)連半(長十四尺五寸)連節(長十五尺)等之レナリ價格ハ清國天津ニ於テ日本貨ニテ拾七圓拾四錢(乙ハ五圓七拾壹錢ナリ)
紅松 支那稱「ホンソン」	鴨綠江	産額最モ多ク家屋建築、建具、敷板、函類、家具、下等ノ棺其他用途甚タ廣シ
楸木 支那稱「チユウムウ」	鴨綠江	價格高貴ニシテ器具、裝飾、函類ヲ作ルニ用ヒラル
白松 支那稱「バイソン」	鴨綠江	價格卑キモノニシテ産額少ク用途ハ紅松ニ同シ
山楡 支那稱「シヤンユウ」	鴨綠江	價格楸木ニ亞キ産額多カラス器具又ハ函類ヲ作ルニ用ヒラル
柞木 支那稱「ツチムウ」	鴨綠江	産額甚タ少ク用途又廣カラス車輛ノ輪ヲ作ルニ用ヒラル
楚楡 支那稱「スチユウ」	鴨綠江	産額及用途ハ紅松ニ亞キ看板、テーブル、函類等ニシテ塗ルコトヲ要スル場合ニハ必ス此木ヲ用フ
楸木 支那稱「トハンムウ」	山東産	産額甚タ少ク價格最モ貴シ最上ノ棺(北清ノ貴人此棺ヲ用フ)ヲ作ルニ用フ
楸木 支那稱「チンムウ」	福建省	産額甚タ多ク其用途ニ向テ悉ク造材ヲ異ニシ普通ノ棺、桶、船、梁、柱、電柱、堤防柱等其他用途甚タ廣シ



樟木 支那種「チャンムウ」

福建省

價格高貴ニシテ器具、函類上等ノ棺ヲ作ルニ用ヒラル

楠木 支那種「ナンムウ」

福建省

價格高貴ニシテ用途少ク樟木ニ同シ

榆木 支那種「ユウムウ」

北支那地方

車輛、農具ヲ作ルニ用ヒラル

棗 支那種 不詳

北支那地方

車輛ノ輪、櫛ヲ作ルニ用ヒラル

槐木 支那種「クワイムウ」

北支那地方

車輛ヲ作ルニ用ヒラル

右三種ノ材料ヲ以テ北清地方ニ使用スル各種ノ車輛ヲ悉ク製造ス

又大阪大林區署出品ノ材鑑ハ其種類四十種、宮城大林區署出品ノ材鑑ハ其種類三十種、熊本大林區署ハ十六種ニシテ何レモ各所管國有林ニ於ケル有用材種ヲ蒐集シタル者ニシテ皮付丸太ヲ或ル長サニ切り更ニ其材部及断面ヲ削リ表ハシ皮部ト共ニ示セルカ如キハ其製作宜シキニ適スルナリ青森大林區署及御料局出品ノ材鑑ハ同所管國有林若クハ御料林樹木中特ニ有用ナルモノヲ以テ寄木トナシ衝立ニ作レルモノニシテ其表シ方及製作ノ意匠等太々巧ミニシテ能ク各材種ノ特質ヲ見得ヘキナリ岡山大林區署出品ノ杉材ヲ以テ製作セル衝立ハ柱目逐ヒ柱、板目、断面、皮部等杉材ノ各部ヲ表ハシタルモノニシテ其意匠趣味アリテ能ク材部ノ特質ヲ見ルニ適ス愛媛大林區署出品ハ滑床外十八箇所國有林ニ於ケル主ナル樹種ニ就テ材部皮部ヲ表ハシタルモノ福岡大林區署出品ハわかす、わかす、わか、し、しらかし及著名ナ

ル古所山國有林ニ於ケル黄楊等ニ就テ各材鑑材部ノ断面、皮部、種子及腊葉ヲ示セルモノニテ何レモ其樹種及材ノ各部ニ於ケル品質ノ一斑ヲ見ルニ適シ斯業上有益ナル出品ト云フヘシ」森林有害有益鳥獸及ヒ昆蟲標本ハ山林局ノ出品ニシテ是等動物ト森林トノ關係ヲ表示シタルハ今回ノ出品ヲ以テ嚆矢トス其種類鳥獸五十三種、昆蟲三百十九種ノ多キヲ蒐集シ總テ實物ニヨリテ其形狀等ヲ示シ特ニ森林ニ多大ナル關係ヲ有スル昆蟲類ノ如キニ至リテハ林樹ノ枝葉若シクハ幹部等ヲ添附シ以テ害蟲ノ等閑ニ附スヘカラサルモノナルコトヲ諒知セシメ之ヲ未發ニ豫防シ又ハ既發ニ之ヲ驅除スルノ必要ナル觀念ヲ喚起スルニ頗ル好材料トナサ、ル可ラサルナリ鳥類及哺乳動物ノ標本ハ未タ全ク其數ヲ盡サスト雖トモ害蟲類ヲ食スル有益ノ鳥獸類ト林樹ノ新芽、葉、幹、果實類ヲ嗜好スル有害鳥類ノ主ナルモノトヲ表示シ森林保護上鳥獸類ノ保護スヘキモノト驅除スヘキモノトノ標準トシテ大ニ參考ニ資スヘキモノアルヲ認ム左ニ此等ノ種類及性状ヲ記載シテ斯業者ノ參考ニ供スヘシ

山林局出品本邦産森林有益鳥類説明抄録

名	種	産地	狀
フクロウ		下野國	晝ハ匿レ曙方及黄昏ニ飛翔シ甲蟲類各種ノ幼蟲類、小鳥類、蛙類、鼠、畑鼠、鼯鼠等ヲ捕食スレトモ小鳥類ヲ食スルコトハ昆蟲類、鼠類ヲ食スルヨリハ遙ニ少數ナルカ故ニ森林ニ在リテハ有益鳥トス
Steix		下野國	晝ハ匿レ曙方及黄昏ニ飛翔シ甲蟲類各種ノ幼蟲類、小鳥類、蛙類、鼠、畑鼠、鼯鼠等ヲ捕食スレトモ小鳥類ヲ食スルコトハ昆蟲類、鼠類ヲ食スルヨリハ遙ニ少數ナルカ故ニ森林ニ在リテハ有益鳥トス
Uralsensis Pall.		薩摩國大島	晝ハ匿レ曙方及黄昏ニ飛翔シ甲蟲類各種ノ幼蟲類、小鳥類、蛙類、鼠、畑鼠、鼯鼠等ヲ捕食スレトモ小鳥類ヲ食スルコトハ昆蟲類、鼠類ヲ食スルヨリハ遙ニ少數ナルカ故ニ森林ニ在リテハ有益鳥トス
コウライウグイス		薩摩國大島	晝ハ匿レ曙方及黄昏ニ飛翔シ甲蟲類各種ノ幼蟲類、小鳥類、蛙類、鼠、畑鼠、鼯鼠等ヲ捕食スレトモ小鳥類ヲ食スルコトハ昆蟲類、鼠類ヲ食スルヨリハ遙ニ少數ナルカ故ニ森林ニ在リテハ有益鳥トス
Oriolus		薩摩國大島	晝ハ匿レ曙方及黄昏ニ飛翔シ甲蟲類各種ノ幼蟲類、小鳥類、蛙類、鼠、畑鼠、鼯鼠等ヲ捕食スレトモ小鳥類ヲ食スルコトハ昆蟲類、鼠類ヲ食スルヨリハ遙ニ少數ナルカ故ニ森林ニ在リテハ有益鳥トス
Difusus Sharpe.		薩摩國大島	晝ハ匿レ曙方及黄昏ニ飛翔シ甲蟲類各種ノ幼蟲類、小鳥類、蛙類、鼠、畑鼠、鼯鼠等ヲ捕食スレトモ小鳥類ヲ食スルコトハ昆蟲類、鼠類ヲ食スルヨリハ遙ニ少數ナルカ故ニ森林ニ在リテハ有益鳥トス

- ムナドツ  
Styrax  
Cinereus Temm.  
武藏國
- コトシツ  
Pyrho-genys T. et S  
武藏國
- ヤンロキ  
Motacilla  
Japonica Sevinh.  
武藏國
- ウスシ  
Motacilla  
Lugens Kittl.  
武藏國
- ヨナ  
Parus  
Ater Pakinensis Leep.  
信濃國
- シツカ  
P.  
Ariceps Minor T. et S.  
武藏國
- ヤヤ  
P.  
Varus T. et S.  
上野國
- キヤ  
Sitta  
Asia Annueusis Sevinh.  
下野國
- ホウ  
P.  
Eubetiza  
Ciopsis Bp.  
武藏國

森林原野川流ニ沿フル畑地ニ群集シ甲蟲バツタ其他諸  
蟲ノ幼蟲ヲ食ヒ且蝸牛類蚯蚓類ヲモ嗜食スルモノナリ  
夏期ハ各地ニ飛翔シ八九月頃ハ大群ヲナシテ飛翔ス甲  
蟲類其他種々ノ昆蟲類其幼蟲ヲ初メトシテ蚯蚓蝸牛等  
ヲモ食スルモノナリ  
通常河川ノ邊ニ徘徊シ飛翔スル種々ノ昆蟲類ヲ捕食シ  
或ハ地上ニ這行スル昆蟲類ヲ嗜食ス固ヨリ森林中ニ棲  
息スルコトナキモ諸害蟲及其幼蟲ヲ食スルモノナレハ  
間接ニ森林害蟲ヲ驅除スルモノナリ  
候鳥ニシテ冬日ハ本邦ニ來集シ昆蟲類ヲ食ス  
冬期群ヲナシテ來集シ小蟲類ヲ捕食ス  
冬期群集シ小蟲類ヲ捕食ス  
種々ノ小蟲類其他木實等ヲ食トス其質伶俐ニシテ人ニ  
馴レ易シ  
夏期ハ山中ニ棲息シ秋期ハ平原ニアリテ樹幹ニ止マル  
時ハ其周リヲ廻リテ蟲類ヲ捕食ス  
夏日ハ畑地ヲ鋤起スニ當リ土上ニ露出スル諸害蟲ノ幼  
蟲ヲ啄食シ或ハ草叢灌水ノ間ニ飛翔シ諸蟲ヲ食スルコ  
ト極メテ多シ最モ穀類ヲ食スルコトアルモ之ヲ食スル  
ノ害ハ害蟲ヲ食スル利益ニ遠ク及ハサレハ益鳥トシテ  
可ナリ

- ナ  
E.  
Yosoensis, Swinh.  
武藏國
- ホ  
E.  
Fuscata Pall.  
武藏國
- ノ  
E.  
Sulphur-rate T. et S.  
武藏國
- ア  
E.  
Personate T.  
武藏國
- ク  
E.  
Variabilis T.  
武藏國
- ヨ  
E.  
Caprimulgus  
Jatake T. et S.  
武藏國
- カ  
E.  
Cuculus.  
Canous T.  
相模國
- ホ  
E.  
Polis cephalus Lath.  
相模國
- シ  
E.  
Merula  
Pallida Gm.  
常陸國

諸害蟲ヲ啄食スル益鳥ナリ  
諸害蟲ヲ啄食ス  
諸害蟲ヲ啄食ス  
諸害蟲ヲ啄食ス  
諸害蟲ヲ啄食ス  
書間ハ土上ニ下リテ静息シ或ハ老樹ノ根際ニ静息スル  
モ黄昏ヨリ拂曉ニ至ルマテ飛翔シ金龜子類、蟋蟀類、  
蛾類等ヲ啄食スルモノナリ  
通常幹枝ニ止マリテ静息シ或ハ土ニ下リ静息スルモ其  
飛翔ハ迅速ナリ其食スル者ハ針葉樹及潤葉樹ノ害蟲ニ  
シテ普通ノ鳴禽類ノ食セサル蛤蜊類ヲモ好ンテ啄食ス  
ル益鳥ナリ  
針葉樹及潤葉樹ノ害蟲類ヲ搜索シテ啄食スルコト多シ  
森林原野等ニ棲息シ昆蟲類、蝸牛、蛤蜊類其他齧蟲類  
ヲ食トスルモ秋冬兩期ニハ右ノ外尙ホ漿果類ヲモ食ス  
ルナリ

クローン N.	下野國	森林原野等ニ棲息シ昆蟲類、蝸牛、蝘蝓類其他蠕蟲類ヲ食トス
Cardis T.	相模國	森林原野等ニ棲息シ昆蟲類、蝸牛類、蝘蝓類其他蠕蟲類ヲ捕食ス
アカハラ M.	相模國	森林原野等ニ棲息シ昆蟲類、蝸牛類、蝘蝓類其他蠕蟲類ヲ捕食ス
Chysolaus Temm.	武藏國	夏期ハ山地ニ棲息シ冬期ニハ平地ニ棲息ス通常樹木ノ子實ヲ食トスルモ昆蟲ヲモ食トナス
シヅミ M.	武藏國	森林ノ幹枝ニ寄生スル鐵砲蟲其他木蠹蟲等ヲ啄食ス
Fusca Pall.	相模國	種々ノ昆蟲及其幼蟲類ヲ食シ特ニ蟻類ヲ嗜食スルモノナリ
ヒヨドリ Hypisbet	武藏國	
Anaurobis T.	上野國	
ロクシ Lygipicus	相模國	
Kizuki T.		
アリヌ Iynx		
Torigilla, L.		

山林局出品本邦産森林有害鳥類説明抄録

名	稱	産地	状態
オホアカケラ Picus	下野國	森林ノ幹枝ニ寄生スル害蟲ヲ啄食スルモ之ヲ啄食スルカ爲メニ幹枝ヲ傷ルコト甚シキカ故ニ害蟲ヲ驅除スルノ益ヨリ却テ樹幹ヲ害スルコト多シトス	
Leucobus Su.	上野國	樹幹ハ害蟲ヲ啄食スルモ幹枝ヲ傷クルコト甚シ	
アカケラ P.			
Major Japonicus, Leeb.			

アヲケラ Geocinus	上野國	樹幹ノ害蟲ヲ啄食スルモ幹枝ヲ傷クルコト甚シ
Awageta T.		
モズ Lanius	武藏國	種々ノ害蟲類ヲ啄食スル益鳥ナルモ鳴禽ノ雛類ヲモ食スルモノナレハ無害トハ云ヒ難シ
Bucephalus T. et S.	駿河國	種々ノ害蟲類ヲ啄食スル益鳥ナルモ鳴禽ノ雛類ヲモ食スル害鳥ナリ
オホモズ		
キツネ Turtur	上野國	種子類其他針葉樹ノ種子ヲ嗜食ス
Onitahis Lath.		
シロコ F.	下野國	種子類其他針葉樹ノ種子ヲ嗜食ス
Risorius, L.		
アヲバト Turon	下野國	種子類ヲ食ス
Seloidi T.		
イヌカ Lexia	下野國	主トシテ針葉樹ノ種子ヲ啄食スル害鳥ナリ
(ovirostra T.		
ウツ Phrula Sp.	下野國	潤葉樹及針葉樹ノ種子ヲ食トスル害鳥ナリ
トウ Tringilla	下野國	各種林樹ノ種子ヲ食スル害鳥ナルモ往々種々ノ蟲類及其幼蟲ヲ啄食シ害蟲ヲ驅除スルコト尠ナカラス
Spinus L.		

ハニヨク F. Linaria L.	下野國	往々群集シテ林樹ノ種子新芽等ヲ食スルモ尚ホ昆蟲類ヲモ食ス故ニ一局所ニ群集シ種子新芽等ヲ食スルコトアラハ從テ其害少カラス
アトリ E. Montifringilla L.	尾張國	往々群飛シ林樹ノ種子或ハ其他ニ墜下シタル物ヲ拾ヒ食スルモノナリ
キミ P. Phasianus Torquatus Gm.	信濃國	種子類、穀稈類嫩葉新芽等ヲ食スルカ故ニ害蟲タルヲ免レスト雖トモ害蟲類及幼蟲其他蝸牛類、蠕蟲類ヲ食スルカタメ益鳥トモナル故ニ森林上ニ於テハ害益相半ハスルモノト云フヘ
アカヤイトリ P. Soemmerringi T.	伊豆國	種子類、嫩葉類等ヲ食スト雖トモ害蟲ヲモ啄食スルカ故ニ森林上ニ於テハ害益相半スルモノト云フヘシ
ヤイトリ P. Scintillans Ged.	信濃國	種子類、嫩葉類等ヲ食スト雖トモ害蟲ヲモ啄食スルカ故ニ森林上ニ於テハ害益相半ハスルモノト云フヘシ
ライチン T. Lehrs Tonasia L.	信濃國	高山ニ棲息シ草木、灌木等ノ新芽、花等ヲ食シ且ツ害蟲類ヲ食トス
ハシホンカラス C. Corone L.	武藏國	山野及人家附近ニ棲息シ動植物ヲ以テ食トナス動物中食スルモノハ畑鼠、鼯鼠類ヲ初メトシテ小鳥類、鳥類ノ卵ヲ食トシ且蝸牛、蚯蚓等ヲ以テ食トス又植物ニテハ果漿、穀稈類、馬鈴薯各種ノ漿果ヲ食トス蓋シ其棲息ス地ル土ノ狀況ニ依リ害鳥トモ又益鳥トモナルモノナリ

山林局出品本邦産森林有益哺乳動物類説明抄録

ヤマカンホリ Vesperugo Noctula Var. Trasipterus	武藏國	黄昏ニ飛翔シ金龜子類、幼蟲類ヲ嗜食スル有益動物也
モンラ T. Mogela Pall.	武藏國	土中ニ棲息シ有害ノ昆蟲幼蟲其他蠕蟲類ヲ食スル有益動物ナリ然レトモ其餌食ヲ搜索センカタメ土中ヲ往來シ苗木其他苗木ノ芽生等ノ根ヲ地上ニ露出シ枯死セシムルカ故ニ有害ナルコトアリ
キンチ C. Japonicus T.	下總國	有益鳥類ヲ嗜食スル有害動物ナルモ野鼠、畑鼠類其他有害蟲類ヲモ食スルモノナリ
チン M. Melanopus T.	常陸國	森林ニ有害ナル鼠類ヲ嗜食スル有益動物ナルモ往々有益鳥類ノ營巢ヲ搜索シ其卵雛等ヲ貪食スル有害動物也
アナツメ M. Anakunda T.	下總國	昆蟲類、蛙類、鳥類、鼠類ヲ食スル動物ナリ其性土中ニ巢穴ヲ穿ツカ故ニ有用植物ノ根ヲ地上ニ露出セシメ之ヲ害スルコト尠シトセス

山林局出品本邦産森林有害哺乳動物類説明抄録

リス S. Lis. T.	下野國	榛實、榲栗、山毛櫨ノ種子ヲ初メトシテ針葉樹ノ種子ヲ嗜食シ或ハ松、落葉松ノ如キ針葉樹ノ樹皮材部ヲ咀嚼スル有害動物ナリ
ノウサギ T. Trachyrus T.	下野國	山地ニ棲息シ林樹ノ皮ヲ嚙食シ患害ヲ爲ス特ニ降雪多キトキハ其患害甚シ